

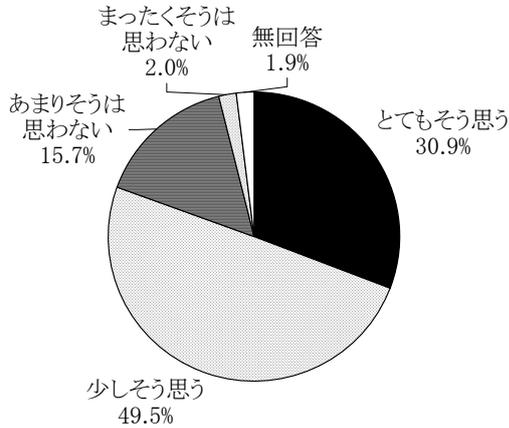
III. 調查結果

Ⅲ. 調査結果

◎ 暮らしの中での関心ごとや考えられる行動についてお聞きします。

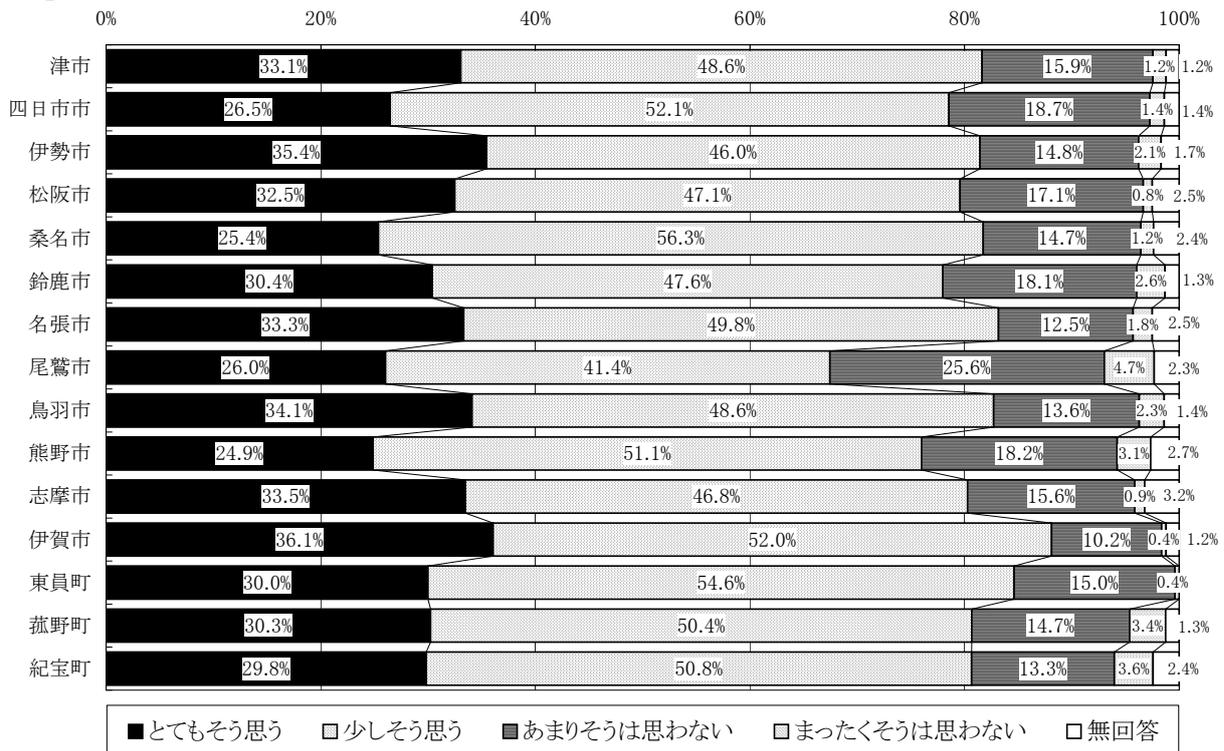
問1 次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？(○は1つずつ) 【回答者数:3,682】

(1)家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う



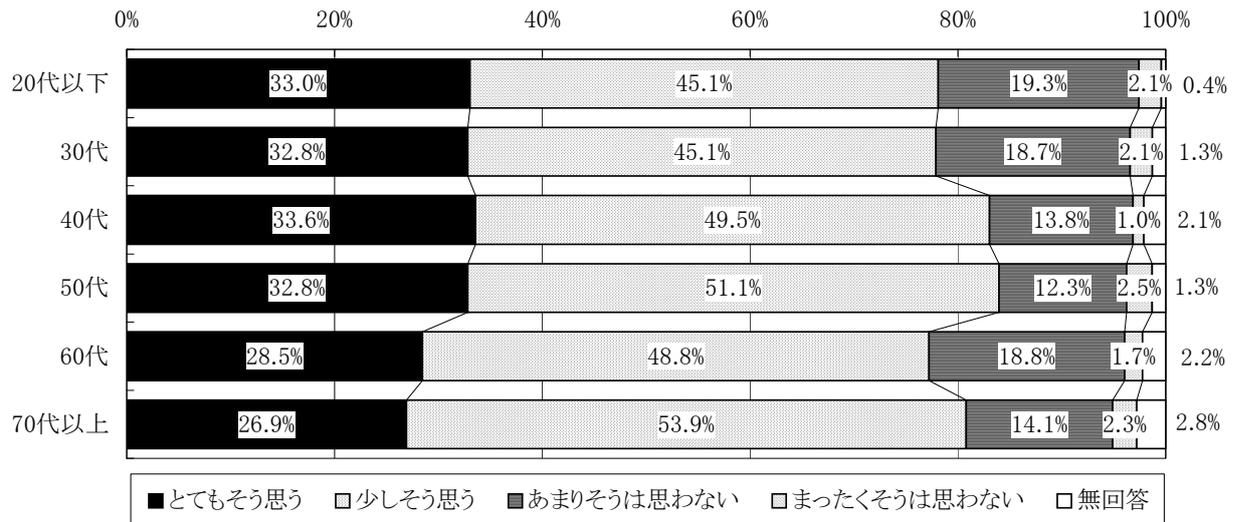
- ・ 「暮らしの中に不要物が多いか」という問いに対して「とてもそう思う」と回答した割合は30.9%である。
- ・ 「少しそう思う」を合わせると80.4%と大半を占めている。

【市町別】



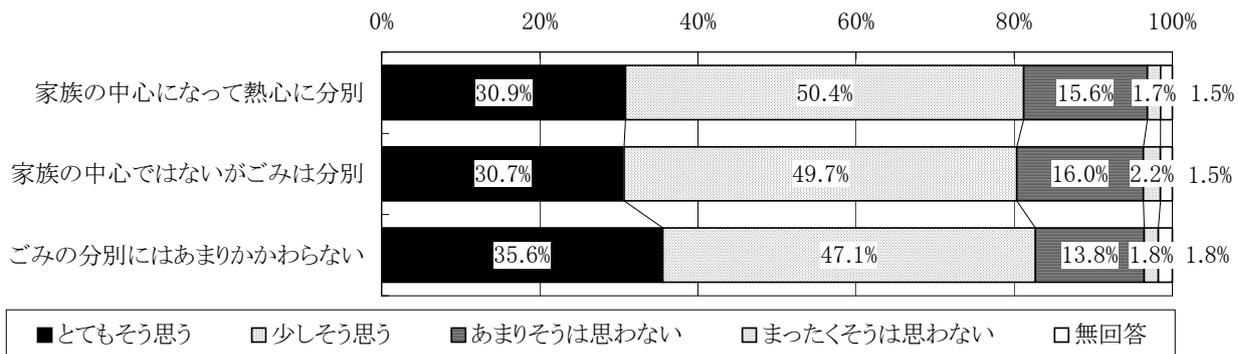
- ・ 市町別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合が高いのは、伊賀市 36.1%、伊勢市 35.4%、鳥羽市 34.1%の順となっている。
- ・ 「少しそう思う」を合わせると、伊賀市 88.1%、東員町 84.6%、名張市 83.1%、鳥羽市 82.7%、桑名市 81.7%、津市 81.7%、伊勢市 81.4%など、多くの市町で80%以上を占めているのに対し、最も低い尾鷲市では67.4%にとどまっている。

【年齢別】



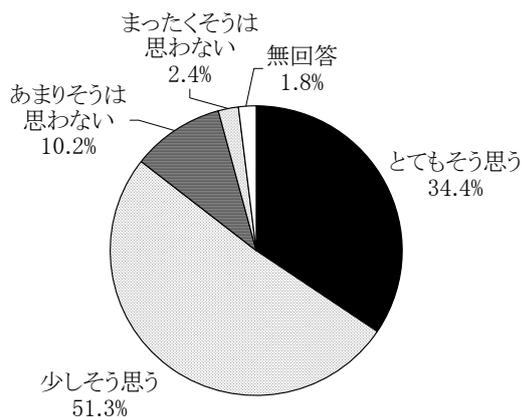
- 年齢別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は、50代までの年齢層が30%を超えており、「少しそう思う」を合わせると50代が83.9%と最も高くなっている。

【分別へのかかわり別】



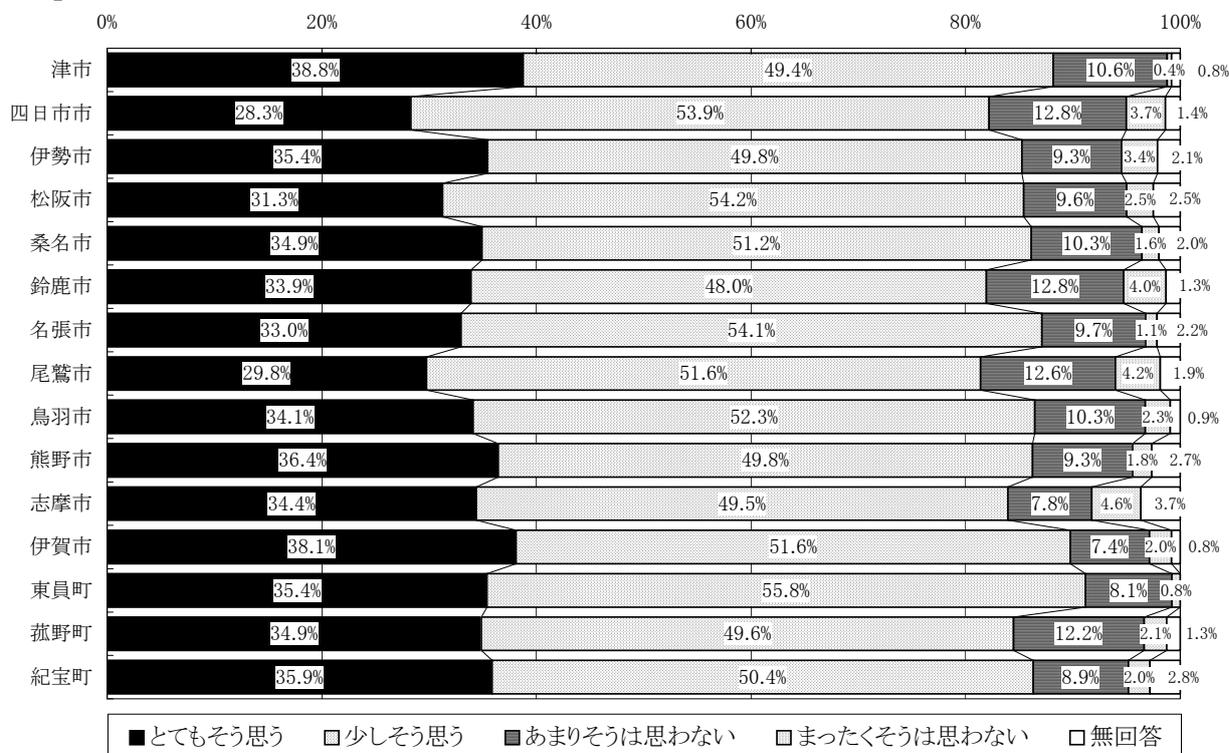
- 分別へのかかわり別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は、家族の中でごみの分別にあまりかかわっていない人のほうが高い。

(2)ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう



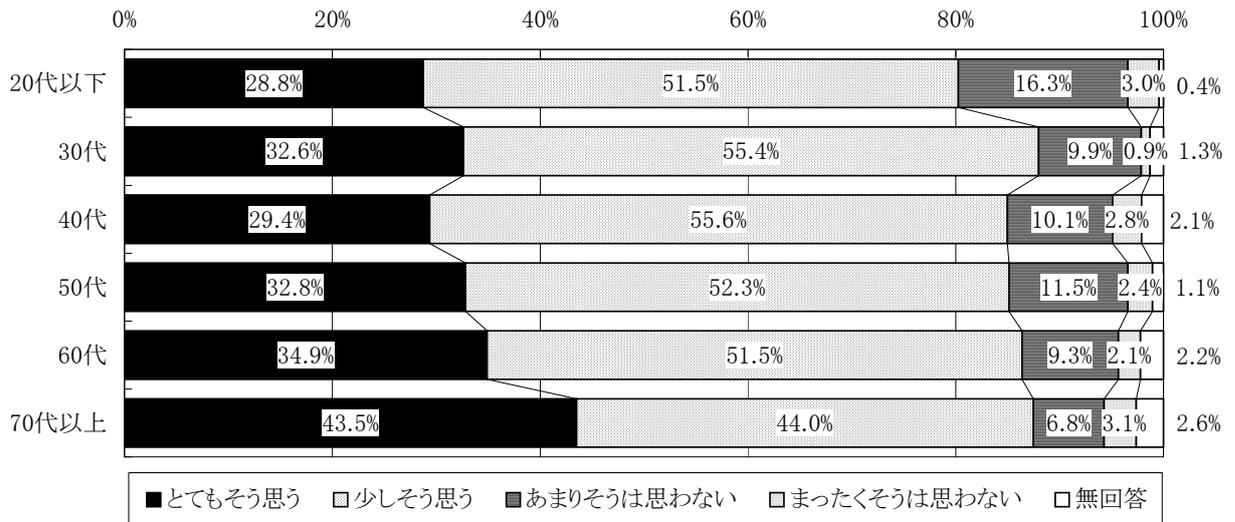
- ・ 「ものを捨てるときに『もったいない』と思うか」という問いに対して「とともそう思う」と回答した割合は34.4%である。
- ・ 「少しそう思う」を合わせると85.7%と大半を占めている。

【市町別】



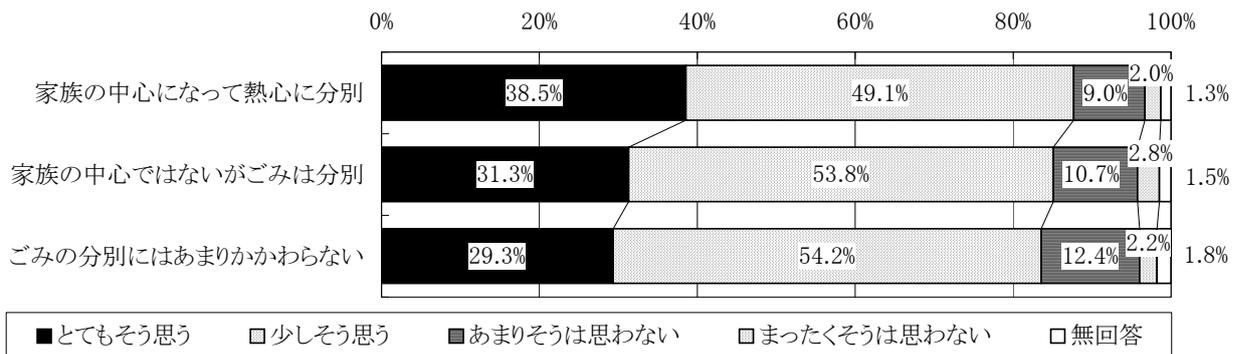
- ・ 市町別に見ると、「とともそう思う」と回答した割合が高いのは、津市38.8%、伊賀市38.1%、熊野市36.4%の順となっている。
- ・ 「少しそう思う」を合わせると、東員町91.2%、伊賀市89.7%、津市88.2%、名張市87.1%、鳥羽市86.4%、紀宝町86.3%、熊野市86.2%、桑名市86.1%など、すべての市町で80%を超えている。

【年齢別】



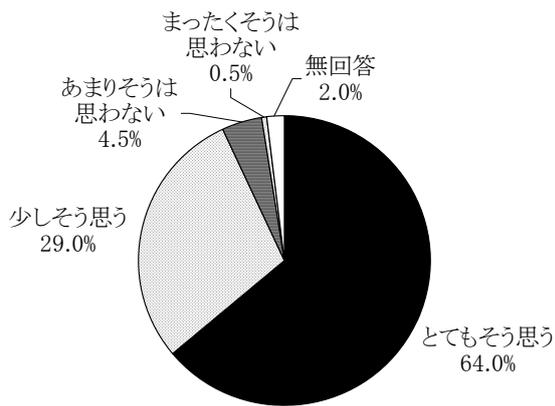
- 年齢別に見ると、「ともそう思う」と回答した割合は、60代以下では約30%であるのに対し、70代以上では43.5%を占めている。

【分別へのかかわり別】



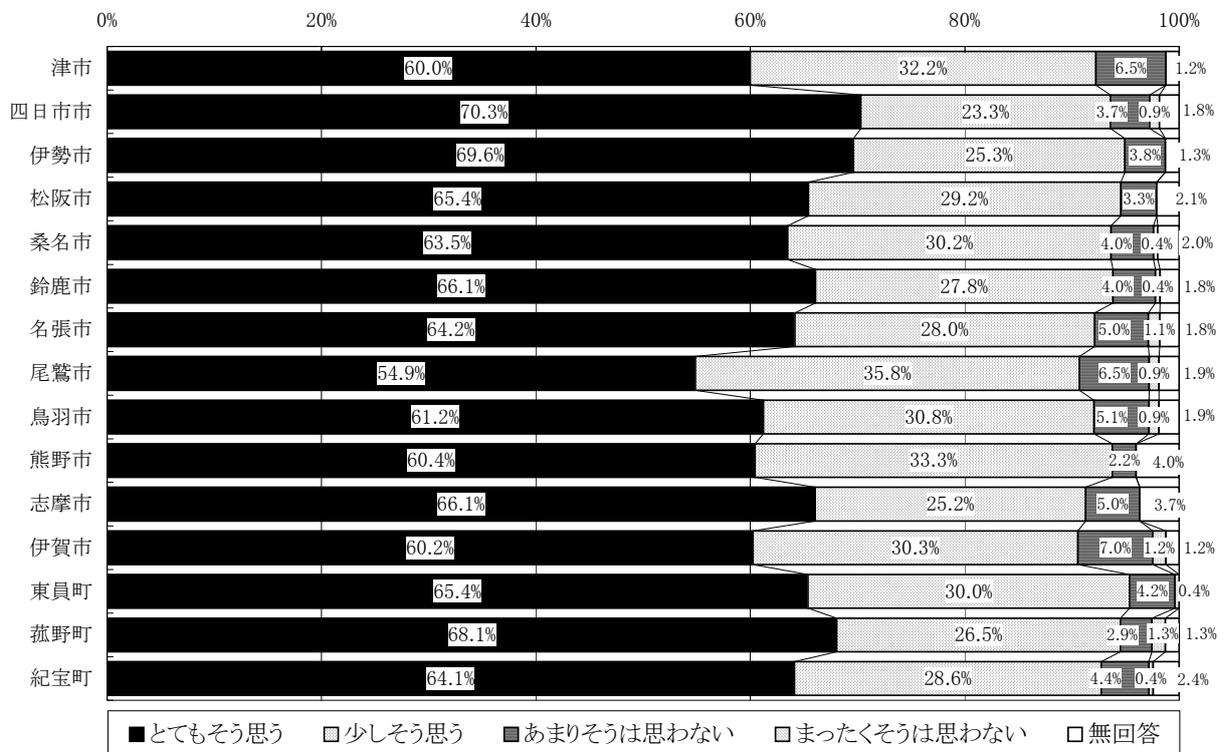
- 分別へのかかわり別に見ると、「ともそう思う」と回答した割合は、家族の中心になって熱心に分別している人が高い。

(3)商品についている容器や包装材は、もっと少なくいいと思う



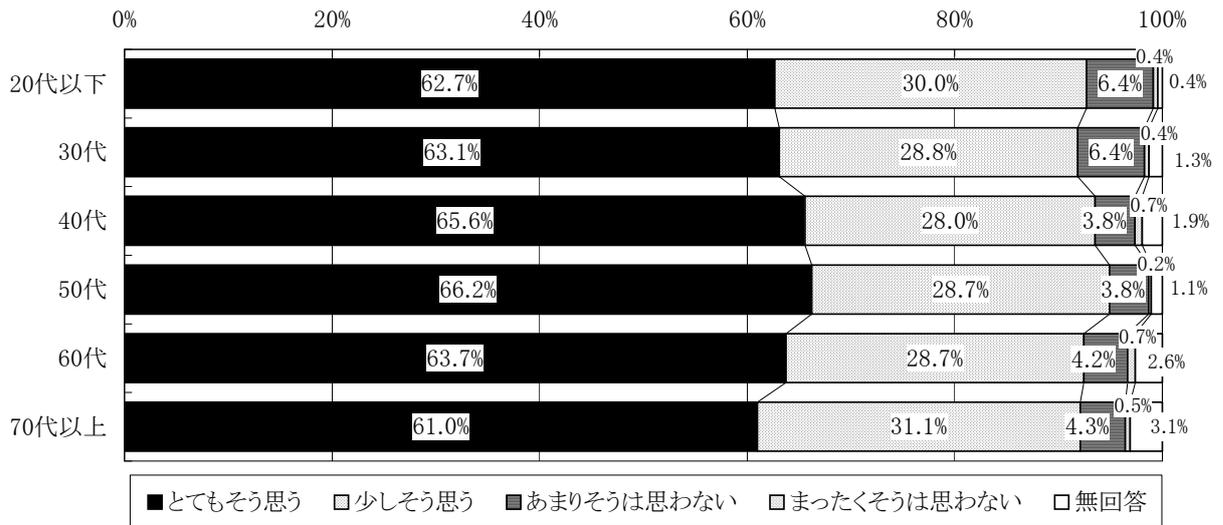
商品の過剰包装について「とてもそう思う」と回答した割合は 64.0%、「少しそう思う」を合わせると 93.0%を占めている。

【市町別】



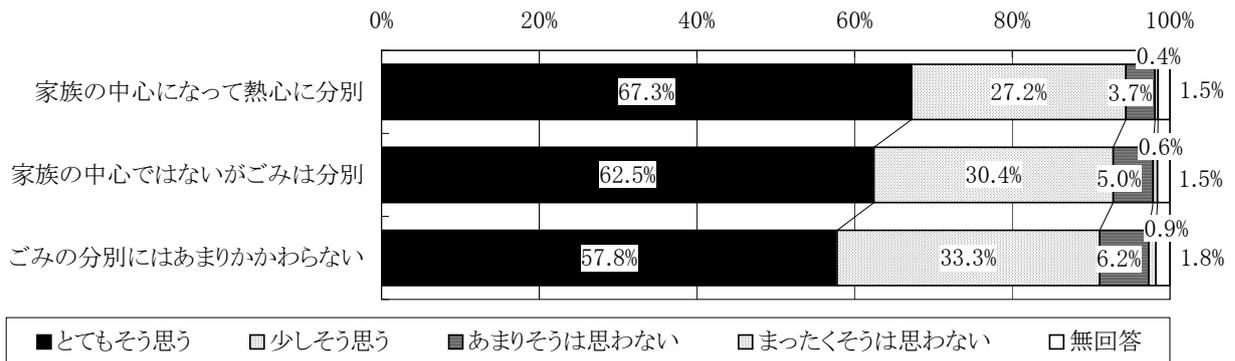
市町別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は、最も高い四日市市で 70.3%を占め、その他ほとんどの市町で 60%を超えている。尾鷲市は 54.9%にとどまっている。
 「少しそう思う」を合わせた割合は、すべての市町で 90%以上となっている。

【年齢別】



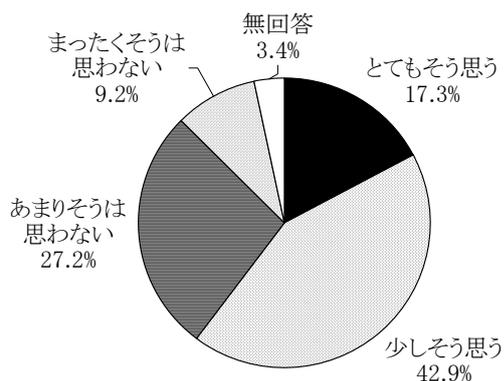
- 年齢別に見ると、「ともそう思う」と回答した割合は、どの年齢層においても 60%以上を占めており、「少しそう思う」を合わせると90%を超えている。
- 40代、50代で商品の過剰包装感がやや高くなっている。

【分別へのかかわり別】



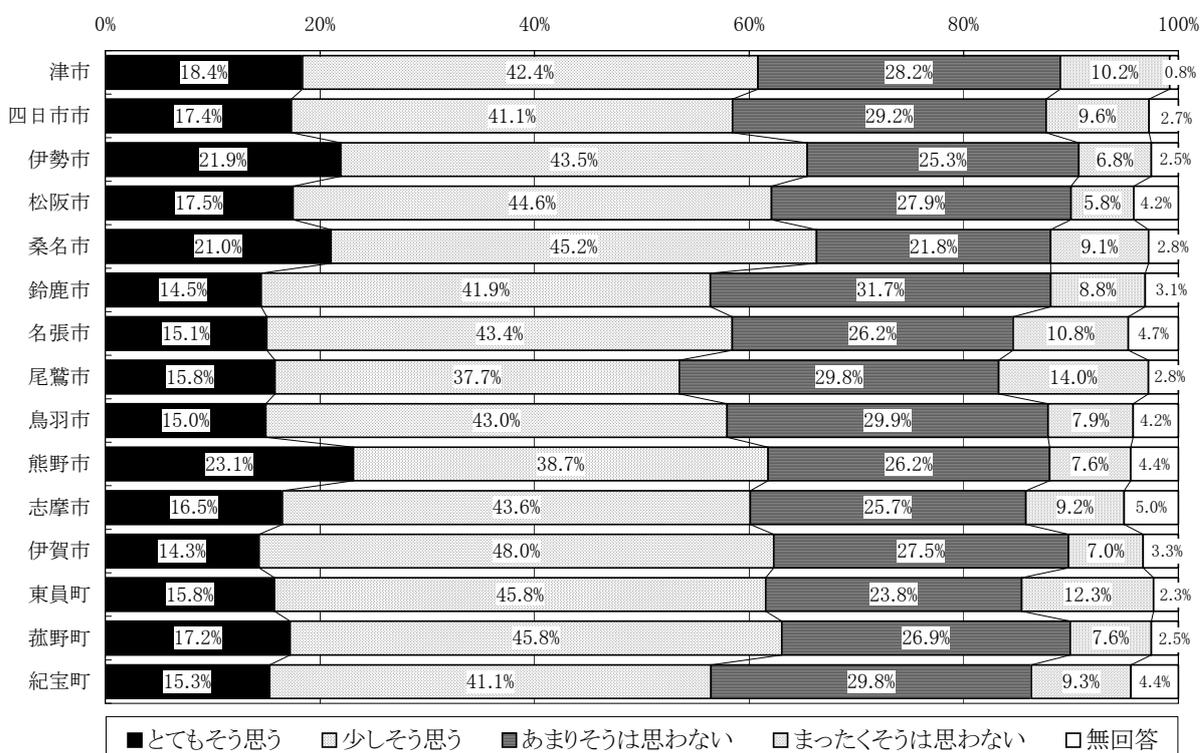
- 分別へのかかわり別に見ると、「ともそう思う」と回答した割合は、家族の中心になって熱心に分別している人ほど高い。

(4) レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない



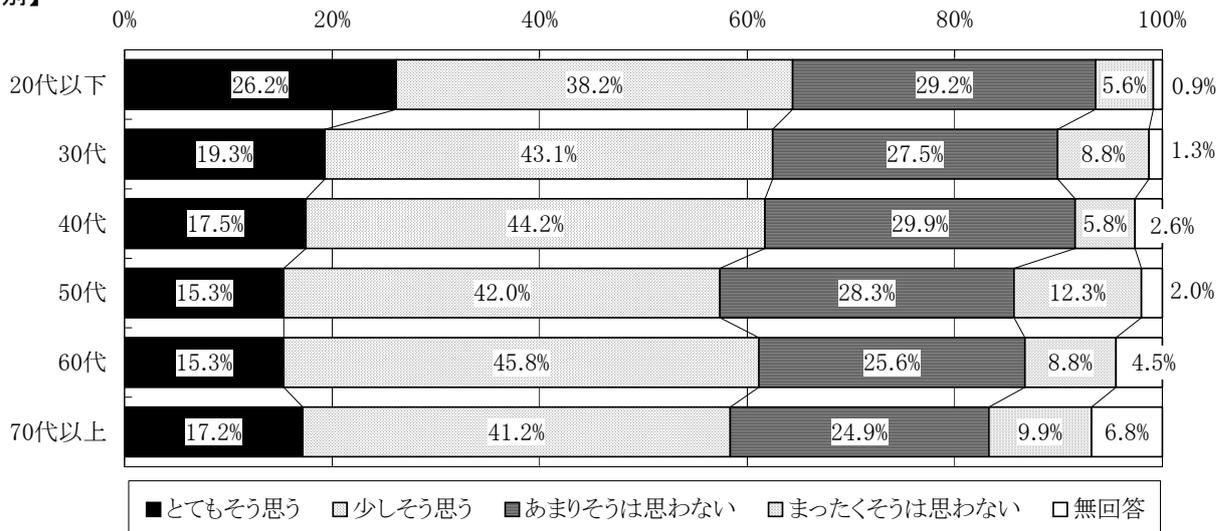
- ・ 「多くの人が使いまわすものに抵抗感はないか」という問いに対して「とともそう思う」と回答した割合は17.3%である。
- ・ 「少しそう思う」を合わせると60.2%を占めている。

【市町別】



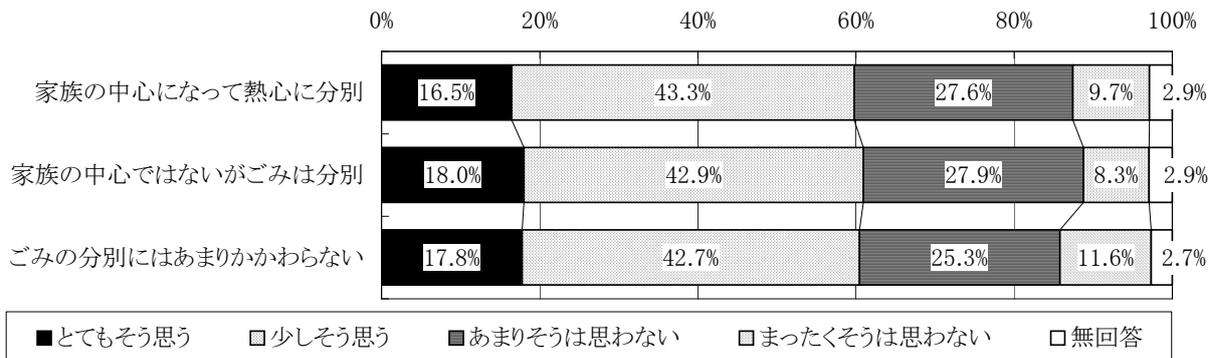
- ・ 市町別に見ると、「とともそう思う」と回答した割合が高いのは、熊野市23.1%、伊勢市21.9%、桑名市21.0%の順となっている。「少しそう思う」を合わせると、桑名市66.2%、伊勢市65.4%、菰野町63.0%、伊賀市62.3%、松阪市62.1%、熊野市61.8%、東員町61.6%など、多くの市町で60%を超えている。
- ・ 逆に、尾鷲市、鈴鹿市、紀宝町などでは、他市町に比べて「あまりそうは思わない」、「まったくそうは思わない」を合わせた割合がやや高く、「とともそう思う」、「少しそう思う」を合わせた割合との差が少ない。

【年齢別】



- 年齢別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は若い世代ほど高い傾向にある。

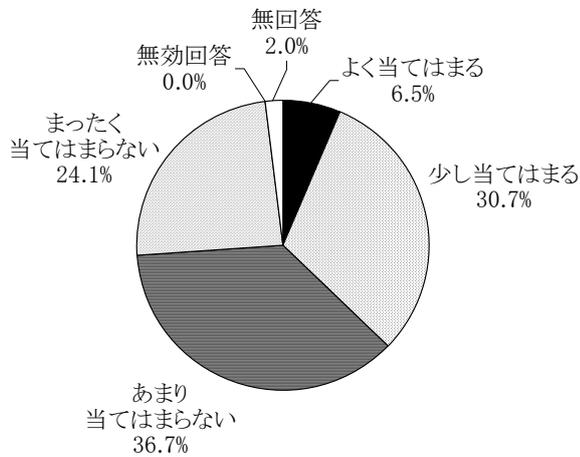
【分別へのかかわり別】



- 「多くの人が使いまわすものに抵抗感はないか」という問いに対して、分別へのかかわり度合いとの相関は見られない。

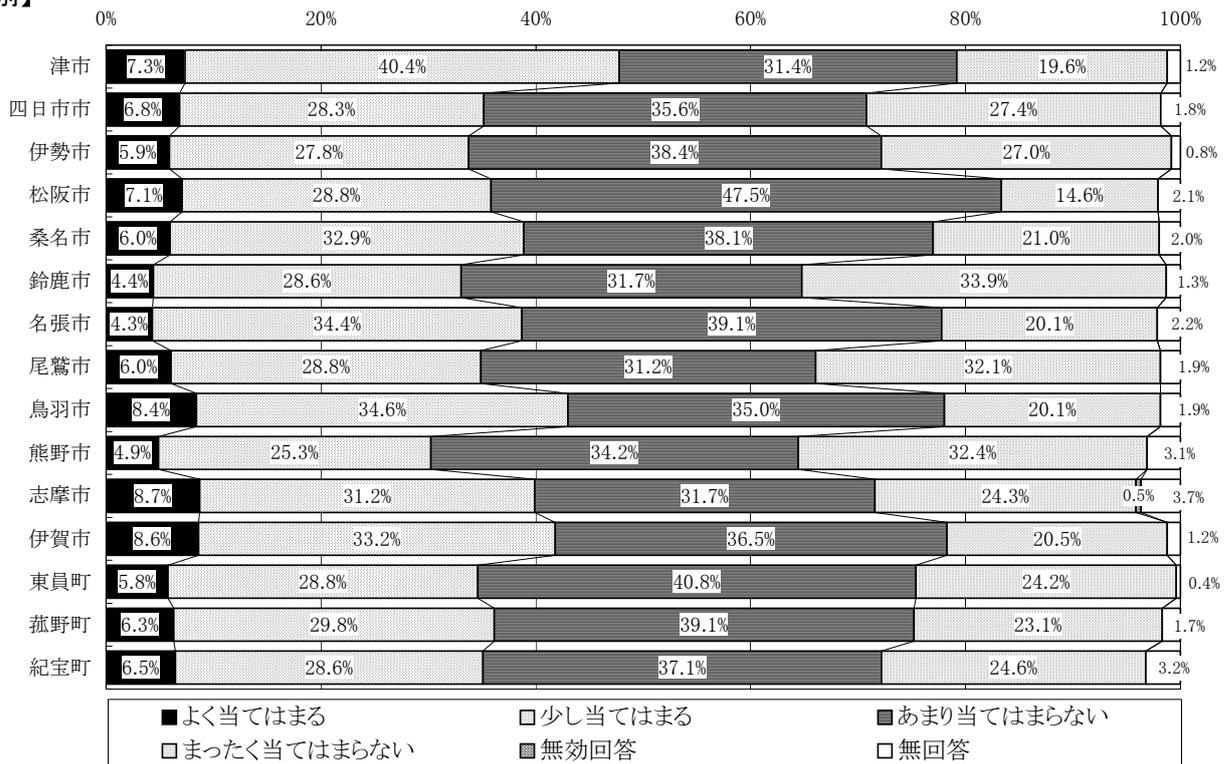
問2 次のそれぞれの場合についてあなたはどの程度あてはまりますか？(○は1つずつ)【回答者数:3,682】

(1)特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう



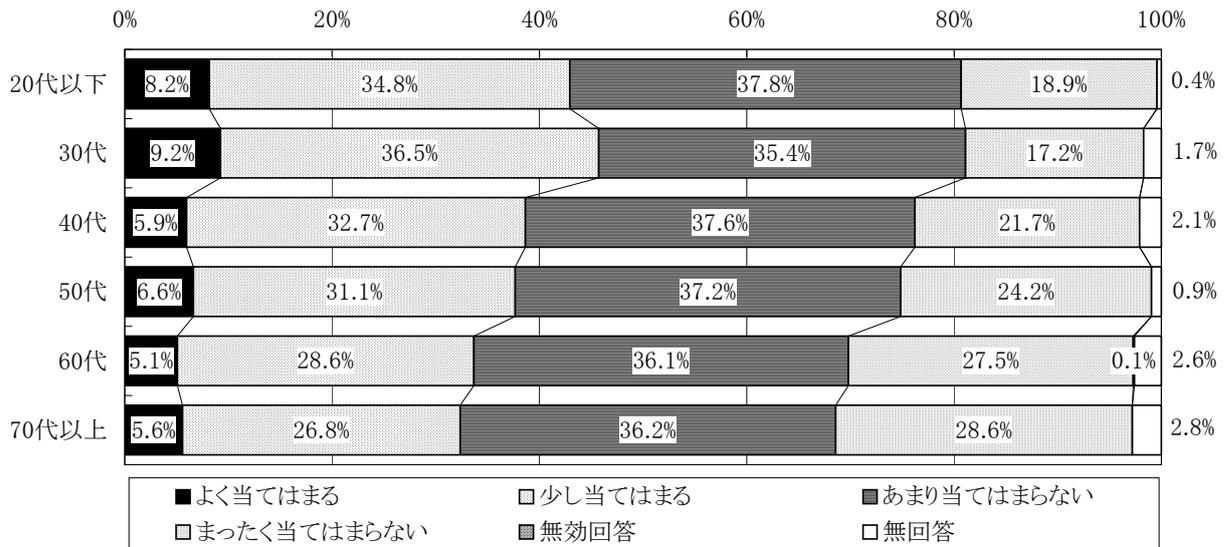
- ・ 特価品や新商品の衝動買いについて「よく当てはまる」と回答した割合は 6.5%、「少し当てはまる」を合わせても 37.2%にとどまっている。
- ・ 逆に「あまり当てはまらない」、「まったく当てはまらない」を合わせた割合は 60.8%と過半数を占めている。

【市町別】



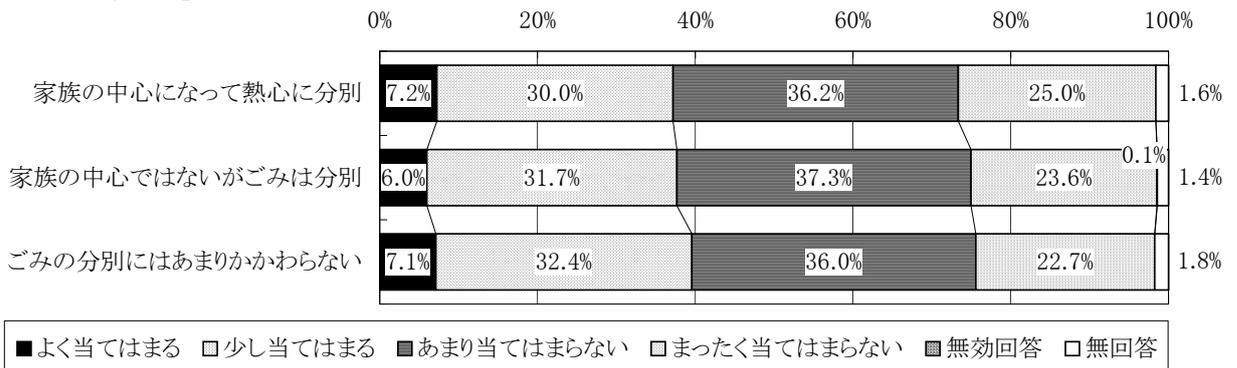
- ・ 市町別に見ると、「よく当てはまる」と回答した割合はすべての市町で 10%を下回っており、「少し当てはまる」を合わせても津市の 47.7%、鳥羽市の 43.0%、伊賀市の 41.8%以外はいずれも 40%以下にとどまっている。
- ・ 逆に「あまり当てはまらない」、「まったく当てはまらない」を合わせた割合は、熊野市 66.6%、鈴鹿市 65.6%、伊勢市 65.4%、東員町 65.0%などで 60%を超えており、その他の市町においても 50%以上と過半数を占めている。

【年齢別】



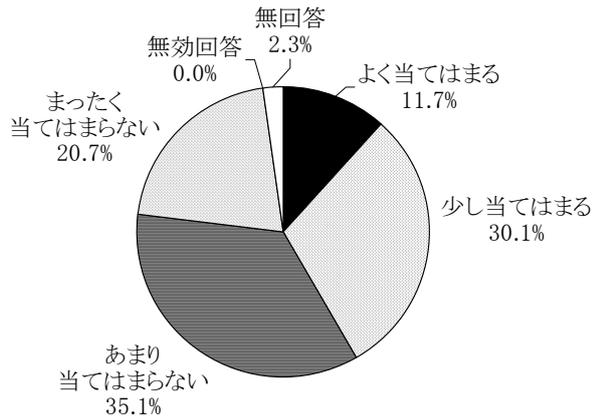
- 年齢別に見ると、いずれの年齢層においても、「あまり当てはまらない」、「まったく当てはまらない」を合わせた割合が「よく当てはまる」、「少し当てはまる」を合わせた割合を上回っている。しかし、30代以下の若い世代ではその差が小さい。

【分別へのかかわり別】



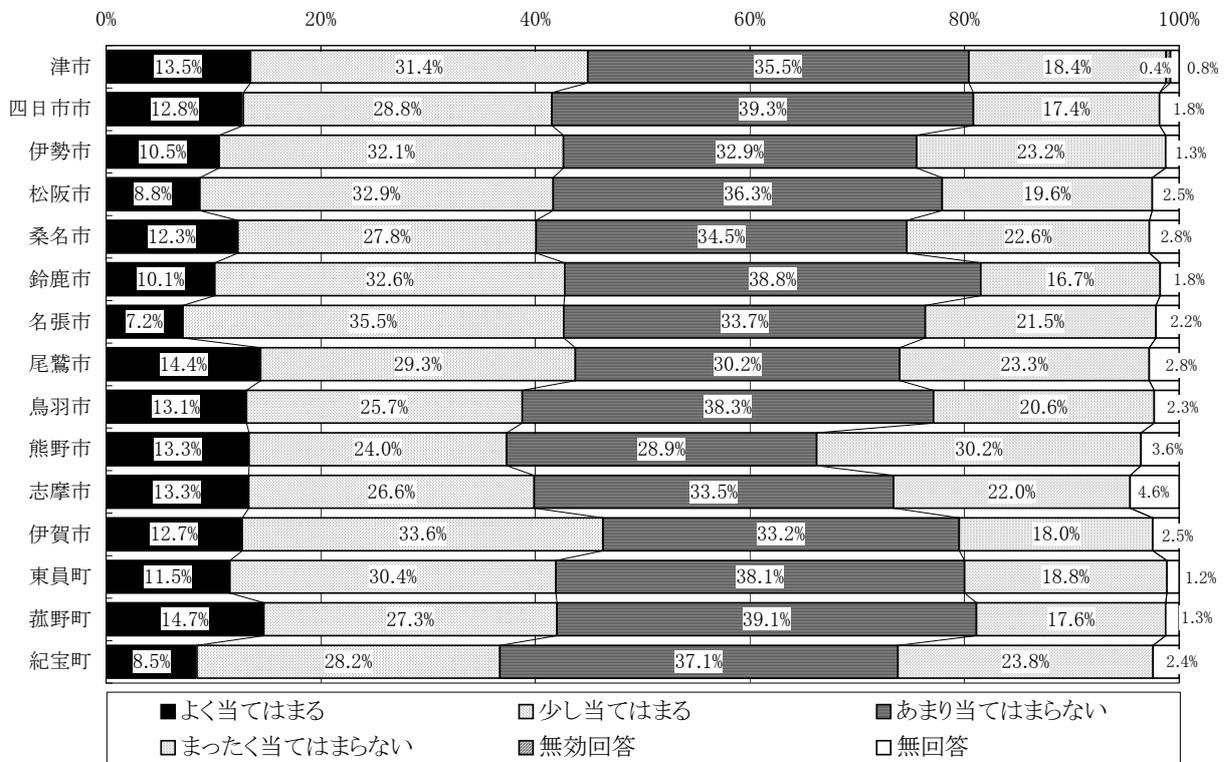
- 特価品や新商品の衝動買いについて、分別とのかかわり度合いと相関は見られない。

(2)買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える



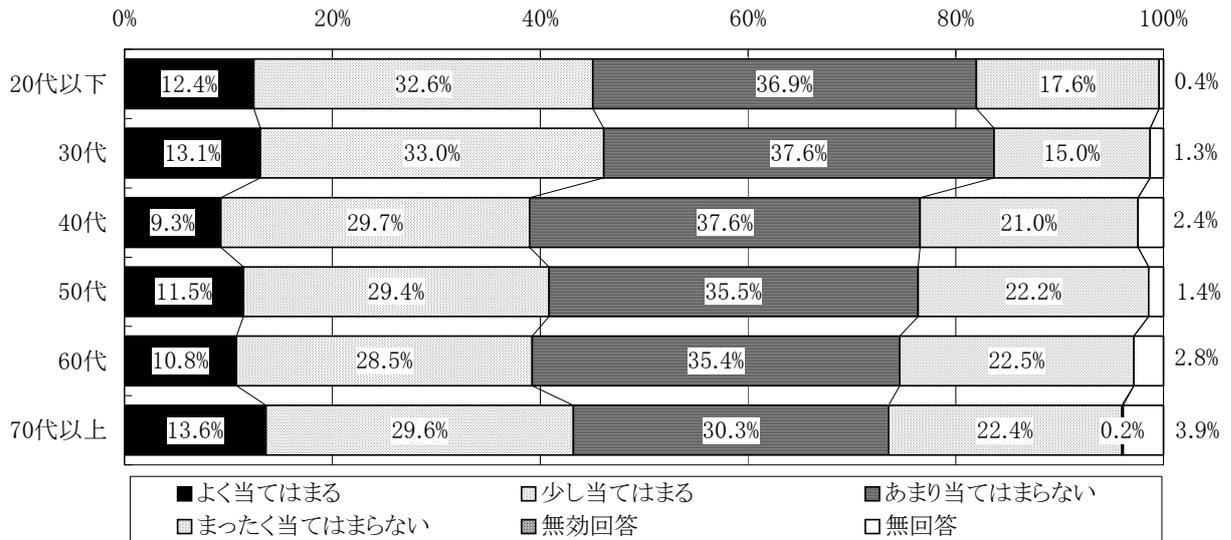
- 修理より買い替え志向について「よく当てはまる」と回答した割合は 11.7%、「少し当てはまる」を合わせても 41.8%にとどまっている。
- 逆に「あまり当てはまらない」、「まったく当てはまらない」を合わせた割合は 55.8%と過半数を占めている。

【市町別】



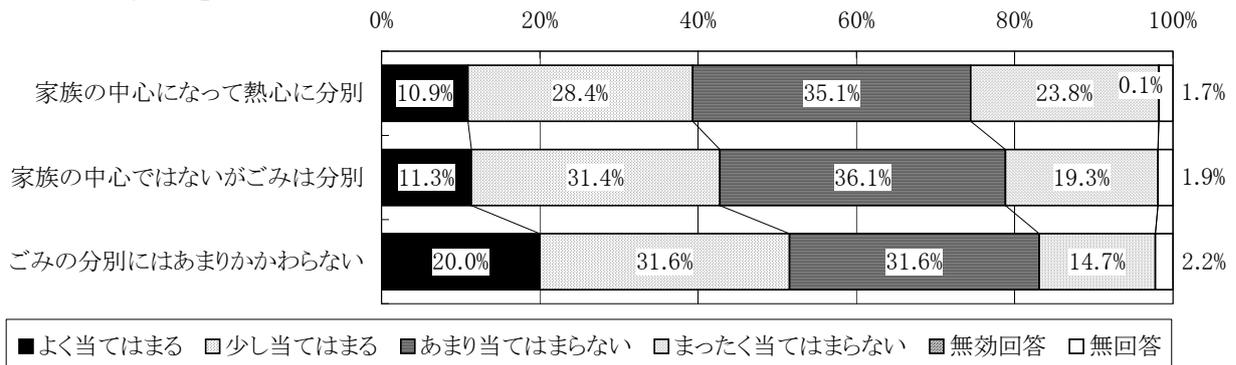
- 市町別に見ると、どの市町も「よく当てはまる」と回答した割合は 10%前後となっており、「少し当てはまる」を合わせても 40%前後にとどまっている。
- 逆に「あまり当てはまらない」、「まったく当てはまらない」を合わせた割合は、すべての市町で50%以上と過半数を占めており、「よく当てはまる」、「少し当てはまる」を合わせた割合をやや上回っている。しかし、伊賀市、津市、尾鷲市ではその差が比較的小さい。

【年齢別】



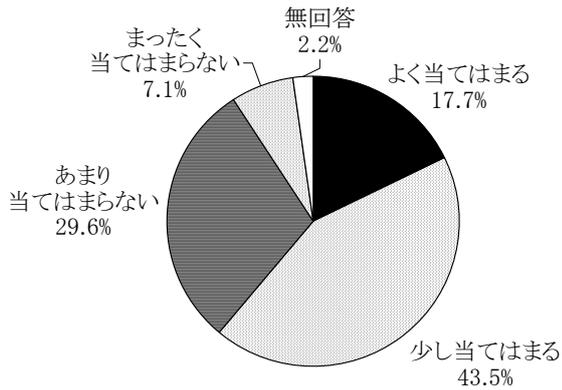
- 年齢別に見ると、どの年齢層も「あまり当てはまらない」、「まったく当てはまらない」を合わせた割合が「よく当てはまる」、「少し当てはまる」を合わせた割合を上回っている。しかし、30代以下の若い世代と70代以上ではその差が小さい。

【分別へのかかわり別】



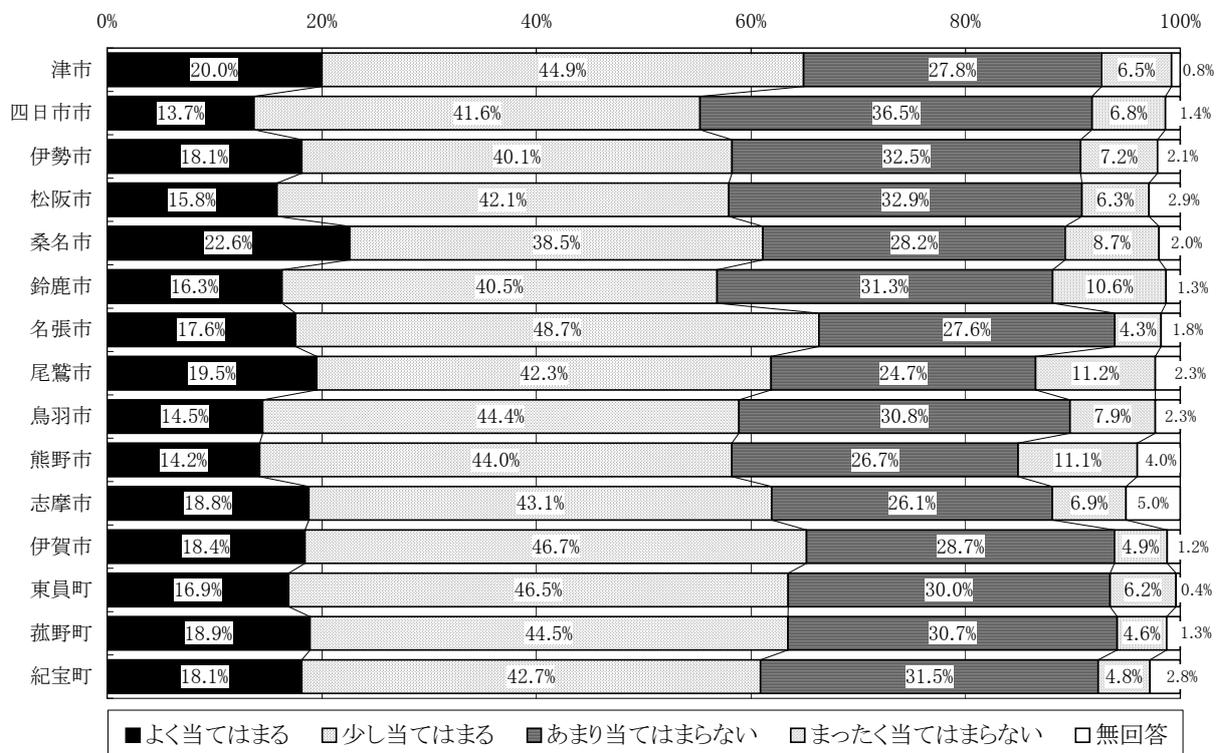
- 分別へのかかわり別に見ると、「よく当てはまる」、「少し当てはまる」を合わせた割合は、家族の中でごみの分別にあまりかかわっていない人の割合が高い。

(3)お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ



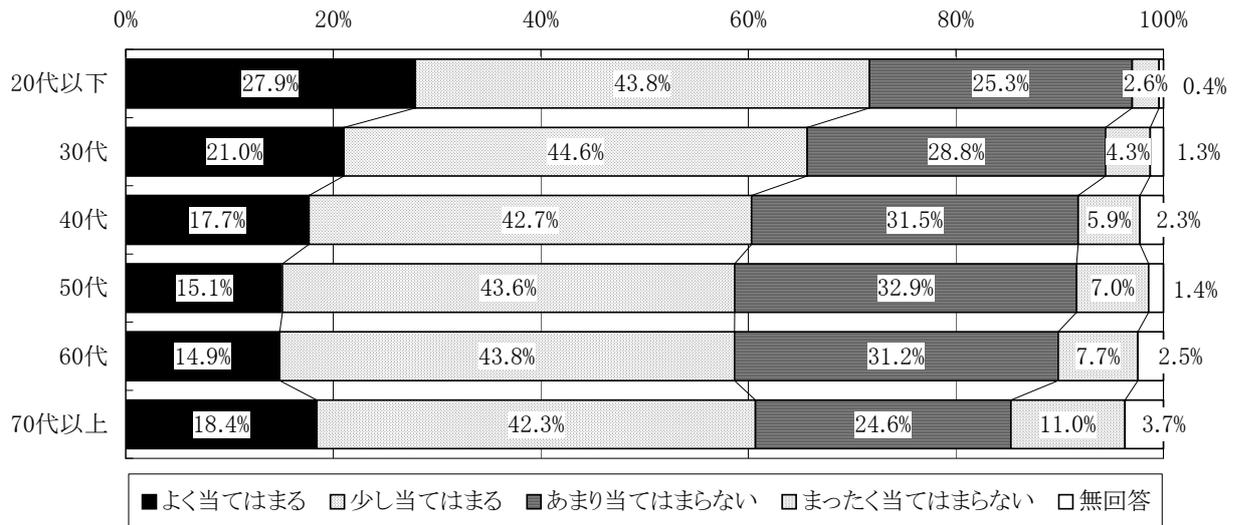
- 「環境やごみのことを考えずに商品を選ぶか」という問いに対して「よく当てはまる」と回答した割合は17.7%である。
- 「少し当てはまる」を合わせると61.2%を占めている。

【市町別】



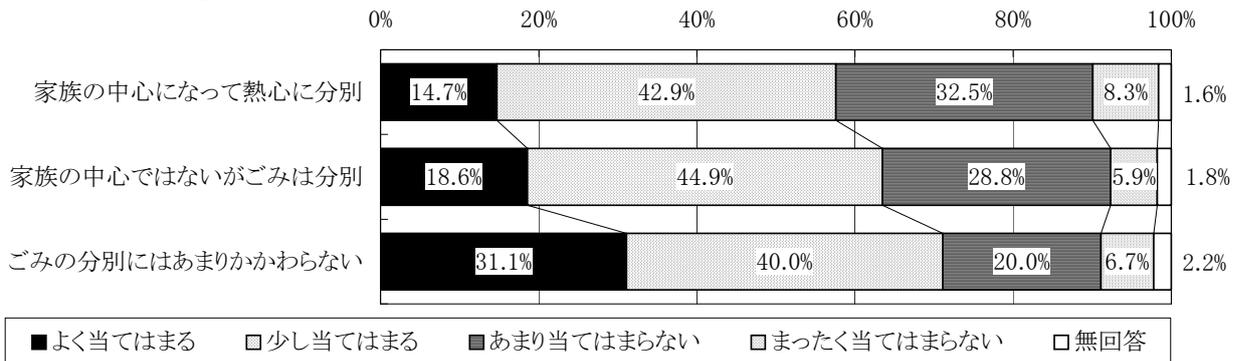
- 市町別に見ると、「よく当てはまる」と回答した割合は多くの市町で20%前後となっているが、四日市市、熊野市、鳥羽市では15%を下回っている。
- 「少し当てはまる」を合わせると、名張市66.3%、伊賀市65.1%、津市64.9%、東員町63.4%、菰野町63.4%など60%以上の市町が多い。

【年齢別】



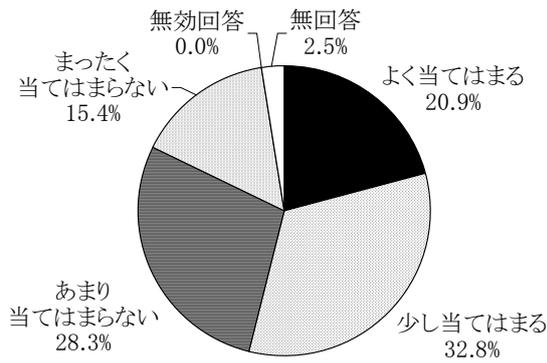
- 年齢別に見ると、「よく当てはまる」、「少し当てはまる」を合わせた割合は、若い世代ほど高い傾向にあり、特に 20 代以下では 71.7%と、唯一 70%を超えている。

【分別へのかかわり別】



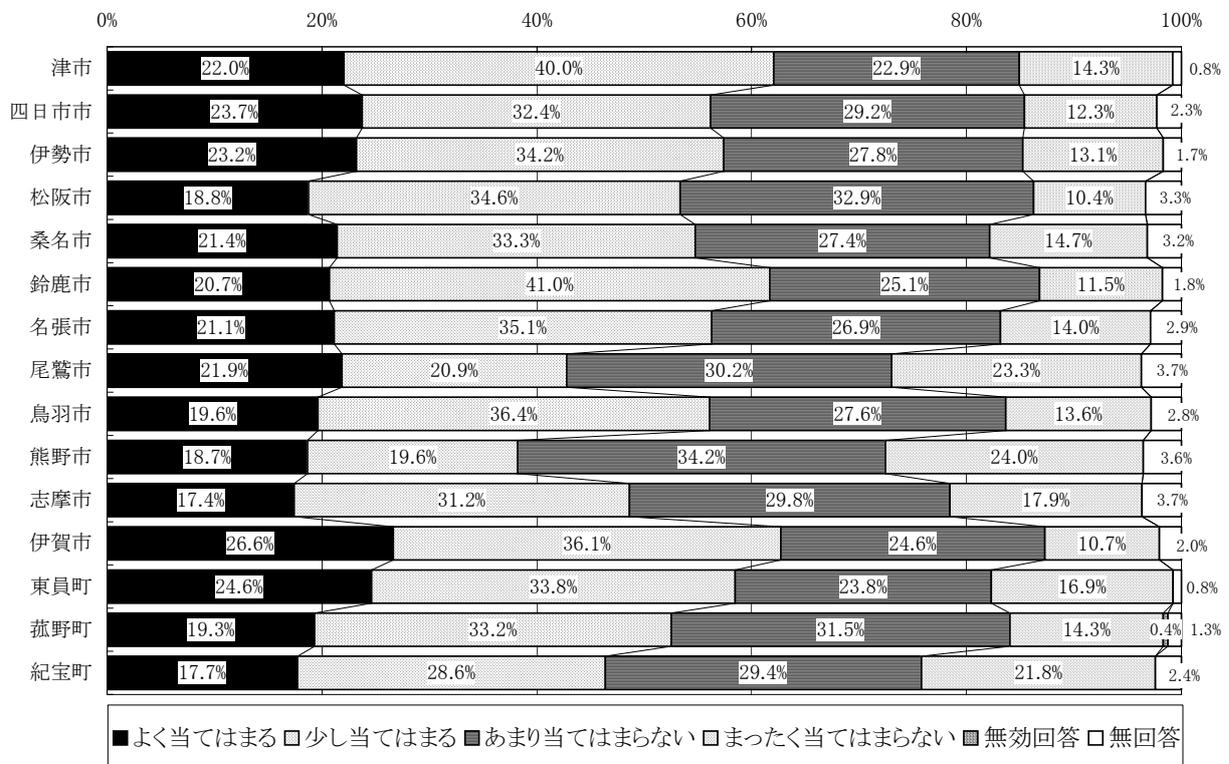
- 分別へのかかわり別に見ると、「よく当てはまる」、「少し当てはまる」を合わせた割合は、家族の中でごみの分別にあまりかかわっていない人の割合が高い。

(4)一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する



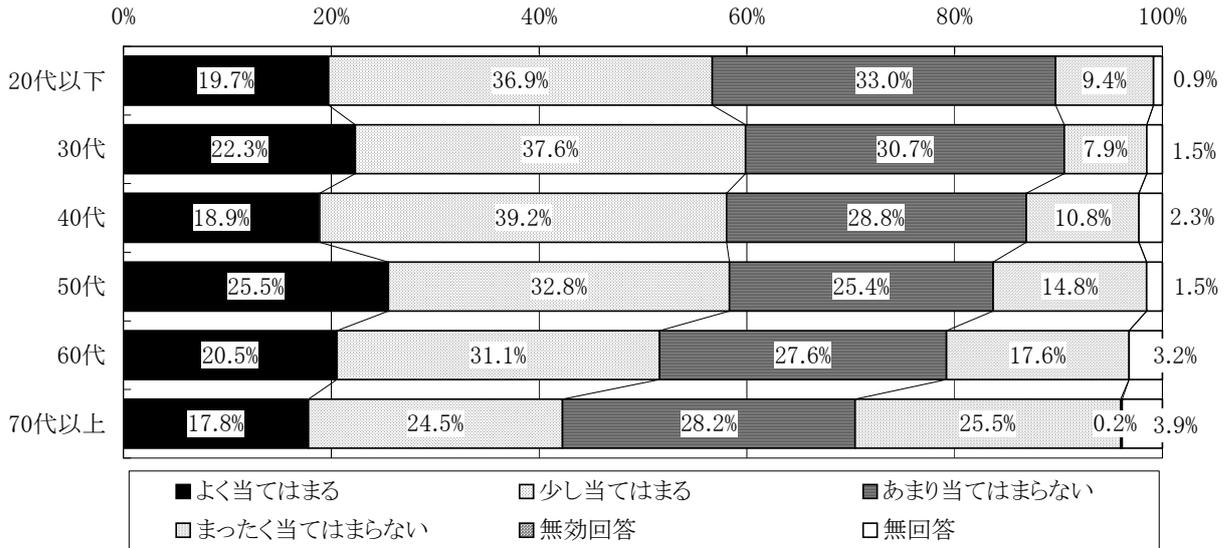
- ・ レンタル品等より新品という志向について「よく当てはまる」と回答した割合は20.9%である。
- ・ 「少し当てはまる」を合わせると53.7%を占めている。

【市町別】



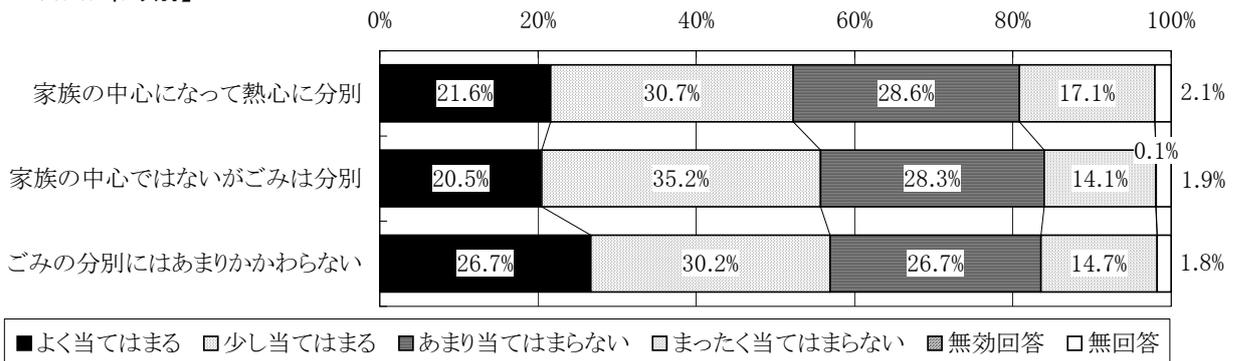
- ・ 市町別に見ると、「よく当てはまる」と回答した割合は、伊賀市の26.6%、東員町の24.6%のほかは多くの市町で20%前後となっている。「少し当てはまる」を合わせると、伊賀市62.7%、津市62.0%、鈴鹿市61.7%とほとんどの市町で50%を超えている。
- ・ しかし、熊野市、尾鷲市、紀宝町では逆に「あまり当てはまらない」、「まったく当てはまらない」を合わせた割合のほうが高く、過半数を占めている。

【年齢別】



- 年齢別に見ると、ほとんどの年齢層で「よく当てはまる」、「少し当てはまる」を合わせた割合が「あまり当てはまらない」、「まったく当てはまらない」を合わせた割合を上回る中で、70代以上だけは逆に「あまり当てはまらない」、「まったく当てはまらない」を合わせた割合のほうが高くなっている。

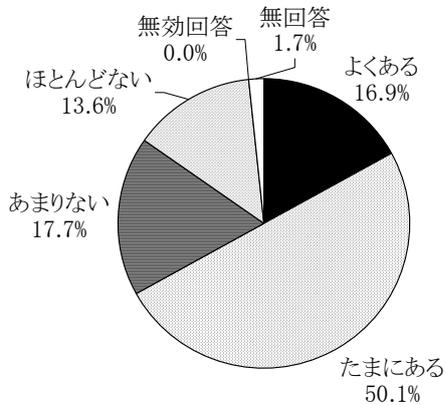
【分別へのかかわり別】



- 分別へのかかわり別に見ると、「よく当てはまる」、「少し当てはまる」を合わせた割合は、家族の中でごみの分別にあまりかかわっていない人の割合がやや高い傾向にある。

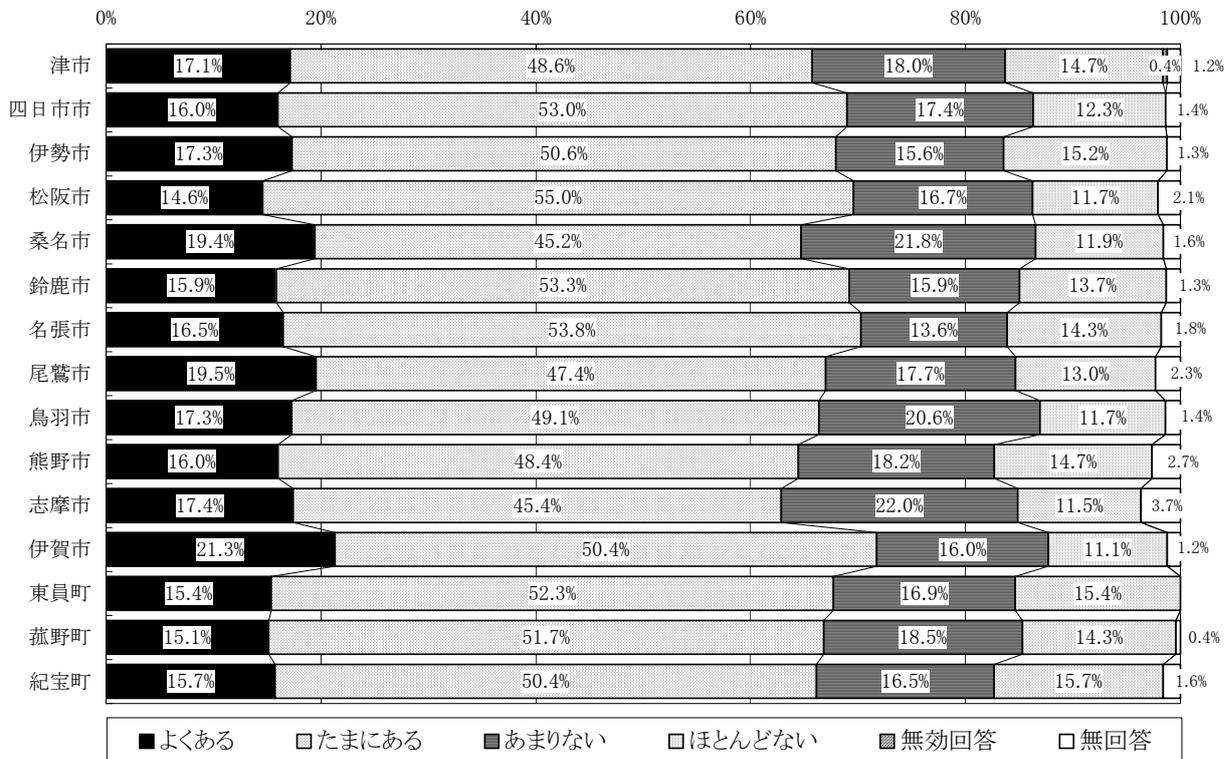
問3 食べ物のゴミについてお聞きします。(〇は1つずつ) 【回答者数:3,682】

(1)使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？



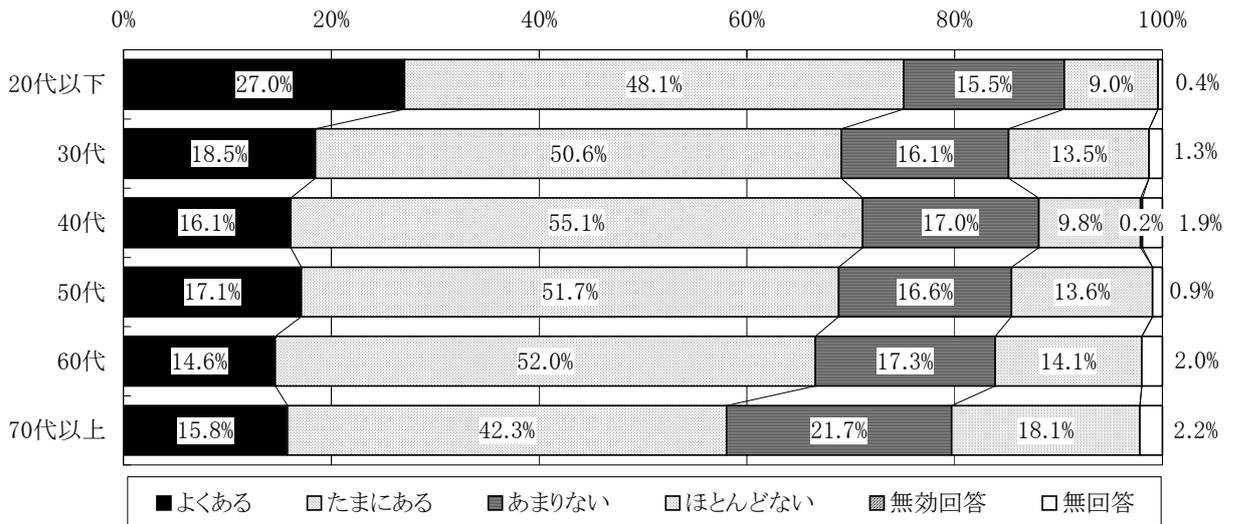
- 賞味期限切れ等による食材廃棄について「よくある」と回答した割合は16.9%である。
- 「たまにある」を合わせると67.0%を占めている。

【市町別】



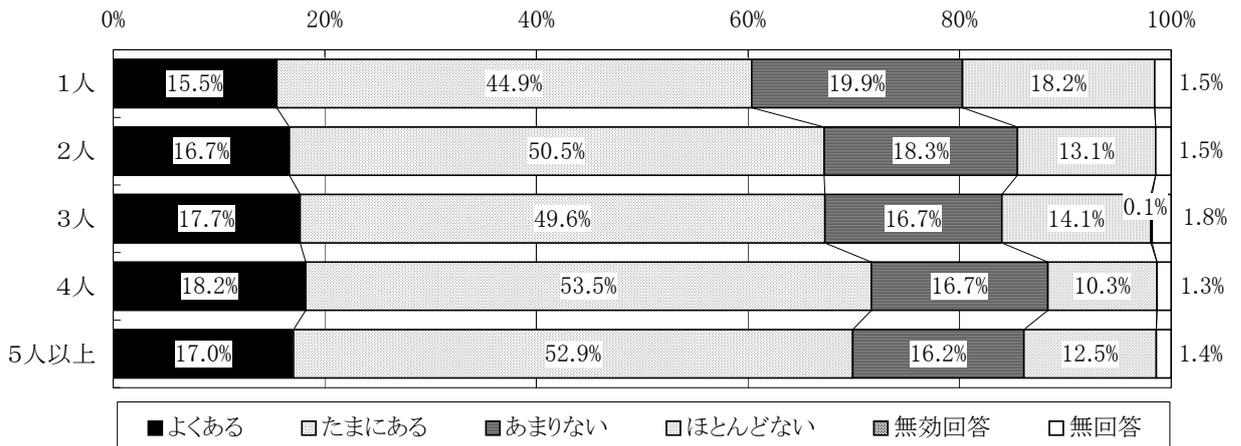
- 市町別に見ると、「よくある」と回答した割合は、伊賀市の21.3%以外はいずれも20%を下回っている。
- 「たまにある」を合わせると、伊賀市71.7%、名張市70.3%をはじめ、すべての市町で60%以上となっている。

【年齢別】



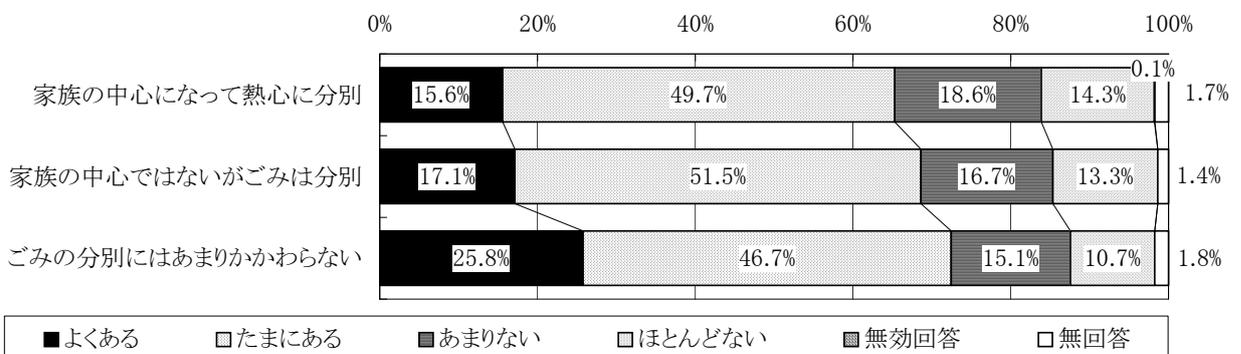
- 年齢別に見ると、「よくある」、「たまにある」を合わせた割合は、若い世代ほど高い傾向にあり、特に20代以下では75.1%を占めている。これに対して、70代以上では58.1%にとどまっている。

【世帯人数別】



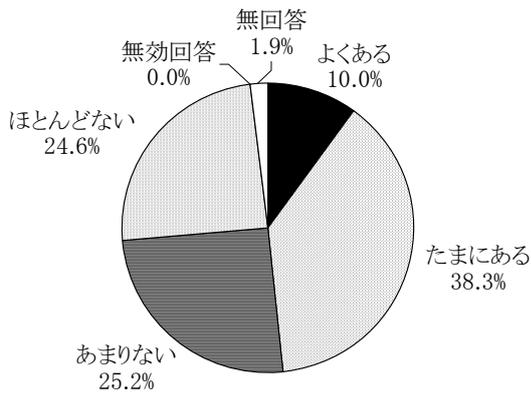
- 世帯人数別に見ると、世帯人数が多いほど、「よくある」、「たまにある」を合わせた割合が高くなっている。

【分別へのかかわり別】



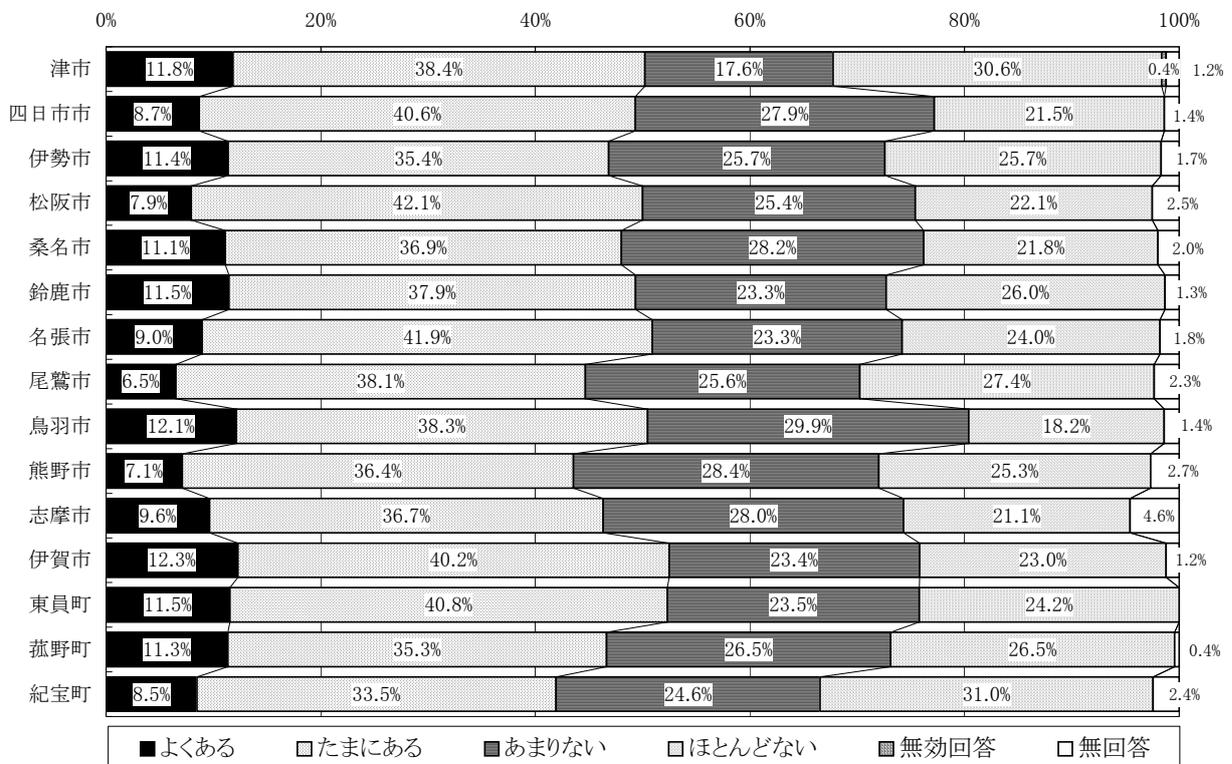
- 分別へのかかわり別に見ると、「よくある」、「たまにある」を合わせた割合は、家族の中でごみの分別にあまりかかわっていない人の割合が高い傾向にある。

(2)食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？



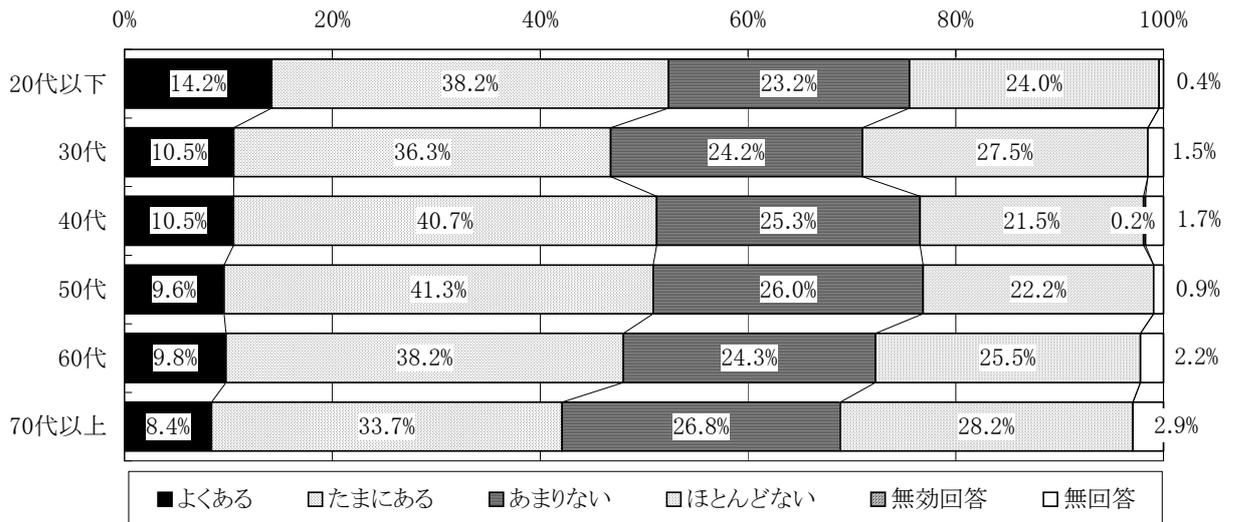
・ 食べ残しによる食品廃棄について「よくある」と回答した割合は 10.0%、「たまにある」を合わせても 48.3%と 50%を下回っており、「あまりない」、「ほとんどない」を合わせた 49.8%とほぼ同じくらいの割合となっている。

【市町別】



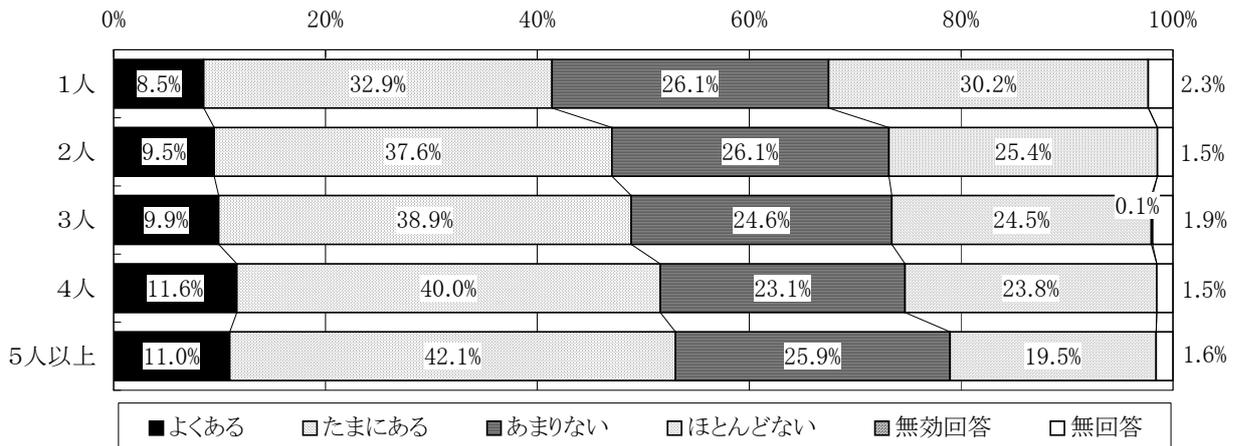
・ 市町別に見ると、「よくある」と回答した割合はいずれも 10%前後であるが、「たまにある」を合わせると、伊賀市 52.5%、東員町 52.3%などで 50%をやや上回っている。
 ・ 逆に「あまりない」、「ほとんどない」を合わせた割合のほうが高いのは、紀宝町 55.6%、熊野市 53.7%、尾鷲市 53.0%、菰野町 53.0%である。

【年齢別】



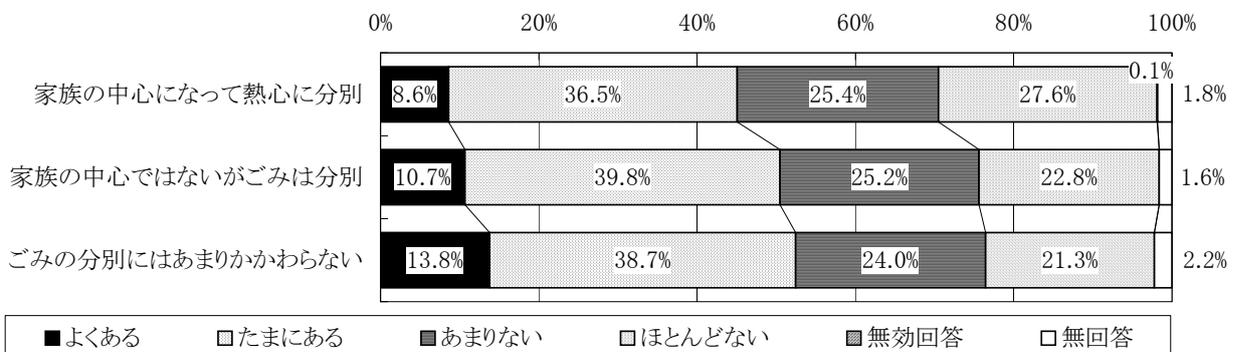
・ 年齢別に見ると、「よくある」、「たまにある」を合わせた割合がやや高いのは20代以下で、逆に「あまりない」、「ほとんどない」を合わせた割合が高いのは70代以上である。

【世帯人数別】



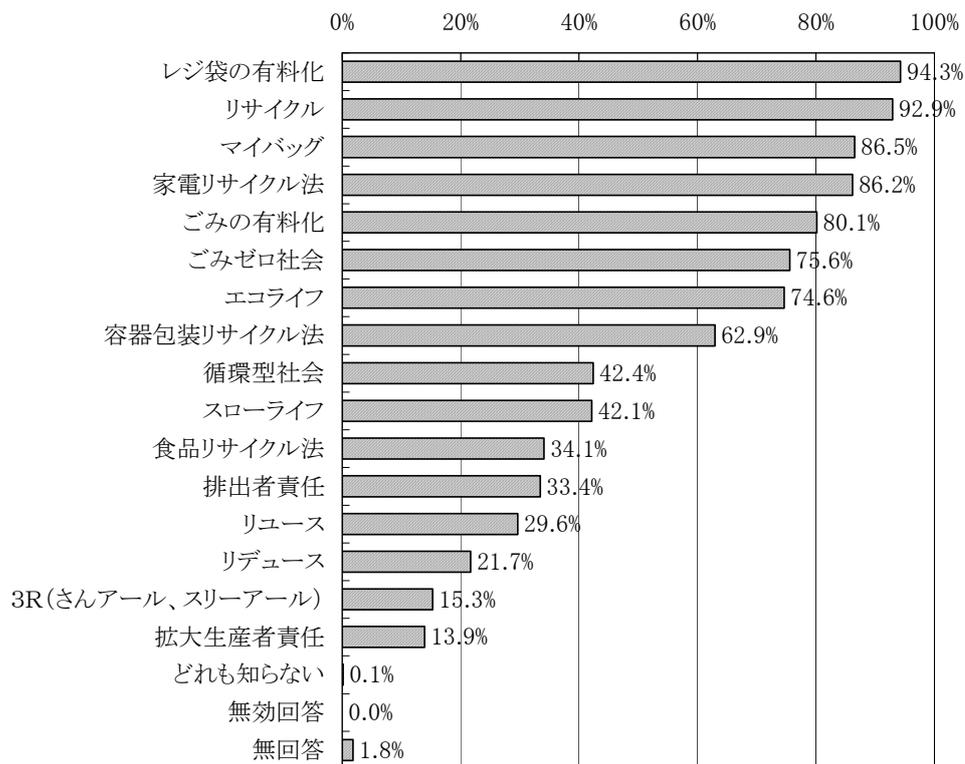
・ 世帯人数別に見ると、世帯人数が多いほど、「よくある」、「たまにある」を合わせた割合が高くなっている。

【分別へのかかわり別】



・ 分別へのかかわり別に見ると、「よくある」、「たまにある」を合わせた割合は、家族の中でごみの分別にあまりかかわっていない人の割合が高い傾向にある。

問4 次のうち、だいたい意味がわかる言葉はどれですか？(○はいくつでも) 【回答者数:3,682】



- ・ 「レジ袋の有料化」と「リサイクル」は認知度が高く、それぞれ 94.3%、92.9%と 90%以上を占めている。次いで、「マイバッグ」86.5%、「家電リサイクル法」86.2%、「ごみの有料化」80.1%などが続いている。
- ・ 「リユース」、「リデュース」、「3R」、「拡大生産者責任」の認知度は 30%に満たない。

【市町別】

(単位:%)

	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	鳥羽市	熊野市	志摩市	伊賀市	東員町	菰野町	紀宝町	無効回答	無回答	総計
レジ袋の有料化	95.5	96.8	97.0	94.6	96.0	93.8	93.5	92.1	94.9	93.3	89.4	95.9	95.8	96.2	93.1	100.0	84.7	94.3
リサイクル	96.3	95.4	94.9	94.2	95.2	93.0	92.1	88.8	93.9	92.4	86.7	93.9	94.6	93.3	91.1	66.7	87.3	92.9
マイバッグ	91.0	90.4	93.2	91.3	90.1	85.5	86.7	80.0	85.0	80.0	81.7	86.9	91.9	87.8	80.2	66.7	74.6	86.5
家電リサイクル法	91.0	88.1	84.0	85.0	86.9	88.1	88.5	84.7	82.7	80.4	83.0	90.2	90.4	87.4	85.1	100.0	76.3	86.2
ごみの有料化	78.4	83.1	81.9	79.6	79.0	78.9	89.6	78.6	82.2	80.4	79.4	88.1	79.6	77.7	70.2	33.3	70.3	80.1
ごみゼロ社会	73.9	74.9	77.2	81.3	72.2	76.7	77.4	72.6	73.8	73.3	73.4	77.9	80.8	76.1	74.2	66.7	69.5	75.6
エコライフ	81.2	81.3	75.1	79.2	81.0	81.5	79.2	60.9	63.6	68.0	70.2	75.4	82.7	77.3	61.7	33.3	70.3	74.6
容器包装リサイクル法	67.8	60.7	66.7	68.8	60.7	59.9	70.6	57.2	61.7	60.0	57.3	61.5	61.5	71.0	57.7	33.3	60.2	62.9
循環型社会	43.7	42.5	44.7	47.5	46.8	45.4	44.4	36.7	41.6	42.7	39.0	38.5	45.4	43.7	34.7	33.3	37.3	42.4
スローライフ	51.8	44.7	42.6	49.2	44.0	42.3	48.4	29.8	35.0	45.3	46.8	40.6	44.6	40.3	27.8	0.0	35.6	42.1
食品リサイクル法	33.9	30.6	35.4	37.9	31.0	30.4	38.7	32.6	33.2	36.9	29.4	33.6	36.2	35.3	34.7	33.3	33.9	34.1
排出者責任	35.9	33.3	33.3	34.6	36.1	34.8	38.0	31.6	25.7	31.6	28.9	33.2	36.5	38.7	29.4	33.3	28.0	33.4
リユース	36.7	37.9	38.4	29.6	34.1	32.2	36.2	25.6	27.6	22.2	27.1	23.4	30.4	28.2	13.7	33.3	29.7	29.6
リデュース	26.9	28.3	30.0	19.6	24.2	24.2	25.1	19.1	20.1	14.2	17.0	17.6	23.5	23.5	9.7	0.0	24.6	21.7
3R(さんアール、スリーアール)	19.2	20.1	22.4	14.6	16.3	18.1	20.1	14.9	14.0	10.7	12.4	13.1	12.3	15.1	6.9	0.0	13.6	15.3
拡大生産者責任	10.6	12.8	14.8	18.3	12.3	15.9	17.6	13.5	10.3	12.4	15.1	15.6	13.1	15.1	12.5	33.3	9.3	13.9
どれも知らない	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.1
無効回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1.2	1.4	0.8	2.1	1.6	1.3	2.2	2.3	0.9	2.7	4.6	1.6	0.0	0.4	2.0	0.0	6.8	1.8
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ どの市町でも認知度が高いのは「レジ袋の有料化」、「リサイクル」、「マイバッグ」、「家電リサイクル法」などで、逆に低いのは「拡大生産者責任」、「3R」などである。
- ・ すでにレジ袋削減・マイバッグ運動を推進している伊勢市では、「レジ袋の有料化」や「マイバッグ」の割合が市町の中で最も高い。
- ・ ごみの有料化を実施している伊賀市や平成 20 年4月から実施予定の名張市では、「ごみの有料化」の割合が他市町に比べてやや高くなっているが、同じくすでにごみの有料化を実施している桑名市や鳥羽市、志摩市では、さほど高くない。
- ・ 尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、紀宝町などでは、他市町に比べて各項目の認知度が比較的低い。

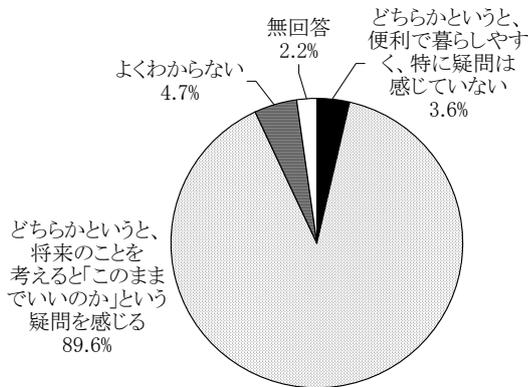
【年齢別】

(単位:%)

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無効回答	無回答	総計
レジ袋の有料化	94.0	96.4	96.3	97.8	94.2	88.1	0.0	86.2	94.3
リサイクル	97.9	96.4	95.8	94.9	92.2	85.4	0.0	87.2	92.9
マイバッグ	91.8	95.3	96.0	92.9	85.1	65.3	0.0	74.3	86.5
家電リサイクル法	79.8	89.9	88.6	93.3	87.9	74.1	0.0	75.2	86.2
ごみの有料化	66.5	77.9	80.6	88.1	82.3	74.8	0.0	71.6	80.1
ごみゼロ社会	66.1	64.4	74.3	80.6	81.4	75.4	0.0	69.7	75.6
エコライフ	82.8	88.4	86.7	85.7	68.4	45.2	0.0	69.7	74.6
容器包装リサイクル法	54.5	60.3	62.2	66.5	66.0	60.5	0.0	60.6	62.9
循環型社会	35.2	32.6	42.8	46.8	45.4	43.3	0.0	35.8	42.4
スローライフ	46.8	56.4	54.2	49.6	32.3	22.9	0.0	36.7	42.1
食品リサイクル法	28.8	26.6	28.3	35.9	39.6	37.2	0.0	34.9	34.1
排出者責任	20.2	23.2	30.9	35.4	40.2	37.5	0.0	29.4	33.4
リユース	44.6	45.5	40.9	28.7	20.2	15.9	0.0	29.4	29.6
リデュース	36.9	30.9	30.2	20.7	16.1	10.4	0.0	21.1	21.7
3R(さんアール、スリーアール)	29.2	21.5	19.6	15.3	9.9	9.0	0.0	13.8	15.3
拡大生産者責任	7.7	7.7	10.3	15.8	16.0	19.5	0.0	9.2	13.9
どれも知らない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	100.0	0.0	0.1
無効回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.4	1.1	1.7	1.1	2.0	2.8	0.0	7.3	1.8
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

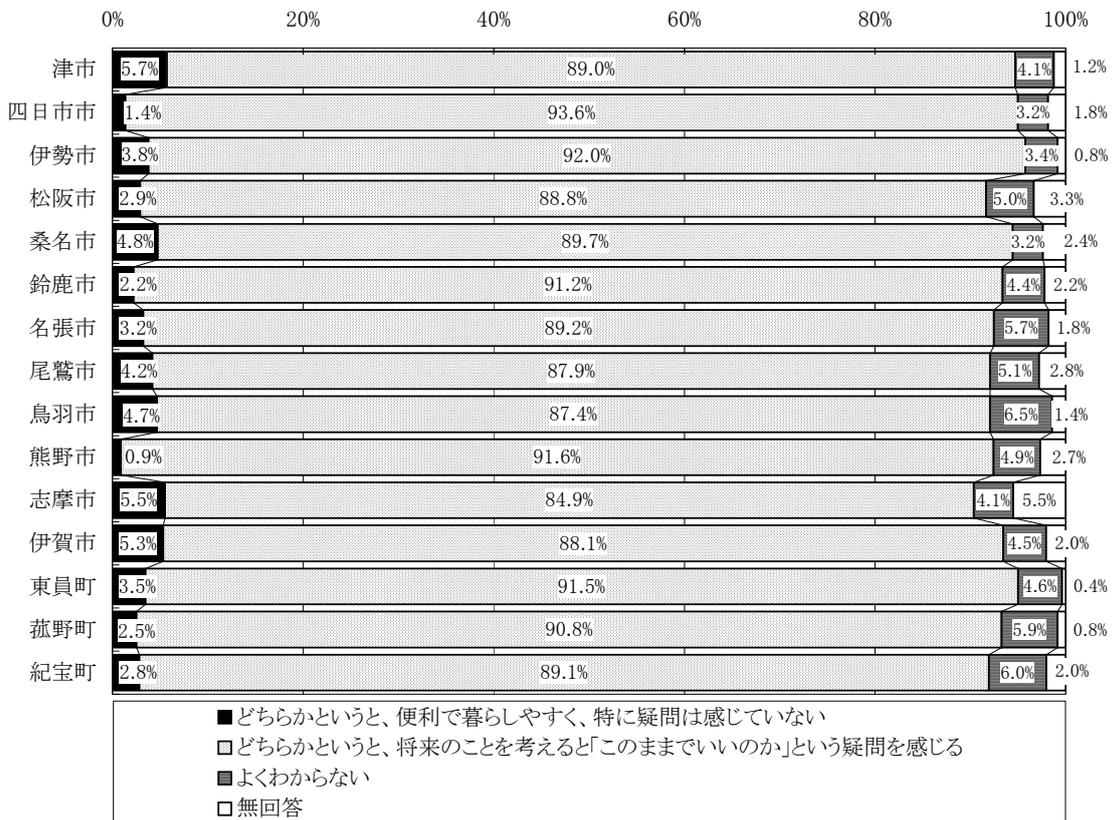
- ・ 各項目にわたり言葉の認知度が比較的高いのは50代である。
- ・ 高齢者層ではカタカナの言葉に対する認知度が低い。
- ・ 「容器包装リサイクル法」などの法律名や「排出者責任」、「拡大生産者責任」といった言葉に対する認知度は、若い世代ほど低くなっている。

問5 使い捨て商品が身の回りにあふれ、その結果としてごみが大量に捨てられる現代の社会を、あなたはどのように感じていますか？(もっとも考えの近いもの1つに○)【回答者数:3,682】



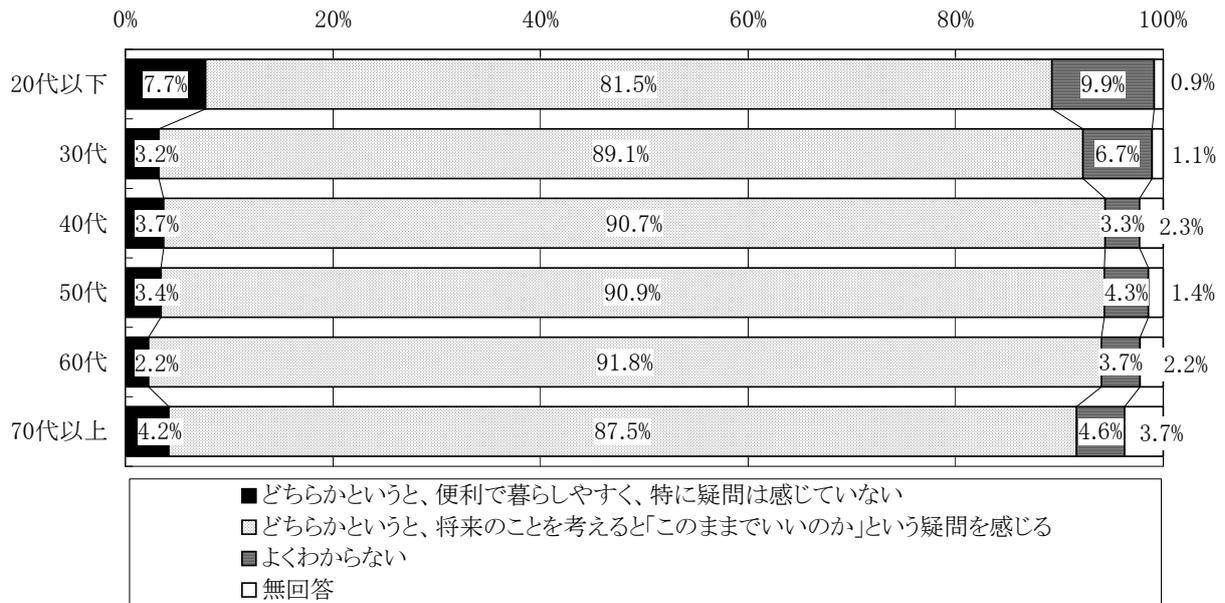
・ 使い捨て社会に対し、「どちらかという、将来のことを考えると『このままでいいのか』という疑問を感じる」と回答した割合は 89.6%と大半を占めている。

【市町別】



・ 市町別に見ると、どの市町でも使い捨て社会に対し「疑問を感じている」割合は約 90%を占めており、四日市市 93.6%、伊勢市 92.0%、熊野市 91.6%、東員町 91.5%、鈴鹿市 91.2%の順になっている。
 ・ 「疑問を感じていない」、「よくわからない」は、どの市町も 10%未満とごく少ない。

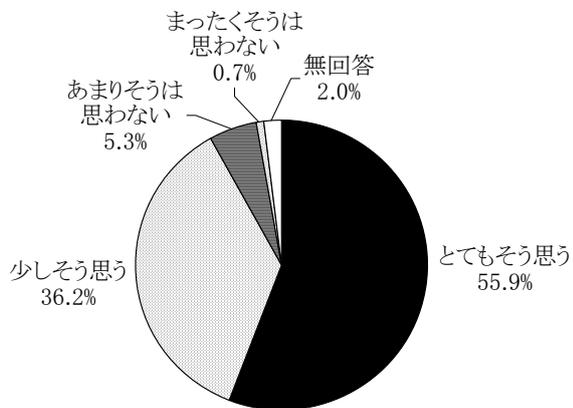
【年齢別】



- ・ 年齢別に見ると、使い捨て社会に対し疑問を感じている割合は、30代以上では90%前後を占めている。
- ・ これに対して、20代以下では81.5%にとどまっており、「よくわからない」が9.9%と1割近くを占めている。

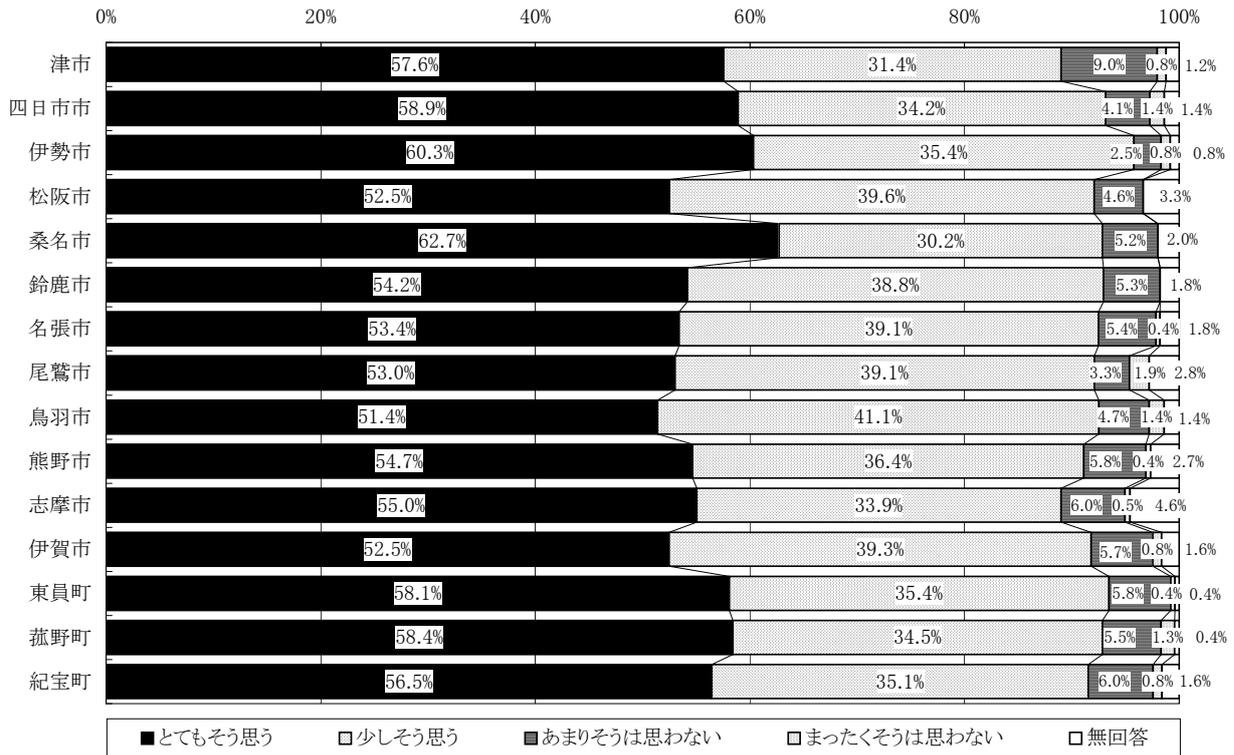
問6 ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？（○は1つ）

【回答者数：3,682】



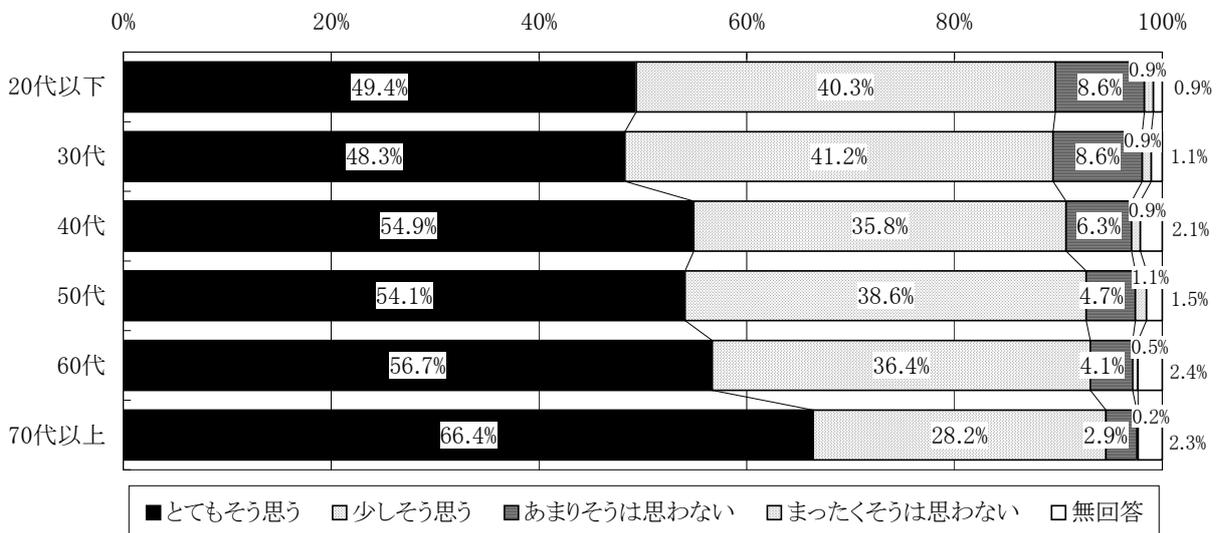
- ・ 「手間やコストをかけてでもごみを資源化すべきか」という問いに対して「とてもそう思う」と回答した割合は55.9%で、「少しそう思う」を合わせると92.1%を占めている。

【市町別】



- ・ 市町別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は、桑名市 62.7%、伊勢市 60.3%をはじめ、すべての市町で 50%以上となっている。
- ・ 「少しそう思う」を合わせると、いずれも 90%前後を占めている。

【年齢別】



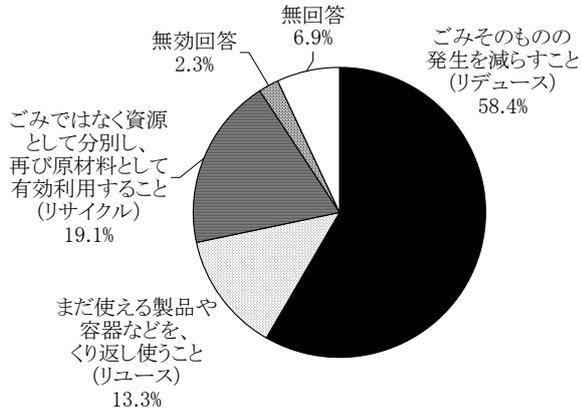
- ・ 年齢別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は 20 代以下が 49.4%、30 代が 48.3%と 50%を下回っている。
- ・ これに対して 70 代以上では 66.4%を占めており、「少しそう思う」を合わせると、高齢者層ほど高くなる傾向が見られる。

◎ 現在行っているごみ減量やリサイクルの取り組みについてお聞きします。

問7 ごみを減らす取り組みの中でどれが大切だと思いますか？(それぞれの枠内に番号を記入)

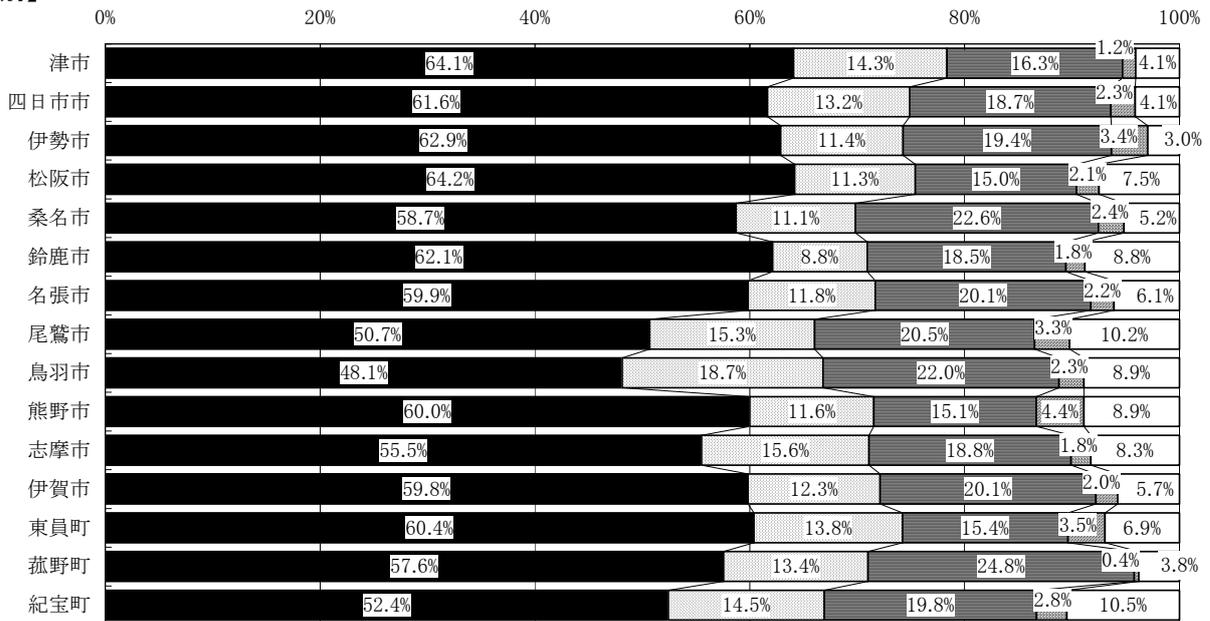
【回答者数: 3,682】

《最も大切だと思う》



- ・ ごみを減らす取り組みの中で最も大切だと思うこととして、「ごみそのものの発生を減らすこと(リデュース)」が最も高く、58.4%を占めている。
- ・ 次いで、「ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること(リサイクル)」が 19.1%、「まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと(リユース)」が 13.3%と続いている。

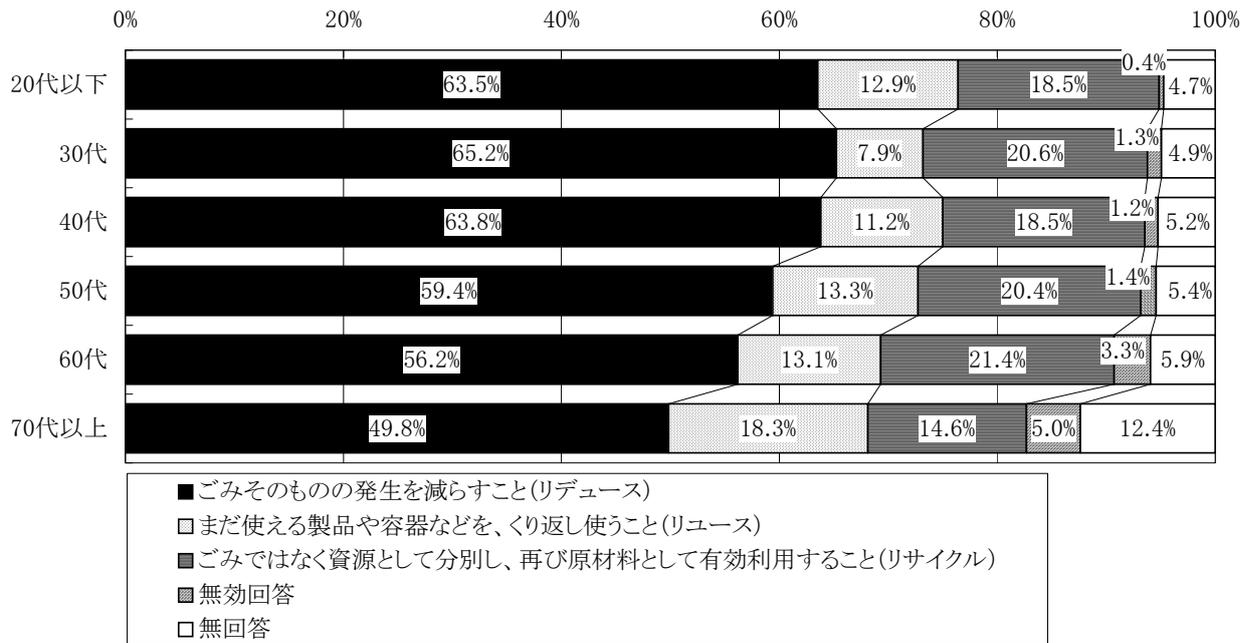
【市町別】



- ごみそのものの発生を減らすこと(リデュース)
- まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと(リユース)
- ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること(リサイクル)
- 無効回答
- 無回答

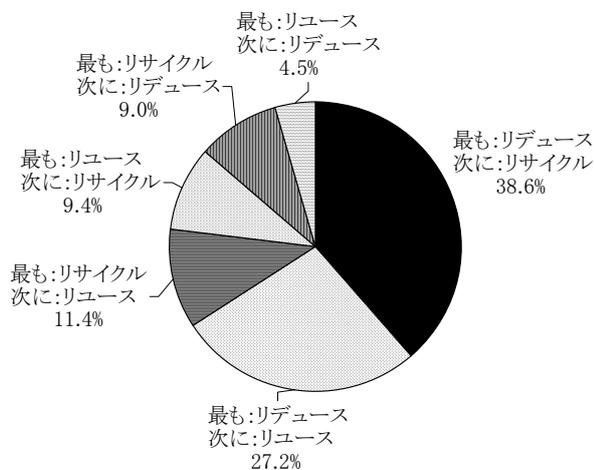
- ・ 市町別に見ると、「ごみそのものの発生を減らすこと(リデュース)」は、松阪市で 64.2%、津市で 64.1%、伊勢市で 62.9%、鈴鹿市で 62.1%、四日市市で 61.6%と、多くの市町で過半数を占めている。これに対し、鳥羽市では 48.1%、尾鷲市では 50.7%、紀宝町 52.4%と低くなっている。
- ・ 鳥羽市では、「まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと(リユース)」や「ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること(リサイクル)」が、他市町に比べて高くなっている。
- ・ 「ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること(リサイクル)」と回答した割合は、菰野町や桑名市も比較的高い。

【年齢別】



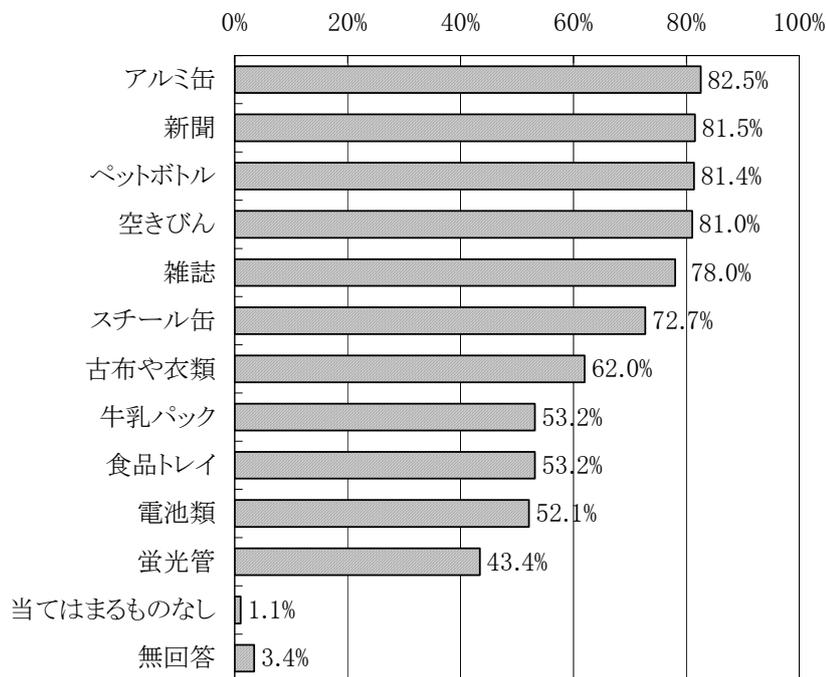
- 年齢別に見ると、「ごみそのものの発生を減らすこと(リデュース)」と回答した割合は、若い世代ほどやや高く、「まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと(リユース)」は70代以上の高齢者層で高い。

《最も大切だと思う・次に大切だと思う》【回答者数:3,162】



- 最も大切なのは「ごみそのものの発生を減らすこと(リデュース)」、次に大切なのは「ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること(リサイクル)」とする割合が最も高く、38.6%を占めている。
- 次いで、最も大切なのは「ごみそのものの発生を減らすこと(リデュース)」、次に大切なのは「まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと(リユース)」とする割合が27.2%で続いている。

問8 あなたのご家庭では、次のうち、資源ごみとして市町の収集に出している品目はどれですか？
 (当てはまるものすべてに○) 【回答者数:3,682】



- ・ 資源ごみとして市町の収集に出している品目については、「アルミ缶」82.5%、「新聞」81.5%、「ペットボトル」81.4%、「空きびん」81.0%が 80%以上、「雑誌」78.0%、「スチール缶」72.7%が 70%以上となっている。
- ・ 「牛乳パック」、「食品トレイ」、「電池類」は約 50%と低く、「蛍光管」は 50%を下回っている。

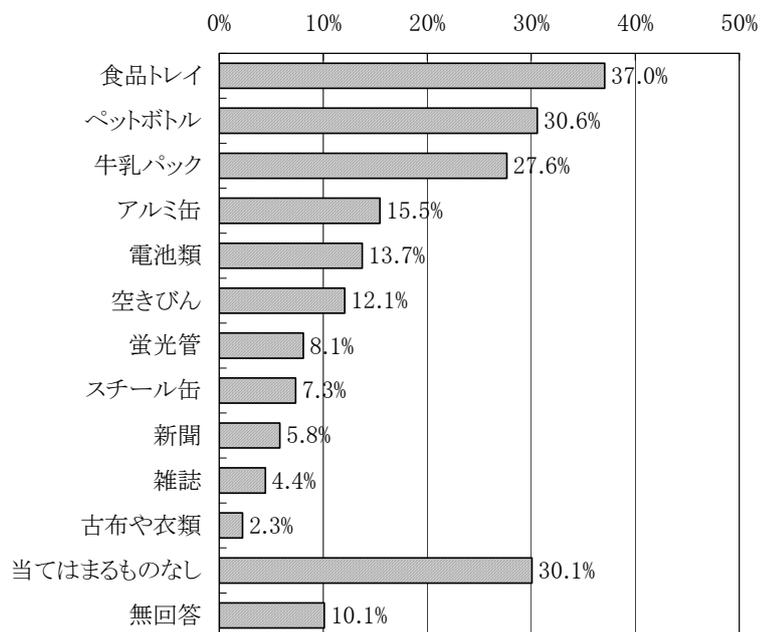
【市町別】

(単位: %)

	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	鳥羽市	熊野市	志摩市	伊賀市	東員町	菟野町	紀宝町	無効回答	無回答	総計
アルミ缶	64.1	84.0	74.7	77.5	84.5	82.4	86.7	82.3	87.9	88.9	82.1	84.4	88.5	85.7	85.9	100.0	78.8	82.5
新聞	75.9	81.7	86.5	79.2	85.3	81.1	75.3	78.6	71.5	90.7	79.8	81.1	85.4	83.6	86.3	100.0	81.4	81.5
ペットボトル	87.3	74.0	92.4	80.8	83.3	79.3	83.5	50.2	86.4	85.3	83.9	74.6	89.6	82.8	84.3	100.0	78.0	81.4
空きびん	65.3	88.1	89.5	73.3	84.9	79.3	90.0	81.9	83.2	84.0	69.3	81.1	84.2	87.4	74.2	100.0	77.1	81.0
雑誌	75.1	80.8	82.7	77.1	81.3	76.2	73.8	74.9	66.4	87.6	75.7	75.8	80.0	81.1	82.7	100.0	73.7	78.0
スチール缶	55.1	81.7	58.6	42.5	81.0	72.7	87.5	64.2	82.2	78.7	62.4	76.2	85.0	85.3	76.2	66.7	68.6	72.7
古布や衣類	63.7	82.2	55.3	48.8	67.5	63.9	65.6	61.4	33.2	67.1	28.4	72.5	74.6	71.8	70.2	66.7	55.9	62.0
牛乳パック	42.0	45.2	63.3	53.8	60.3	46.7	55.2	37.7	63.1	64.4	50.5	42.6	51.9	62.6	59.3	66.7	47.5	53.2
食品トレイ	32.2	33.8	82.3	65.0	38.9	27.8	71.3	37.7	65.9	58.2	70.2	32.8	40.4	68.9	72.2	66.7	48.3	53.2
電池類	38.4	55.3	59.1	32.9	56.0	48.0	77.1	34.9	62.1	40.4	54.1	53.3	50.0	79.8	37.1	33.3	51.7	52.1
蛍光管	22.4	37.4	63.3	18.8	40.9	43.2	73.8	31.6	59.3	29.8	36.7	54.9	33.5	79.0	23.0	33.3	42.4	43.4
当てはまるものなし	0.4	0.5	0.0	0.8	4.0	2.6	0.7	0.5	0.9	0.0	0.9	0.8	0.8	2.9	0.4	0.0	0.8	1.1
無回答	3.7	1.8	3.4	3.8	2.4	2.2	1.8	5.1	5.1	2.7	4.1	3.3	3.5	2.9	4.8	0.0	6.8	3.4
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 市町別に見ると、「アルミ缶」、「ペットボトル」、「空きびん」、「新聞」などは多くの市町で 80%を超えているのに対し、「牛乳パック」、「古布や衣類」、「食品トレイ」、「蛍光管」、「電池類」は市町によって 60%以上のところもあれば 20~30%のところもあり、差が大きい。

問9 あなたのご家庭では、次のうち、お店に持って行って回収してもらっている品目はどれですか？
 (当てはまるものすべてに○) 【回答者数:3,682】



- ・店頭回収に出している品目については、「食品トレイ」が 37.0%と最も高く、次いで「ペットボトル」30.6%、「牛乳パック」27.6%と続いている。
- ・「当てはまるものなし」が 30.1%見られる。

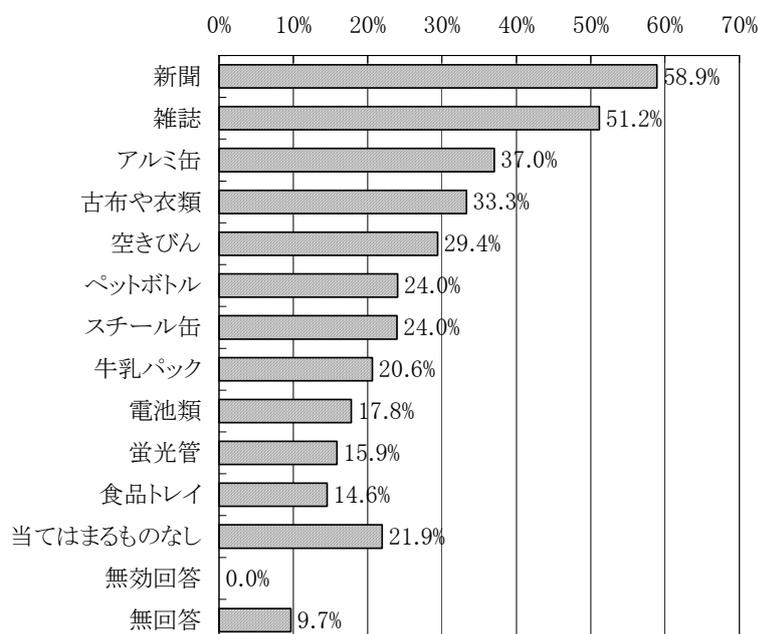
【市町別】

(単位: %)

	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	鳥羽市	熊野市	志摩市	伊賀市	東員町	菟野町	紀宝町	無効回答	無回答	総計
食品トレイ	32.2	41.6	17.7	38.8	43.7	34.4	56.3	40.5	28.5	28.4	40.4	53.7	49.6	32.4	12.9	66.7	36.4	37.0
ペットボトル	15.9	46.6	10.5	36.3	21.8	22.0	55.6	47.4	24.8	21.3	32.1	57.4	20.0	35.7	10.9	33.3	29.7	30.6
牛乳パック	25.7	34.2	20.3	32.1	26.2	26.0	42.3	37.7	22.9	20.0	22.0	41.8	29.2	29.4	4.8	66.7	22.9	27.6
アルミ缶	10.2	23.3	4.6	20.8	13.5	15.9	25.4	7.4	17.3	12.4	11.9	16.8	14.2	31.5	5.6	0.0	14.4	15.5
電池類	9.0	3.2	29.1	18.3	12.3	7.0	10.0	60.0	5.1	12.9	10.6	9.0	11.5	12.2	2.0	0.0	9.3	13.7
空きびん	9.4	11.0	9.7	10.8	12.7	11.0	12.9	10.7	11.7	13.8	8.3	22.1	12.7	13.9	8.5	33.3	13.6	12.1
蛍光管	2.9	4.1	13.1	3.8	6.0	6.6	7.2	56.3	2.3	2.7	5.0	4.5	8.5	2.5	2.0	0.0	3.4	8.1
スチール缶	4.1	8.2	2.5	7.9	7.1	10.1	11.8	3.7	5.6	7.1	3.2	6.6	11.2	16.0	2.4	0.0	9.3	7.3
新聞	7.8	10.0	4.6	4.6	5.6	8.4	2.5	4.2	0.9	1.3	3.2	8.6	2.7	18.1	2.0	33.3	11.9	5.8
雑誌	4.1	6.4	2.5	3.3	4.0	6.6	3.2	1.9	1.4	0.9	2.3	9.0	2.7	15.5	0.8	33.3	6.8	4.4
古布や衣類	2.9	1.8	1.7	0.4	3.6	1.8	2.2	1.4	0.0	0.9	0.9	7.8	1.9	2.1	1.6	33.3	5.9	2.3
当てはまるものなし	36.3	25.1	35.9	27.5	27.4	34.4	20.1	8.8	40.2	40.0	33.0	11.9	26.2	29.0	57.3	0.0	28.8	30.1
無回答	7.8	5.9	11.8	7.9	7.9	7.9	8.6	12.6	14.0	13.8	11.9	4.1	7.3	7.6	19.8	0.0	17.8	10.1
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・市町別に見ると、店頭回収に出している品目は市町によってばらつきがある。
- ・尾鷲市や名張市、伊賀市などでは、どの品目も比較的高いのに対し、紀宝町では 10%前後、またはそれ以下となっている。

問 10 あなたのご家庭では、次のうち、地域で行われる廃品回収(集団回収)に出している品目はどれですか？
(当てはまるものすべてに○)【回答者数:3,682】



・ 地域の廃品回収(集団回収)に出している品目については、「新聞」58.9%と「雑誌」51.2%が 50%以上と高く、次いで「アルミ缶」37.0%、「古布や衣類」33.3%、「空きびん」29.4%が続いている。

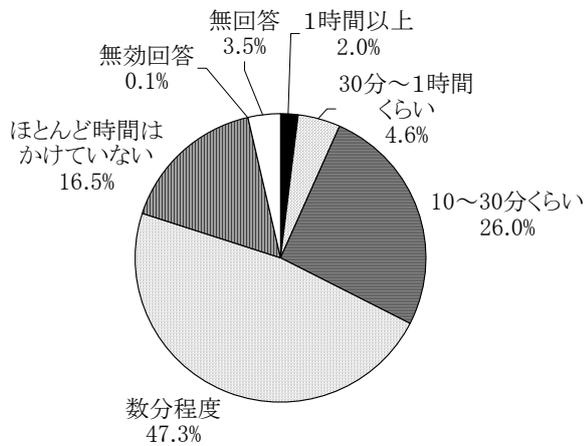
【市町別】

(単位: %)

	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	鳥羽市	熊野市	志摩市	伊賀市	東員町	菰野町	紀宝町	無効回答	無回答	総計
新聞	61.2	69.9	77.2	62.5	63.5	65.6	87.8	39.5	55.1	30.7	42.7	59.8	73.8	53.4	31.9	66.7	57.6	58.9
雑誌	55.1	58.4	66.7	48.3	59.1	53.3	78.9	30.7	50.5	26.7	39.4	52.5	63.1	50.8	27.0	66.7	46.6	51.2
アルミ缶	25.7	25.1	48.1	27.9	47.2	33.9	48.0	35.8	46.3	30.2	37.6	42.2	33.1	44.5	29.4	66.7	33.1	37.0
古布や衣類	28.2	26.0	32.9	24.2	42.5	25.6	69.2	19.5	22.4	23.1	14.7	42.2	51.9	42.4	23.4	33.3	28.0	33.3
空きびん	9.0	16.9	26.6	22.9	38.5	21.6	24.0	26.5	38.8	51.1	33.5	26.2	30.0	47.5	35.1	33.3	18.6	29.4
ペットボトル	6.9	16.0	25.3	20.0	40.1	18.5	18.3	14.4	30.8	25.8	24.3	19.3	30.0	42.4	27.8	33.3	22.9	24.0
スチール缶	11.0	15.1	13.9	13.3	39.7	23.3	21.5	20.5	30.4	28.4	22.9	22.1	28.5	45.0	25.4	33.3	18.6	24.0
牛乳パック	9.4	14.6	27.8	15.4	34.1	14.1	26.2	10.7	29.0	19.1	19.7	13.5	22.7	29.8	21.0	33.3	20.3	20.6
電池類	3.7	11.9	11.8	10.8	27.4	13.2	16.5	10.7	24.3	18.2	18.3	19.3	14.2	42.9	24.2	33.3	15.3	17.8
蛍光管	4.1	8.2	13.1	8.8	24.2	14.1	16.5	9.8	22.0	14.2	14.7	18.9	11.2	40.3	18.1	33.3	13.6	15.9
食品トレイ	4.1	6.8	19.0	13.8	15.9	8.8	14.3	9.8	21.5	16.4	20.2	6.6	10.0	32.8	21.8	0.0	9.3	14.6
当てはまるものなし	27.8	21.9	10.5	20.0	18.7	22.9	5.4	28.8	20.6	30.2	31.7	18.0	13.5	27.7	36.3	0.0	22.9	21.9
無効回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0
無回答	7.3	6.8	6.8	9.2	7.5	6.2	3.9	20.0	10.3	11.6	11.0	8.2	7.7	8.8	19.8	33.3	12.7	9.7
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

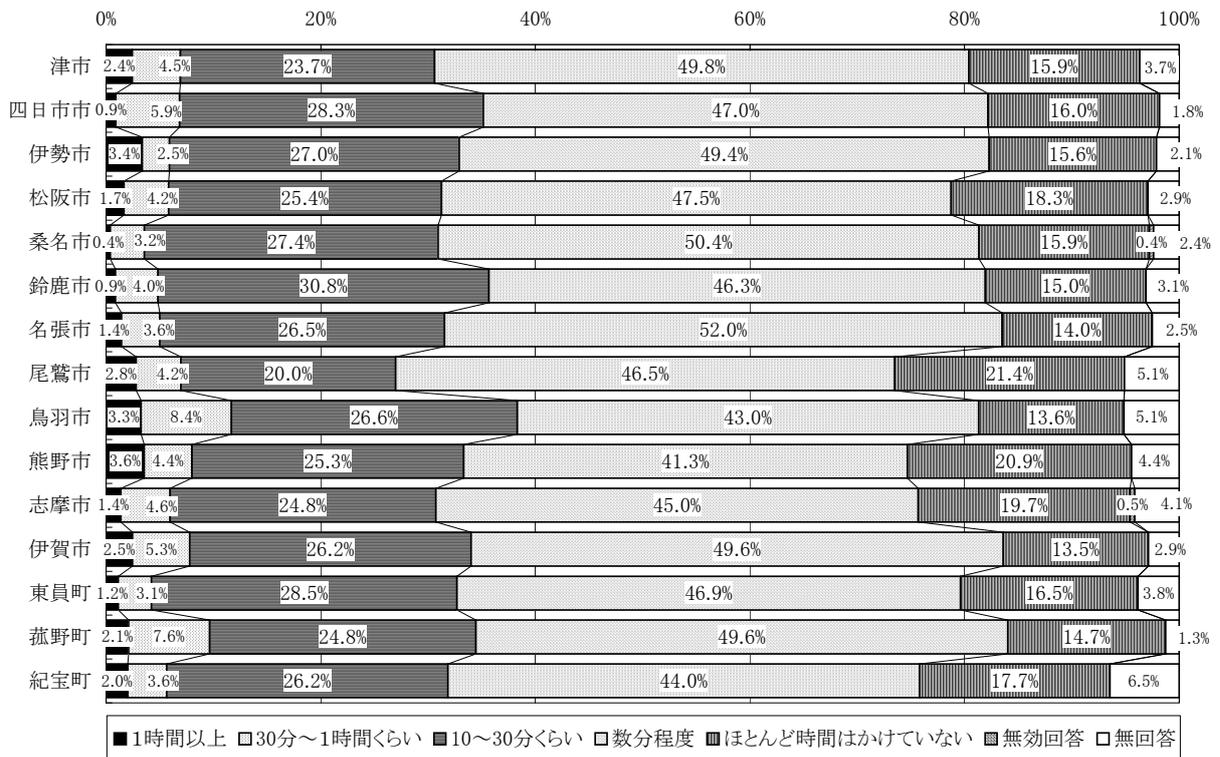
・ 市町別に見ると、地域の廃品回収(集団回収)に出している品目のうち、「新聞」と「雑誌」については 50%以上の市町が多いが、その他の品目はほとんどの市町で 50%以下となっている。
・ 名張市では、他市町に比べて各品目の割合が比較的高い。逆に、紀宝町、尾鷲市、熊野市、志摩市では、どの品目も低い。

問 11 ごみを分別するのに、あなたは1日あたりおよそどのくらいの時間をかけていると思いますか？(○は1つ)
【回答者数:3,682】



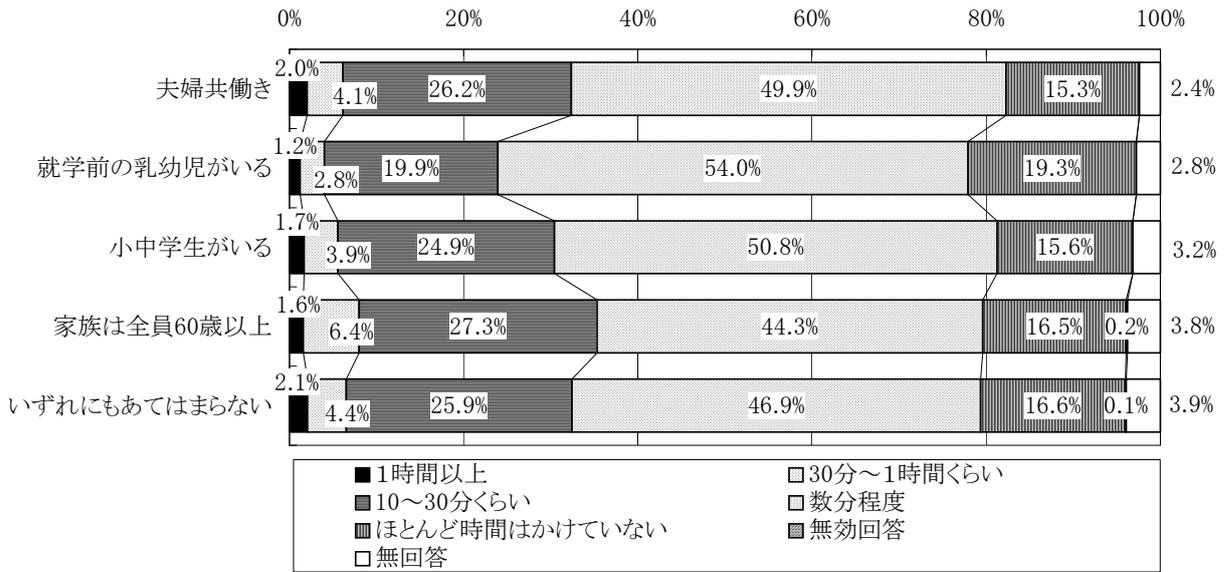
・ 家庭内でごみの分別に要している時間は、「数分程度」が最も高く 47.3%を占めており、「ほとんど時間はかけていない」を合わせると、63.8%の人が数分以内でごみの分別を済ませている。

【市町別】



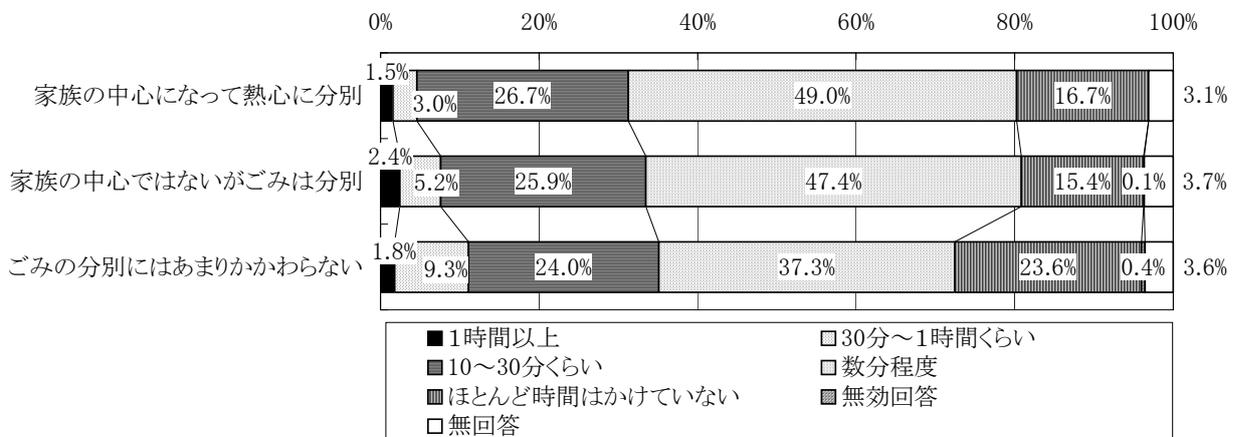
- ・ 市町別に見ると、どの市町も「数分程度」が最も高く 40~50%を占めている。
- ・ 「数分程度」、「ほとんど時間はかけていない」を合わせた割合が 60%以上を占める市町が多い中、鳥羽市のみ 56.6%にとどまっている。
- ・ 逆に鳥羽市では、分別に 10分以上かけている割合(「1時間以上」、「30分~1時間くらい」、「10~30分くらい」を合わせた割合)が他市町に比べてやや高くなっている。

【世帯の特徴別】



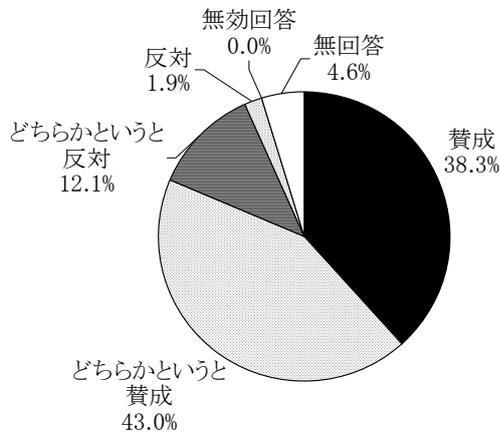
- 世帯の特徴別に見ると、「数分程度」、「ほとんど時間はかけていない」を合わせた割合は、就学前の乳幼児がいる世帯で73.3%と最も高い。
- 家族全員が60歳以上の世帯では、分別に10分以上かけている割合（「1時間以上」、「30分~1時間くらい」、「10~30分くらい」を合わせた割合）が他に比べて高くなっている。

【分別へのかかわり別】



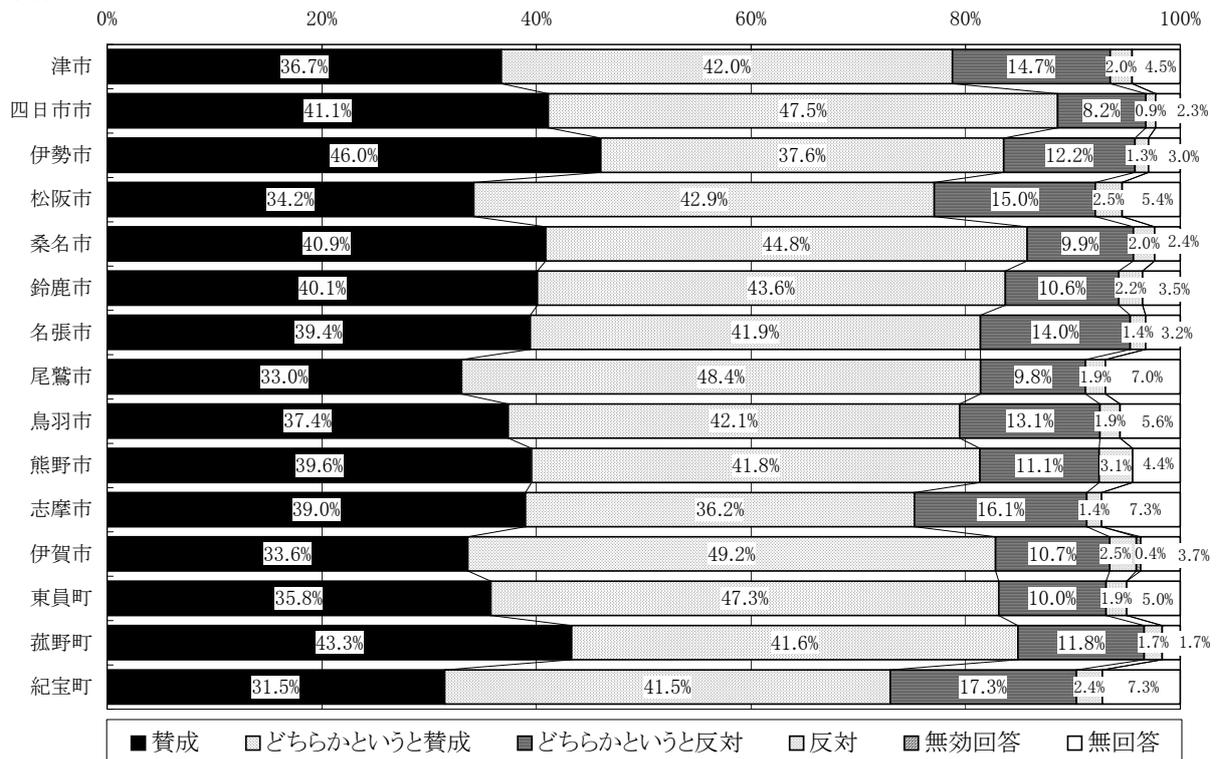
- 分別へのかかわり別に見ると、「数分程度」、「ほとんど時間はかけていない」を合わせた割合は、家族の中心になって熱心に分別している人ほど高い。

問 12 ごみを資源としてより有効に利用するために、資源やごみの分別数が増えることなどについてどう思われますか？(○は1つ)【回答者数:3,682】



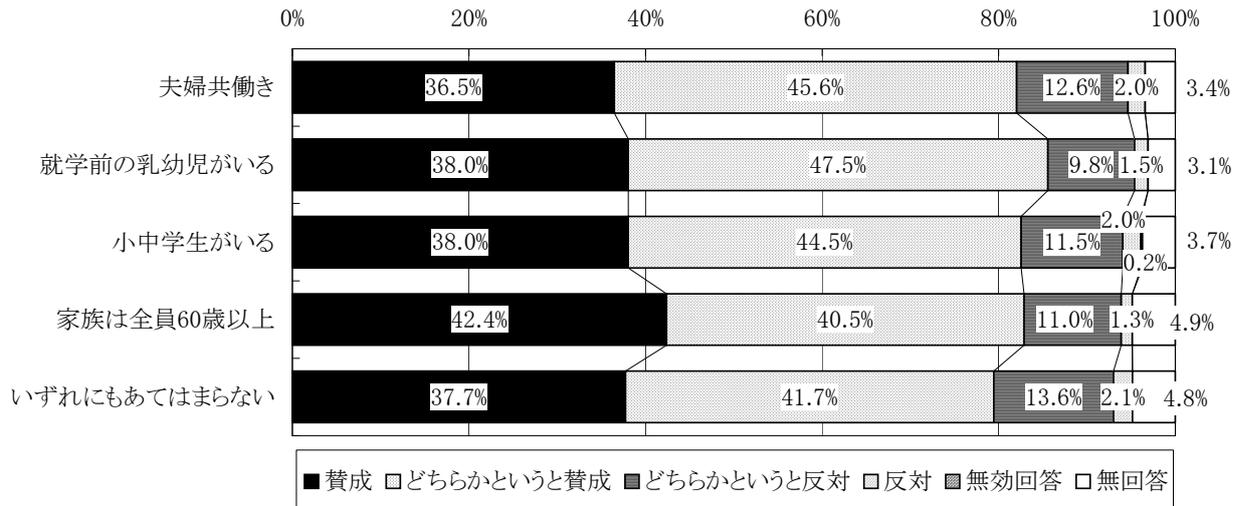
- ・ ごみの分別数が増えることについて「賛成」と回答した割合は 38.3%である。
- ・ 「どちらかという賛成」を合わせると、81.3%と大半を占めている。

【市町別】



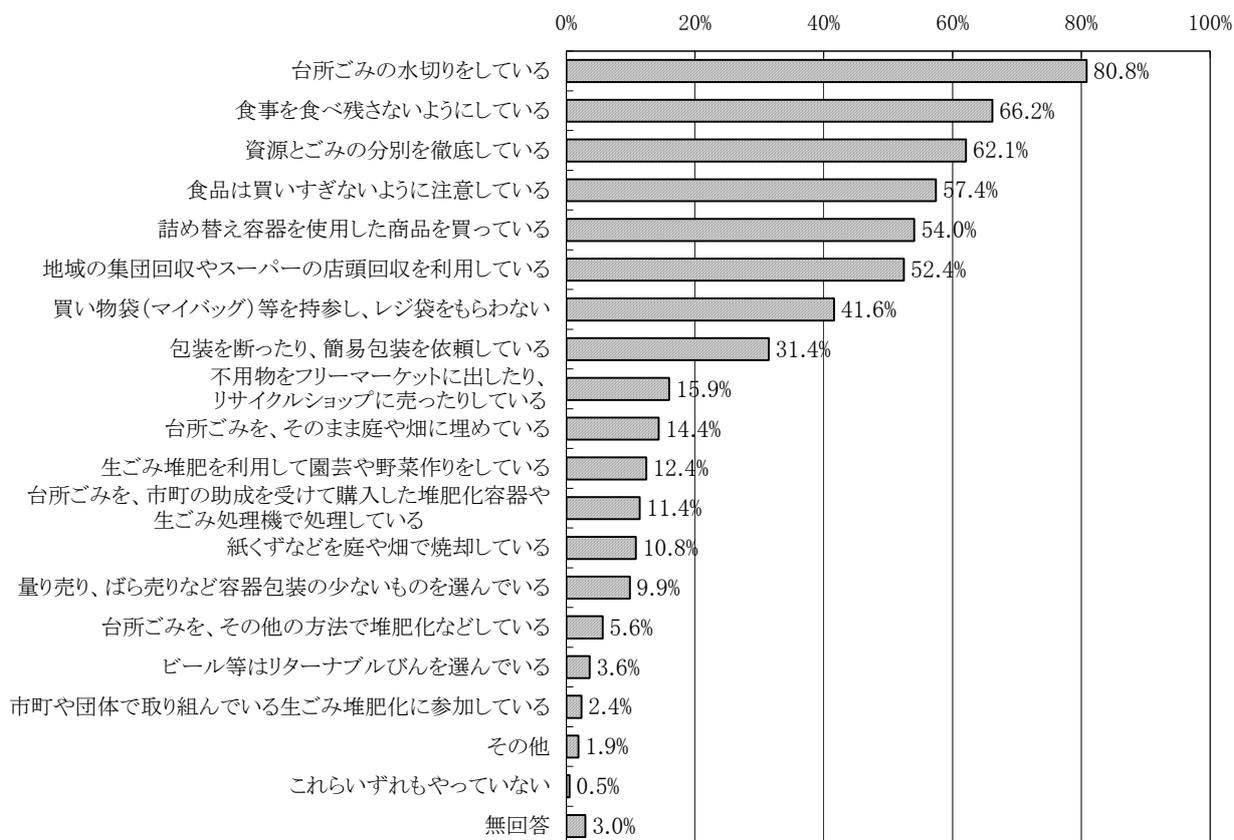
- ・ 市町別に見ると、「賛成」と回答した割合が高いのは、伊勢市 46.0%、菰野町 43.3%、四日市市 41.1%の順である。
- ・ 「どちらかという賛成」を合わせると、四日市市 88.6%、桑名市 85.7%、菰野町 84.9%、鈴鹿市 83.7%、伊勢市 83.6%、東員町 83.1%と、多くの市町で 80%以上を占めている。

【世帯の特徴別】



- 世帯の特徴別に見ると、「賛成」と回答した割合は、家族全員が60歳以上の世帯で42.4%と比較的高い。
- 「賛成」、「どちらかという賛成」を合わせた割合は、就学前の乳幼児がいる世帯が85.5%と高い割合を示している。

問 13 次のうち、あなたのご家庭でやっていることはどれですか？(当てはまるものすべてに○)【回答者数:3,682】



- 家庭で実践していることとして最も割合が高いのは「台所ごみの水切りをしている」で 80.8%を占めている。
- 次いで、「食事を食べ残さないようにしている」66.2%、「資源とごみの分別を徹底している」62.1%、「食品は買いすぎないように注意している」57.4%、「詰め替え容器を使用した商品を買っている」54.0%、「地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している」52.4%と続いている。
- 「買い物袋(マイバッグ)等を持参し、レジ袋をもらわない」は 41.6%と4割強となっている。

【市町別】

(単位: %)

	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	鳥羽市	熊野市	志摩市	伊賀市	東員町	菰野町	紀宝町	無効回答	無回答	総計
台所ごみの水切りをしている	82.9	85.8	82.7	80.0	81.3	85.5	86.4	85.6	79.0	78.7	79.8	79.9	76.5	82.4	69.0	66.7	76.3	80.8
食事を食べ残さないようにしている	66.1	73.1	69.6	69.2	66.3	68.3	67.4	64.2	60.7	69.3	53.7	61.9	70.4	68.9	67.7	100.0	54.2	66.2
資源とごみの分別を徹底している	64.5	62.6	64.1	58.8	67.5	71.4	66.3	48.4	59.3	67.1	52.8	47.5	65.0	65.5	67.3	33.3	63.6	62.1
食品は買いすぎないように注意している	53.5	65.3	57.4	55.4	52.4	55.9	59.1	61.4	53.3	61.3	56.9	54.9	56.2	63.0	57.7	66.7	54.2	57.4
詰め替え容器を使用した商品を買っている	58.8	59.4	58.6	52.1	56.0	54.2	63.8	43.7	43.0	52.9	49.5	53.3	56.9	57.6	50.4	33.3	47.5	54.0
地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	40.0	58.9	51.1	59.6	63.9	44.9	72.4	54.9	43.5	34.7	42.2	64.8	61.9	68.5	21.4	33.3	48.3	52.4
買い物袋(マイバッグ)等を持参し、レジ袋をもらわない	44.1	30.6	75.1	45.4	44.0	44.9	47.3	27.9	50.5	28.0	38.1	41.8	40.8	41.2	21.0	100.0	42.4	41.6
包装を断ったり、簡易包装を依頼している	30.6	38.4	39.7	33.3	40.5	33.0	29.4	22.3	29.4	25.8	28.4	26.6	33.1	31.9	25.8	33.3	35.6	31.4
不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	19.6	19.6	17.3	18.8	20.2	18.9	17.6	13.5	9.3	7.6	15.1	16.0	18.1	12.6	13.3	33.3	15.3	15.9
台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	11.4	14.2	13.9	13.8	13.9	13.7	15.8	6.5	8.4	14.7	16.5	20.1	16.2	19.7	14.5	33.3	15.3	14.4
生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	10.6	7.8	13.1	12.1	12.7	8.8	11.1	10.7	9.3	13.3	17.4	15.2	13.5	16.0	14.9	0.0	11.0	12.4
台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	9.4	7.3	16.5	12.9	7.1	5.7	8.6	7.0	12.6	10.2	18.8	13.9	13.8	9.7	14.5	0.0	16.9	11.4
紙くずなどを庭や畑で焼却している	5.7	5.9	5.1	11.3	5.2	11.9	4.7	11.6	6.1	15.1	32.6	12.3	7.3	15.5	13.3	66.7	11.9	10.8
量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる	12.2	11.4	11.4	7.9	7.5	9.3	8.6	9.8	8.4	7.1	9.2	11.1	13.1	12.6	6.9	33.3	11.9	9.9
台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	6.5	3.7	5.9	3.8	2.8	3.5	6.1	5.6	4.7	6.2	10.1	7.0	5.0	6.7	8.1	0.0	4.2	5.6
ビール等はリターナブルびんを選んでいる	2.0	3.2	6.8	4.6	4.0	2.2	1.8	1.9	4.2	3.1	2.8	5.7	3.8	5.0	2.0	0.0	6.8	3.6
市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	1.6	0.5	2.1	2.1	2.4	1.3	1.4	0.5	4.7	2.2	1.8	2.5	1.9	1.3	8.1	0.0	4.2	2.4
その他	2.0	1.8	2.1	2.9	1.6	1.8	1.4	0.5	1.9	3.6	2.8	2.5	1.5	0.0	2.0	0.0	1.7	1.9
これらいずれもやっていない	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	0.9	0.4	0.5	0.5	1.3	0.5	1.2	0.4	0.0	0.8	0.0	0.0	0.5
無回答	4.1	1.8	2.1	2.5	1.6	2.6	1.8	4.2	3.7	2.2	5.5	2.5	2.7	1.3	5.2	0.0	5.1	3.0
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 市町別に見ると、ほとんどの市町で 50%以上となっているのは「台所ごみの水切りをしている」、「食事を食べ残さないようにしている」、「資源とごみの分別を徹底している」、「食品は買いすぎないように注意している」、「詰め替え容器を使用した商品を買っている」などで、このうち「台所ごみの水切りをしている」はいずれも 70%以上となっている。
- ・ 「買い物袋(マイバッグ)等を持参し、レジ袋をもらわない」は、レジ袋削減・マイバッグ運動を推進している伊勢市で 75.1%を占めているのに対して、紀宝町では 21.0%にとどまっている。
- ・ 「地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している」は最も高い名張市で 72.4%を占めているのに対し、紀宝町では 21.4%と市町間の差が大きい。

【年齢別】

(単位:%)

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無効回答	無回答	総計
台所ごみの水切りをしている	71.2	79.0	79.0	82.5	84.4	81.4	100.0	75.2	80.8
食事を食べ残さないようにしている	63.9	65.9	64.3	62.8	69.1	71.1	0.0	58.7	66.2
資源とごみの分別を徹底している	46.8	57.5	58.9	60.4	68.4	67.2	100.0	66.1	62.1
食品は買いすぎないように注意している	40.8	54.9	50.2	54.1	64.0	67.8	0.0	57.8	57.4
詰め替え容器を使用した商品を買っている	69.1	70.0	64.9	54.7	45.7	38.1	0.0	49.5	54.0
地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	47.2	56.4	52.8	51.4	54.0	50.9	100.0	49.5	52.4
買い物袋(マイバッグ)等を持参し、レジ袋をもらわない	40.8	45.1	43.7	42.3	42.6	35.4	100.0	41.3	41.6
包装を断ったり、簡易包装を依頼している	35.6	35.4	37.8	31.4	29.2	23.5	100.0	34.9	31.4
不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	25.8	27.7	21.0	12.6	12.6	8.5	0.0	12.8	15.9
台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	13.3	9.0	8.7	14.0	17.2	20.4	100.0	13.8	14.4
生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	9.0	7.1	6.8	9.2	18.4	19.2	0.0	11.9	12.4
台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	7.3	6.9	7.0	9.8	16.3	15.3	0.0	14.7	11.4
紙くずなどを庭や畑で焼却している	7.7	7.7	6.1	9.1	12.0	19.0	0.0	10.1	10.8
量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでる	8.2	10.3	10.1	9.8	9.2	10.4	0.0	12.8	9.9
台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	3.4	2.6	3.0	4.0	7.9	10.5	0.0	4.6	5.6
ビール等はリターナブルびんを選んでる	2.6	2.8	3.0	3.8	4.0	3.9	100.0	7.3	3.6
市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	3.9	1.7	0.3	0.9	3.6	4.2	0.0	3.7	2.4
その他	1.3	1.7	1.7	1.8	1.7	2.6	0.0	1.8	1.9
これらいずれもやっていない	1.3	0.9	0.2	0.8	0.1	0.3	0.0	0.0	0.5
無回答	3.9	3.4	2.8	2.6	1.7	4.0	0.0	5.5	3.0
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 年齢別に見ると、すべての年齢層において「台所ごみの水切りをしている」は70%以上、「食事を食べ残さないようにしている」は60%以上を占めている。
- ・ 「資源とごみの分別を徹底している」、「食品は買いすぎないように注意している」などは、30代以上では50%以上を占めているのに対し、20代以下では50%を下回っている。逆に「詰め替え容器を使用した商品を買っている」は、60代以上の高齢者層で50%を下回っている。
- ・ 「包装を断ったり、簡易包装を依頼している」や「不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている」なども若い世代ほど比較的高い。

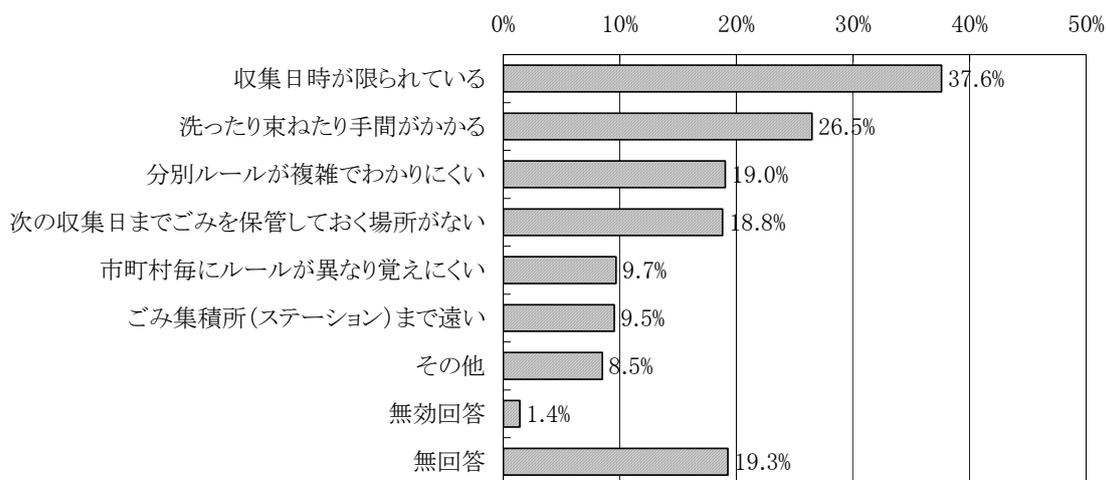
【世帯の特徴別】

(単位:%)

	夫婦共働き	就学前の乳 幼児がいる	小中学生が いる	家族は全員 60歳以上	いずれにもあ てはまらない
台所ごみの水切りをしている	81.6	82.8	81.4	83.2	80.5
食事を食べ残さないようにしている	62.3	68.4	68.6	69.1	67.3
資源とごみの分別を徹底している	58.9	59.5	60.9	69.7	61.0
食品は買いすぎないように注意している	52.6	57.7	54.5	65.9	58.1
詰め替え容器を使用した商品を買っている	58.8	67.5	63.6	46.2	50.7
地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	53.9	54.6	54.9	54.0	50.6
買い物袋(マイバッグ)等を持参し、レジ袋をもらわない	41.8	49.1	42.5	42.1	39.4
包装を断ったり、簡易包装を依頼している	34.2	38.0	39.0	28.4	28.1
不用物をフリーマーケットに出したり、 リサイクルショップに売ったりしている	16.4	28.8	22.8	9.7	15.7
台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	11.6	9.2	11.9	18.1	16.0
生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	8.8	6.7	7.4	20.7	13.0
台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や 生ごみ処理機で処理している	10.6	7.1	7.4	16.5	10.8
紙くずなどを庭や畑で焼却している	9.0	5.2	8.9	14.8	11.4
量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでている	9.2	9.8	8.5	9.4	10.4
台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	4.7	3.4	3.5	9.1	5.3
ビール等はリターナブルびんを選んでている	4.0	3.1	3.3	3.9	3.3
市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	1.7	0.3	1.3	5.3	2.1
その他	1.4	2.5	2.4	1.9	1.8
これらいずれもやっていない	0.4	0.3	0.2	0.3	0.7
無回答	2.7	2.8	3.0	2.8	2.8
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 世帯の特徴別に見ると、「台所ごみの水切りをしている」はいずれも 80%以上、「食事を食べ残さないようにしている」や「資源とごみの分別を徹底している」は 60%前後、又はそれ以上の割合となっている。
- ・ 「生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている」、「紙くずなどを庭や畑で焼却している」は、家族全員 60 歳以上の世帯で高い割合を示している。

問 14 あなたのご家庭では、ごみを出すにあたり、どのような問題がありますか？(○は3つまで)【回答者数:3,682】



- ・ ごみ出しで困ることについては、「収集日時が限られている」の割合が最も高く 37.6%を占めており、「洗ったり束ねたり手間がかかる」は 26.5%となっている。
- ・ 以下、「分別ルールが複雑でわかりにくい」19.0%、「次の収集日までごみを保管しておく場所がない」18.8%と続くが、いずれも 20%以下となっている。

【市町別】

(単位:%)

	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	鳥羽市	熊野市	志摩市	伊賀市	東員町	菰野町	紀宝町	無効回答	無回答	総計
収集日時が限られている	35.5	29.2	40.1	42.1	38.9	34.8	34.1	36.3	48.6	39.6	44.5	37.3	34.2	43.3	28.6	66.7	34.7	37.6
洗ったり束ねたり手間がかかる	27.8	20.1	34.2	30.4	26.2	18.1	33.3	17.2	37.4	18.7	24.3	26.6	28.1	34.9	19.0	0.0	24.6	26.5
分別ルールが複雑でわかりにくい	28.6	19.2	21.5	20.4	13.9	15.0	26.2	10.7	12.1	13.3	18.3	34.8	13.5	15.5	19.4	66.7	17.8	19.0
次の収集日までごみを保管しておく場所がない	24.5	15.5	24.1	22.5	19.4	13.2	22.2	16.3	26.6	20.0	13.3	20.1	18.5	16.8	10.5	0.0	15.3	18.8
市町村毎にルールが異なり覚えにくい	11.8	11.0	8.4	10.4	9.5	11.9	5.7	6.5	3.3	9.3	13.8	10.7	8.5	9.2	11.3	33.3	16.9	9.7
ごみ集積所(ステーション)まで遠い	8.6	11.4	15.6	10.4	11.9	12.8	9.0	6.0	14.0	5.3	6.4	8.2	9.2	9.7	6.0	0.0	5.9	9.5
その他	7.8	10.5	4.6	3.3	8.3	14.5	8.2	9.3	7.5	10.7	7.3	9.0	8.8	8.0	8.5	0.0	11.9	8.5
無効回答	0.8	1.4	1.3	0.8	2.8	1.3	1.8	1.4	1.4	0.4	2.8	2.9	0.8	1.7	0.4	0.0	0.0	1.4
無回答	19.2	24.7	16.0	15.8	17.1	18.5	17.6	28.8	15.0	21.3	15.6	12.3	21.2	16.0	30.6	0.0	19.5	19.3
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 市町別に見ると、どの市町でも第1位に挙げられているのは「収集日時が限られている」で、ほとんどの市町で 30%以上となっており、最も高い鳥羽市では 48.6%と約半数を占めている。
- ・ 次いで、鳥羽市、菰野町、伊勢市、名張市などでは「洗ったり束ねたり手間がかかる」、伊賀市、津市、名張市などでは「分別ルールが複雑でわかりにくい」が続いている。

【年齢別】

(単位:%)

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無効回答	無回答	総計
収集日時が限られている	32.6	36.7	43.0	35.3	37.0	39.3	100.0	34.9	37.6
洗ったり束ねたり手間がかかる	25.8	28.8	28.3	28.9	26.5	20.9	0.0	22.9	26.5
分別ルールが複雑でわかりにくい	27.0	26.0	17.7	19.1	16.3	15.6	100.0	18.3	19.0
次の収集日までごみを保管しておく場所がない	28.3	30.7	26.2	18.5	12.1	9.8	0.0	14.7	18.8
市町村毎にルールが異なり覚えにくい	12.9	15.7	9.8	8.3	6.7	8.2	0.0	18.3	9.7
ごみ集積所(ステーション)まで遠い	9.4	12.7	8.4	9.1	9.3	9.6	100.0	5.5	9.5
その他	4.7	5.6	8.0	7.8	11.1	9.4	0.0	11.9	8.5
無効回答	3.0	2.1	2.8	1.2	0.5	0.8	0.0	0.0	1.4
無回答	14.6	13.1	14.5	20.2	21.4	25.7	0.0	19.3	19.3
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 年齢別に見ると、どの年齢層でも第1位に挙げられているのは「収集日時が限られている」で、いずれも30%以上となっており、最も高い40代では43.0%を占めている。
- 30代では、他の年齢層に比べて、どの項目も比較的高い割合となっている。

【世帯の特徴別】

(単位:%)

	夫婦共働き	就学前の乳幼児がいる	小中学生がいる	家族は全員60歳以上	いずれにもあてはまらない
収集日時が限られている	38.2	36.5	39.5	36.9	37.1
洗ったり束ねたり手間がかかる	28.5	25.8	27.6	23.1	28.1
分別ルールが複雑でわかりにくい	21.4	23.6	17.1	16.2	19.3
次の収集日までごみを保管しておく場所がない	24.9	30.1	26.2	12.2	16.0
市町村毎にルールが異なり覚えにくい	9.4	12.0	8.7	8.8	9.1
ごみ集積所(ステーション)まで遠い	8.6	12.0	9.3	10.4	9.4
その他	7.8	8.0	9.6	11.0	7.7
無効回答	2.0	2.1	3.0	0.8	0.9
無回答	15.9	15.0	15.6	21.4	21.4
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 世帯の特徴別に見ると、いずれも「収集日時が限られている」が最も高く40%前後を占めている。
- 就学前の乳幼児がいる世帯では、「次の収集日までごみを保管しておく場所がない」が30.1%で、他の世帯に比べやや高い。

【分別へのかかわり別】

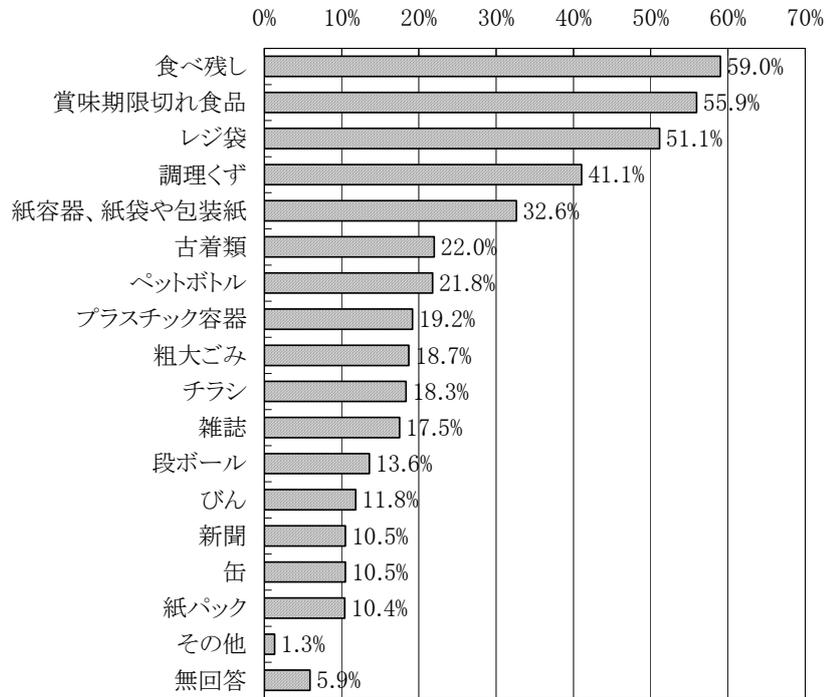
(単位:%)

	家族の中心にな って熱心に分別	家族の中心では ないがごみは分別	ごみの分別には あまりかわらない	無回答	総計
収集日時が限られている	36.8	38.2	40.4	34.4	37.6
洗ったり束ねたり手間がかかる	26.9	26.2	30.2	19.6	26.5
分別ルールが複雑でわかりにくい	14.3	22.7	25.3	16.0	19.0
次の収集日までごみを保管しておく場所がない	17.5	20.0	23.6	12.3	18.8
市町村毎にルールが異なり覚えにくい	7.3	11.1	12.0	14.1	9.7
ごみ集積所(ステーション)まで遠い	10.6	8.4	11.1	9.2	9.5
その他	10.3	7.3	2.7	12.3	8.5
無効回答	1.2	1.5	3.1	0.0	1.4
無回答	21.2	17.8	13.3	24.5	19.3
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 分別へのかかわり別を見ると、「収集日時が限られている」、「洗ったり束ねたり手間がかかる」、「分別ルールが複雑でわかりにくい」、「次の収集日までごみを保管しておく場所がない」のいずれも、家族の中でごみの分別にあまりかかわっていない人のほうが高い傾向にある。

◎ 今後の方策に対する意向についてお聞きします。

問 15 今後あなたが、暮らしの工夫によって「家庭から出る量を減らせる」と思えるものはどれですか？
(〇は当てはまるものすべて)【回答者数:3,682】



- 暮らしの工夫で減らせるごみについては、「食べ残し」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「賞味期限切れ食品」55.9%、「レジ袋」51.1%、「調理くず」41.1%、「紙容器、紙袋や包装紙」32.6%と続いている。

【市町別】

(単位:%)

	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	鳥羽市	熊野市	志摩市	伊賀市	東員町	菟野町	紀宝町	無効回答	無回答	総計
食べ残し	65.3	63.5	60.8	57.9	59.5	60.4	60.2	54.0	57.9	55.6	57.3	56.1	62.7	62.6	53.6	100.0	51.7	59.0
賞味期限切れ食品	57.1	60.3	56.1	53.8	61.9	59.0	59.9	49.3	52.8	54.2	51.8	49.2	62.3	57.1	52.0	33.3	56.8	55.9
レジ袋	48.6	47.0	59.5	58.8	50.8	53.3	52.7	38.6	53.3	52.0	56.9	50.0	53.5	56.3	36.7	100.0	47.5	51.1
調理くず	48.6	43.4	41.8	41.3	42.9	38.3	42.3	35.3	37.9	39.1	45.4	41.0	41.2	37.8	39.1	100.0	39.0	41.1
紙容器、紙袋 や包装紙	29.4	34.2	32.1	30.0	32.9	37.4	36.6	34.9	29.9	30.2	31.7	31.1	35.0	31.1	30.6	33.3	35.6	32.6
古着類	23.7	27.4	21.5	25.4	19.0	18.9	26.2	22.8	18.2	19.6	24.3	18.0	23.5	19.3	21.8	33.3	20.3	22.0
ペットボトル	24.9	18.7	24.5	25.0	22.6	23.3	19.7	17.7	22.0	22.2	27.1	20.1	22.7	18.9	19.0	33.3	18.6	21.8
プラスチック容器	16.7	19.6	19.4	18.3	21.4	21.6	21.1	16.3	22.0	19.6	21.1	17.6	16.9	19.7	18.1	33.3	15.3	19.2
粗大ごみ	14.7	20.5	25.3	15.8	19.0	17.2	22.9	14.4	14.5	18.2	17.9	18.4	20.4	17.2	22.2	33.3	17.8	18.7
チラシ	15.9	15.5	19.0	20.0	13.1	15.0	17.6	22.3	18.7	20.0	21.1	18.0	19.2	16.8	23.0	0.0	19.5	18.3
雑誌	17.1	12.8	19.8	20.4	14.3	17.2	15.4	14.4	21.0	19.6	19.7	14.3	20.4	15.5	19.4	33.3	20.3	17.5
段ボール	11.0	10.5	14.8	16.3	10.3	14.5	17.9	14.0	16.8	13.3	14.7	10.7	11.9	10.5	15.7	33.3	15.3	13.6
びん	10.2	8.7	9.7	13.3	10.3	12.3	12.5	11.6	14.0	14.2	14.7	9.4	11.9	14.3	10.9	33.3	10.2	11.8
新聞	13.9	8.2	11.8	12.1	7.5	7.0	10.0	14.0	12.6	10.2	14.2	7.4	8.8	7.1	10.9	33.3	14.4	10.5
缶	11.4	7.3	11.4	9.6	7.5	9.7	9.3	10.7	10.7	16.0	14.2	7.4	11.9	10.9	10.1	0.0	10.2	10.5
紙パック	9.8	7.8	12.2	12.1	6.7	8.8	9.7	10.2	10.7	11.6	13.3	10.2	9.2	12.2	10.5	33.3	12.7	10.4
その他	1.6	0.9	0.8	0.8	0.4	2.2	1.4	1.4	1.4	1.8	1.8	1.2	0.8	2.5	1.6	0.0	0.0	1.3
無回答	4.9	2.3	3.4	4.6	6.7	4.8	3.9	7.9	7.0	8.0	5.0	6.6	4.2	6.3	10.1	0.0	12.7	5.9
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 市町別に見ると、「食べ残し」、「賞味期限切れ食品」、「レジ袋」は、ほとんどの市町において 50%以上となっている。
- ・ 紀宝町や尾鷲市では、他市町に比べてどの項目も割合が低い。

【年齢別】

(単位:%)

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無効回答	無回答	総計
食べ残し	67.4	66.5	60.7	58.7	60.1	49.1	100.0	53.2	59.0
賞味期限切れ食品	70.4	63.1	60.5	58.9	52.2	42.1	100.0	56.9	55.9
レジ袋	58.8	57.5	54.2	49.8	52.0	41.8	100.0	50.5	51.1
調理くず	39.1	40.6	38.6	39.6	45.5	40.6	100.0	41.3	41.1
紙容器、紙袋や包装紙	30.0	31.5	29.9	35.5	34.4	29.9	100.0	36.7	32.6
古着類	23.6	20.0	17.7	22.9	24.4	22.4	100.0	21.1	22.0
ペットボトル	24.9	20.0	21.0	21.8	23.9	20.0	100.0	21.1	21.8
プラスチック容器	21.0	17.2	15.6	17.8	23.0	20.4	100.0	16.5	19.2
粗大ごみ	14.6	13.5	13.5	18.4	25.0	20.7	100.0	19.3	18.7
チラシ	12.9	13.1	13.1	16.3	23.0	25.4	100.0	18.3	18.3
雑誌	16.3	13.7	15.6	17.4	19.6	19.5	100.0	20.2	17.5
段ボール	9.0	9.4	10.5	12.8	16.5	17.8	100.0	17.4	13.6
びん	12.0	8.6	8.9	11.6	14.4	13.5	100.0	12.8	11.8
新聞	7.7	8.6	7.5	8.7	13.2	13.3	100.0	15.6	10.5
缶	10.3	8.4	8.4	10.3	11.9	12.2	100.0	11.0	10.5
紙パック	10.7	9.2	7.7	8.5	12.4	12.8	100.0	13.8	10.4
その他	0.9	1.5	1.0	0.9	1.7	1.9	0.0	0.0	1.3
無回答	3.0	2.8	4.0	5.4	5.9	10.5	0.0	11.9	5.9
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 年齢別に見ると、「食べ残し」、「賞味期限切れ食品」、「レジ袋」は、ほとんどの年齢層で50%以上となっており、特に若い世代ほど高い傾向にある。これに対して、70代以上ではやや低くなっている。

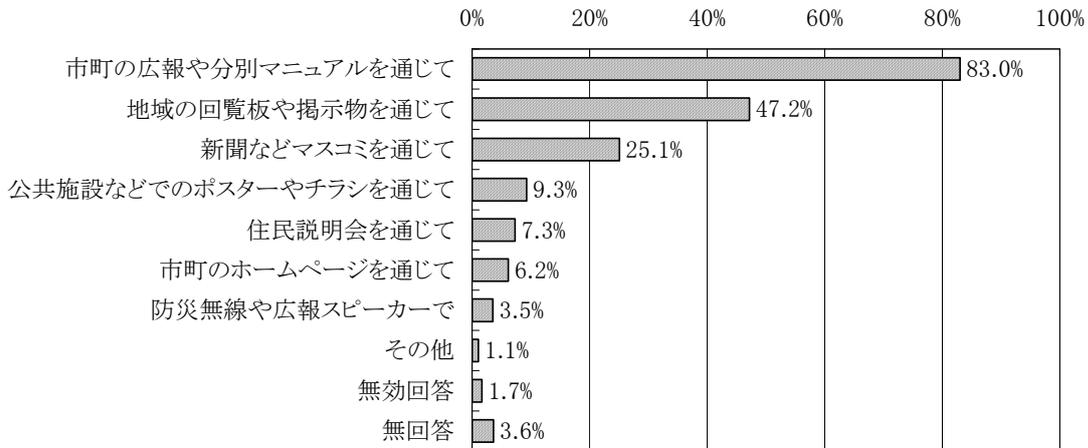
【世帯人数別】

(単位:%)

	1人	2人	3人	4人	5人以上	無効回答	無回答	総計
食べ残し	54.9	58.0	59.1	65.3	59.7	0.0	51.6	59.0
賞味期限切れ食品	52.0	54.5	56.6	62.2	55.7	0.0	51.6	55.9
レジ袋	44.5	50.8	52.7	54.6	52.3	100.0	48.4	51.1
調理くず	41.2	39.7	44.2	41.3	38.8	0.0	40.5	41.1
紙容器、紙袋や包装紙	31.1	32.2	35.0	31.5	32.0	100.0	33.3	32.6
古着類	23.0	22.6	21.6	20.4	22.3	0.0	21.4	22.0
ペットボトル	20.9	22.5	24.0	19.2	21.0	100.0	19.8	21.8
プラスチック容器	17.8	21.4	21.0	17.7	15.1	0.0	19.8	19.2
粗大ごみ	23.8	20.7	18.0	15.0	14.8	100.0	19.8	18.7
チラシ	20.7	21.0	19.0	12.8	15.8	0.0	19.8	18.3
雑誌	18.6	18.2	19.2	14.0	15.8	0.0	20.6	17.5
段ボール	14.1	14.9	14.8	10.6	11.0	100.0	18.3	13.6
びん	13.2	13.1	12.2	9.8	9.4	100.0	13.5	11.8
新聞	10.8	12.5	10.5	8.4	7.7	0.0	15.1	10.5
缶	10.4	11.2	11.8	9.1	8.7	100.0	9.5	10.5
紙パック	10.1	11.3	11.8	8.4	8.3	0.0	13.5	10.4
その他	2.7	1.5	1.1	0.8	1.0	0.0	0.0	1.3
無回答	7.9	6.2	5.0	4.0	6.1	0.0	9.5	5.9
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 世帯人数別に見ると、「食べ残し」、「賞味期限切れ食品」は、世帯人数にかかわらず50%以上となっている。
- ・ 「レジ袋」は、2人以上の世帯において50%以上となっているのに対し、単身世帯ではやや低く44.5%にとどまっている。

問 16 ごみに関する情報を、あなたはどのような方法で手に入れていますか？(〇は3つまで)【回答者数:3,682】



- ・ ごみ関連情報の入手方法として最も割合が高いのは、「市町の広報や分別マニュアルを通じて」で 83.0%を占めている。
- ・ 次に、「地域の回覧板や掲示物を通じて」47.2%、「新聞などマスコミを通じて」25.1%が続いている。
- ・ 「公共施設などでのポスターやチラシを通じて」、「住民説明会を通じて」、「市町のホームページを通じて」、「防災無線や広報スピーカーで」は 10%に満たない低い割合となっている。

【市町別】

(単位:%)

	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	鳥羽市	熊野市	志摩市	伊賀市	東員町	菟野町	紀宝町	無効回答	無回答	総計
市町の広報や分別マニュアルを通じて	84.9	88.6	87.3	85.8	80.2	81.9	85.3	83.7	84.6	84.0	77.5	81.6	83.5	78.2	83.9	66.7	71.2	83.0
地域の回覧板や掲示物を通じて	46.5	53.9	54.9	52.1	57.5	52.4	49.5	25.1	46.7	24.0	50.9	48.8	57.3	47.9	42.7	33.3	34.7	47.2
新聞などマスコミを通じて	26.9	21.5	28.7	30.0	26.6	31.7	21.1	26.5	21.0	20.4	28.9	21.7	29.6	22.3	19.4	33.3	24.6	25.1
公共施設などでのポスターやチラシを通じて	12.7	7.8	7.2	9.6	9.1	10.1	6.5	8.4	11.7	9.3	11.0	10.7	8.8	6.7	9.7	0.0	11.0	9.3
住民説明会を通じて	2.4	8.2	5.9	5.0	0.8	2.2	18.3	4.2	20.6	9.3	6.0	15.2	3.1	4.6	4.8	0.0	5.1	7.3
市町のホームページを通じて	6.1	5.0	9.3	5.8	6.0	6.2	7.9	5.1	8.9	6.2	6.4	5.7	4.6	3.4	6.5	0.0	5.1	6.2
防災無線や広報スピーカーで	0.0	0.0	1.7	1.7	0.0	0.4	0.0	2.3	2.8	4.0	3.2	10.7	0.4	20.6	4.0	0.0	6.8	3.5
その他	2.0	1.4	0.8	0.4	0.4	0.9	1.1	2.8	1.9	0.4	0.9	0.4	1.2	0.4	0.8	0.0	1.7	1.1
無効回答	0.8	2.7	2.1	0.8	2.0	2.2	4.3	0.5	0.5	1.8	1.8	2.5	1.2	1.3	1.2	0.0	0.0	1.7
無回答	3.7	0.9	2.1	1.3	3.2	4.8	2.5	2.8	4.2	6.2	3.2	2.5	3.8	5.5	3.6	33.3	11.9	3.6
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 市町別に見ると、どの市町でも第 1 位となっているのは「市町の広報や分別マニュアルを通じて」で、四日市市 88.6%、伊勢市 87.3%、松阪市 85.8%など、ほとんどの市町で 80%以上を占めている。
- ・ 次に高いのは「地域の回覧板や掲示物を通じて」で、大半の市町で 50%前後となっているのに対して、熊野市や尾鷲市では 25%前後にとどまっている。
- ・ 鳥羽市や名張市、伊賀市では、他市町に比べて「住民説明会を通じて」がやや高い。

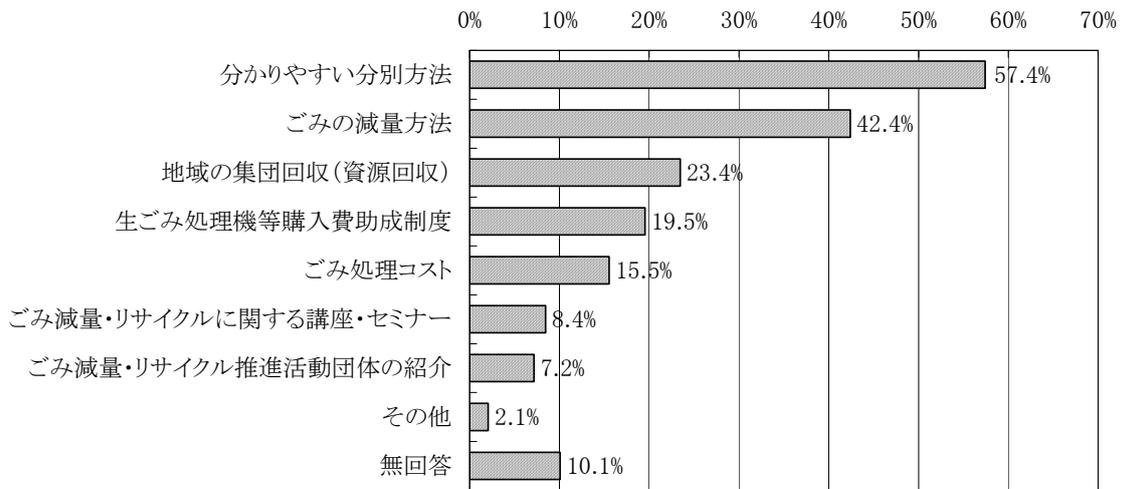
【年齢別】

(単位:%)

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無効回答	無回答	総計
市町の広報や分別マニュアルを通じて	72.5	82.2	85.3	85.6	87.0	79.1	0.0	70.6	83.0
地域の回覧板や掲示物を通じて	39.9	39.5	44.6	50.1	54.1	47.7	0.0	33.9	47.2
新聞などマスコミを通じて	31.8	28.5	26.9	27.0	23.3	18.0	100.0	25.7	25.1
公共施設などでのポスターやチラシを通じて	6.9	8.2	10.1	8.3	9.9	10.2	0.0	12.8	9.3
住民説明会を通じて	0.9	1.7	4.7	7.0	10.4	12.7	0.0	6.4	7.3
市町のホームページを通じて	4.3	4.5	4.2	3.0	6.2	14.2	0.0	4.6	6.2
防災無線や広報スピーカーで	1.3	2.8	2.4	3.3	4.1	5.3	0.0	4.6	3.5
その他	1.7	2.4	0.9	1.3	0.5	0.5	0.0	0.9	1.1
無効回答	0.4	1.3	1.2	1.3	2.1	3.1	0.0	0.0	1.7
無回答	2.6	3.0	2.3	2.8	2.8	6.0	0.0	13.8	3.6
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 年齢別に見ると、どの年齢層でも「市町の広報や分別マニュアルを通じて」が最も高く、次いで「地域の回覧板や掲示物を通じて」が続いており、どちらも60代が最も高くなっている。
- 「新聞やマスコミを通じて」は、若い世代ほど高い。

問 17 今後、ごみに関してどのような情報がほしいですか？(当てはまるものすべてに○)【回答者数:3,682】



- ・「ごみに関してどのような情報がほしいか」という問いに対して、「分かりやすい分別方法」が 57.4%と最も高く、「ごみの減量方法」42.4%がこれに続いている。

【市町別】

(単位:%)

	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	鳥羽市	熊野市	志摩市	伊賀市	東員町	菰野町	紀宝町	無効回答	無回答	総計
分かりやすい分別方法	71.8	57.1	67.9	58.3	52.0	51.5	67.7	40.9	49.1	57.3	56.0	70.5	55.8	51.3	52.0	100.0	50.8	57.4
ごみの減量方法	38.0	42.5	43.0	42.1	44.8	41.4	43.4	47.0	45.8	36.0	39.9	40.6	44.2	45.0	41.9	100.0	41.5	42.4
地域の集団回収(資源回収)	28.2	26.9	28.7	22.5	23.4	17.6	28.3	20.0	21.5	18.2	28.4	27.5	26.9	17.6	15.7	33.3	20.3	23.4
生ごみ処理機等購入費助成制度	18.8	16.0	18.1	18.8	22.2	24.2	25.4	22.3	18.7	14.2	17.9	17.2	16.9	18.9	21.0	0.0	22.0	19.5
ごみ処理コスト	12.7	16.0	13.5	16.7	15.1	18.1	22.6	12.1	14.0	17.3	11.5	12.7	18.1	17.2	14.5	66.7	12.7	15.5
ごみ減量・リサイクルに関する講座・セミナー	9.4	10.0	7.2	9.2	9.1	7.0	9.0	7.0	7.0	10.7	9.2	9.0	5.0	8.0	8.1	33.3	11.9	8.4
ごみ減量・リサイクル推進活動団体の紹介	6.9	10.5	3.4	7.9	8.7	6.2	7.9	7.9	8.4	6.7	11.5	6.1	3.1	8.0	4.8	0.0	8.5	7.2
その他	1.6	0.5	1.3	4.2	2.0	3.1	2.2	1.9	1.4	1.8	1.4	2.0	2.7	2.5	2.4	0.0	1.7	2.1
無回答	6.5	9.1	7.2	10.4	9.9	9.7	7.2	15.3	13.6	14.7	11.5	3.3	8.1	11.8	11.3	0.0	17.8	10.1
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・市町別に見ると、「分かりやすい分別方法」は、津市71.8%、伊賀市70.5%、伊勢市67.9%、名張市67.7%をはじめ、多くの市町で50%以上となっているのに対して、最も低い尾鷲市では40.9%にとどまっている。尾鷲市では逆に「ごみの減量方法」が47.0%と、他の市町に比べてやや高い。
- ・名張市では、他市町に比べてどの項目も比較的高くなっている。

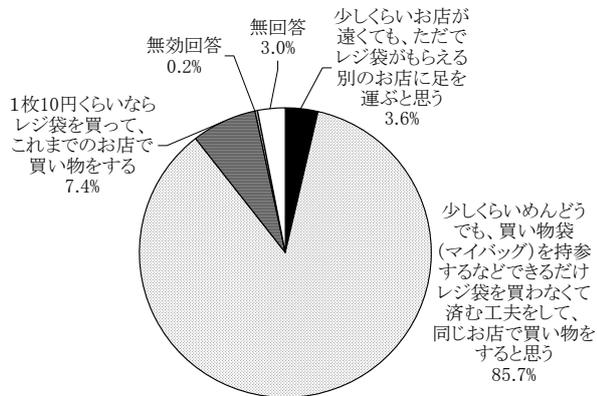
【年齢別】

(単位:%)

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無効回答	無回答	総計
分かりやすい分別方法	72.1	69.3	56.3	54.7	53.5	54.2	100.0	50.5	57.4
ごみの減量方法	46.8	45.1	42.3	41.2	42.6	39.9	100.0	44.0	42.4
地域の集団回収(資源回収)	22.3	20.8	19.6	22.8	25.7	27.1	100.0	22.9	23.4
生ごみ処理機等購入費助成制度	16.3	20.0	18.5	19.2	20.8	19.7	100.0	21.1	19.5
ごみ処理コスト	18.5	16.5	15.7	16.2	14.4	14.4	100.0	13.8	15.5
ごみ減量・リサイクルに関する講座・セミナー	7.3	6.9	7.3	6.6	9.3	11.9	0.0	11.0	8.4
ごみ減量・リサイクル推進活動団体の紹介	4.3	7.3	4.5	6.8	9.9	7.1	100.0	8.3	7.2
その他	2.1	1.9	2.8	2.1	1.6	2.0	0.0	1.8	2.1
無回答	3.9	3.9	7.3	9.9	11.3	16.6	0.0	18.3	10.1
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

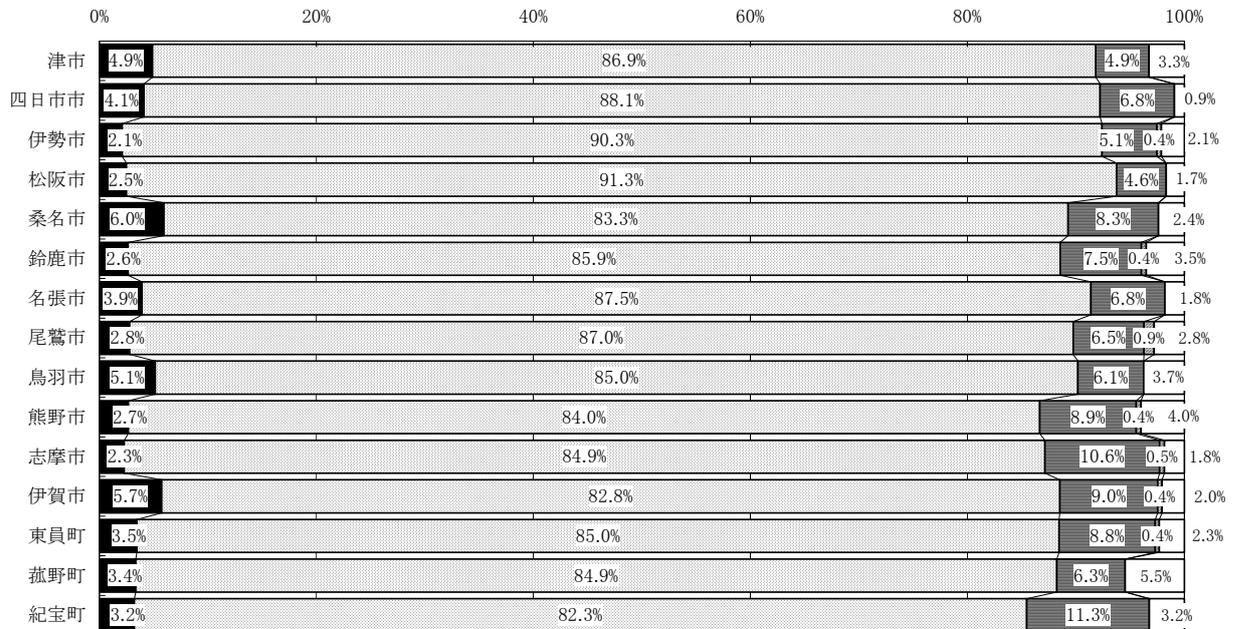
- 年齢別に見ると、どの年齢層でも「分かりやすい分別方法」の割合が最も高く、次いで「ごみの減量方法」が続いており、どちらも若い世代ほど高い傾向にある。

問 18 仮に、いつも買い物をするお店で、「レジ袋は1枚 10 円です」といわれたとします。
 次の買い物から、あなたの行動はどう変わるとおもいますか？(○は1つ)【回答者数:3,682】



・「少しくらいめんどうでも、買い物袋(マイバッグ)を持参するなどできるだけレジ袋を買わなくて済む工夫をして、同じお店で買い物をすると思う」が85.7%と大半を占めている。

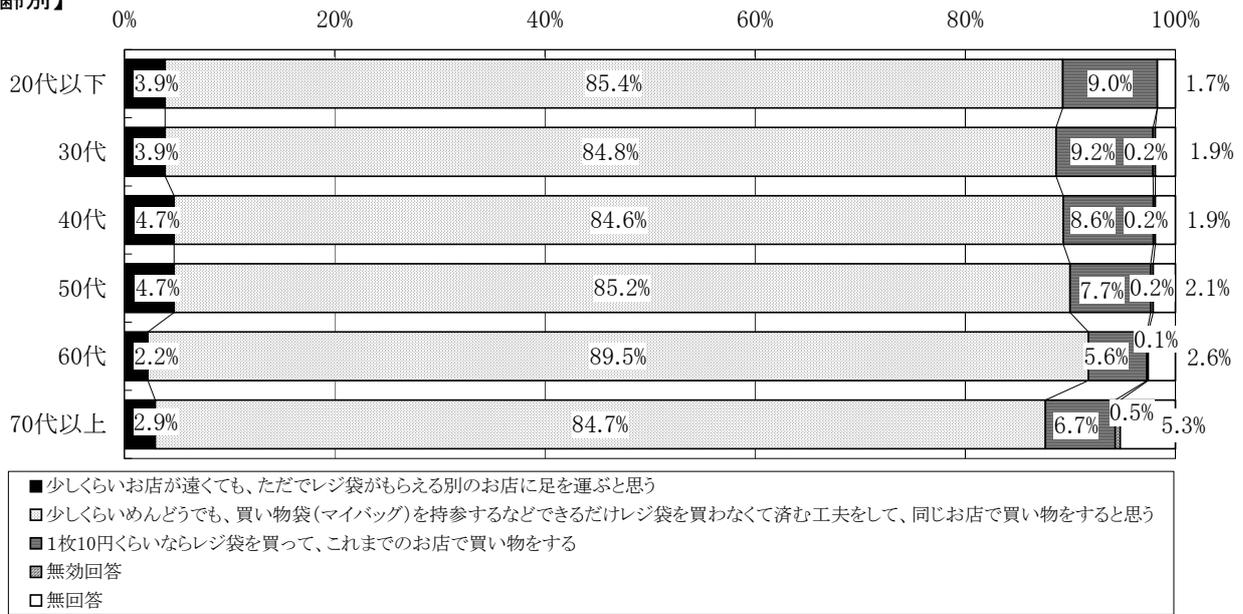
【市町別】



■ 少しくらいお店が遠くても、ただでレジ袋がもらえる別のお店に足を運ぶと思う
 □ 少しくらいめんどうでも、買い物袋(マイバッグ)を持参するなどできるだけレジ袋を買わなくて済む工夫をして、同じお店で買い物をする
 ■ 1枚10円くらいならレジ袋を買って、これまでのお店で買い物をする
 ■ 無効回答
 □ 無回答

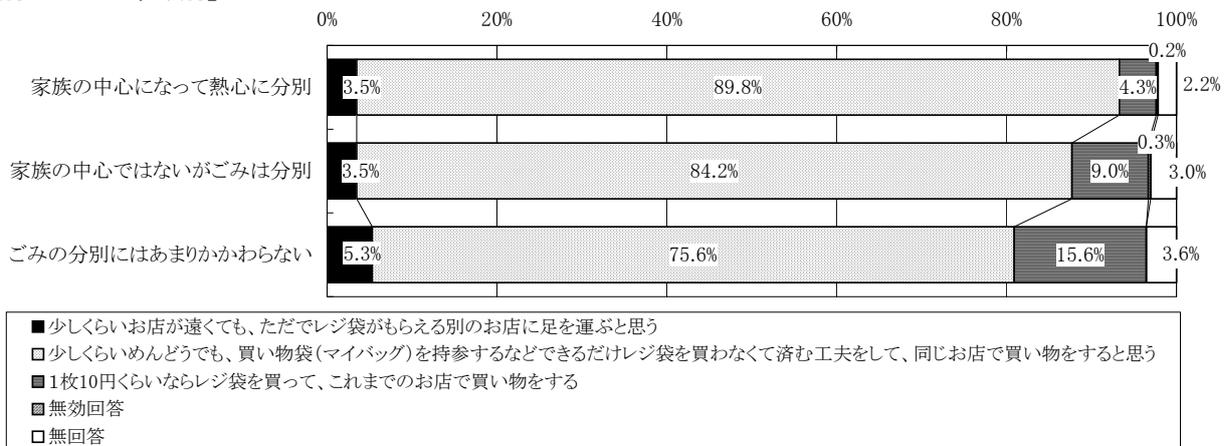
・「少しくらいめんどうでも、買い物袋(マイバッグ)を持参するなどできるだけレジ袋を買わなくて済む工夫をして、同じお店で買い物をすると思う」は、松阪市 91.3%、伊勢市 90.3%をはじめ、すべての市町で 80%以上を占めている。
 ・ 紀宝町や志摩市、伊賀市などでは「1枚 10 円くらいならレジ袋を買って、これまでのお店で買い物をする」も約 10%見られる。

【年齢別】



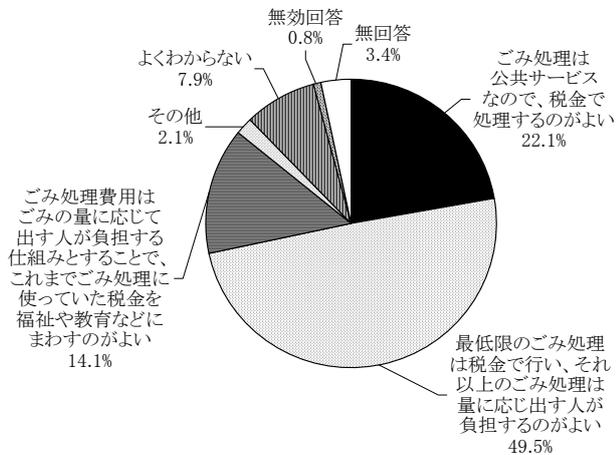
- 年齢別に見ると、どの年齢層でも「少しくらいめんどくでも、買い物袋(マイバッグ)を持参するなどできるだけレジ袋を買わなくて済む工夫をして、同じお店で買い物をすると思う」が80%以上を占めている。
- 「1枚10円くらいならレジ袋を買って、これまでのお店で買い物をする」は、若い世代で10%弱見られる。

【分別へのかかわり別】



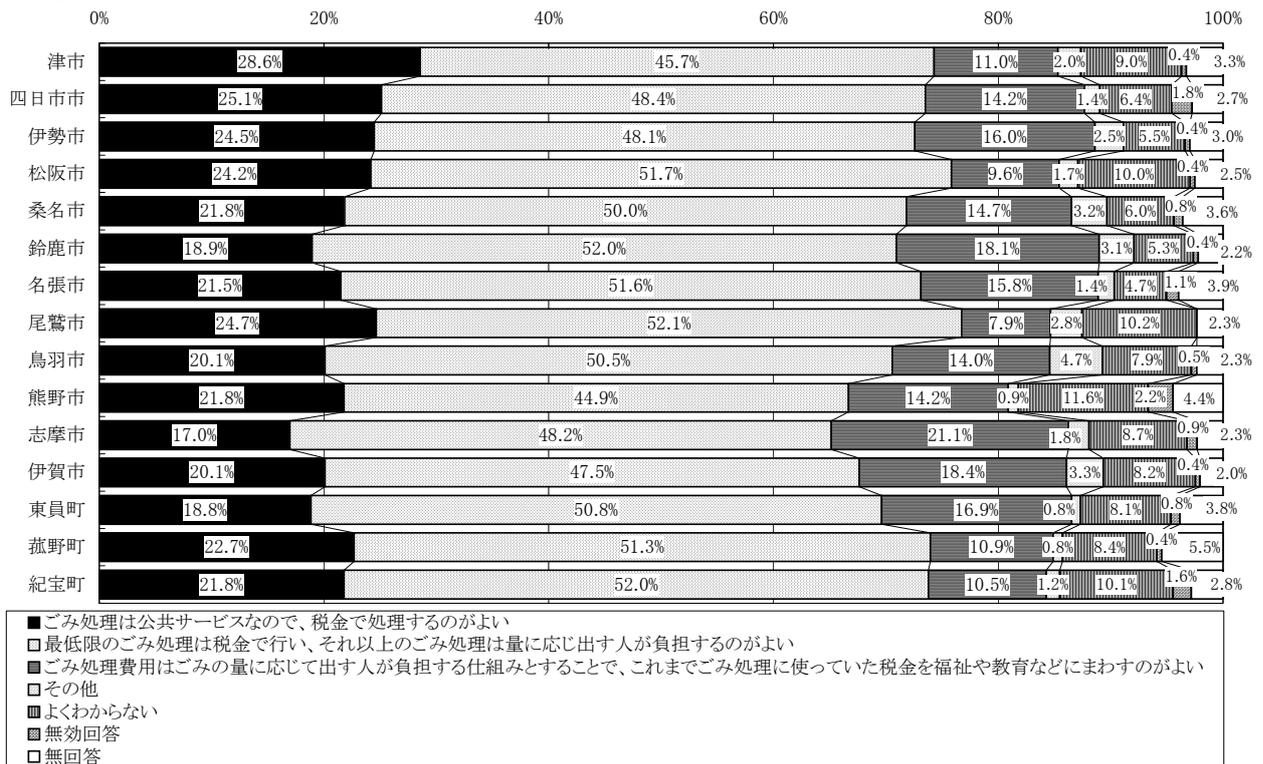
- 分別へのかかわり別に見ると、「少しくらいめんどくでも、買い物袋(マイバッグ)を持参するなどできるだけレジ袋を買わなくて済む工夫をして、同じお店で買い物をすると思う」は、家族の中心になって熱心に分別している人ほど高い。
- 「1枚10円くらいならレジ袋を買って、これまでのお店で買い物をする」は、分別にあまりかかわっていない人のほうが高い傾向にある。

問 19 増え続けるごみを減らすため、ごみ(可燃ごみ)の排出に料金を課す市町が増えていきます。税金を使ってごみ処理を行うことについてどう思いますか？(○は1つ)【回答者数:3,682】



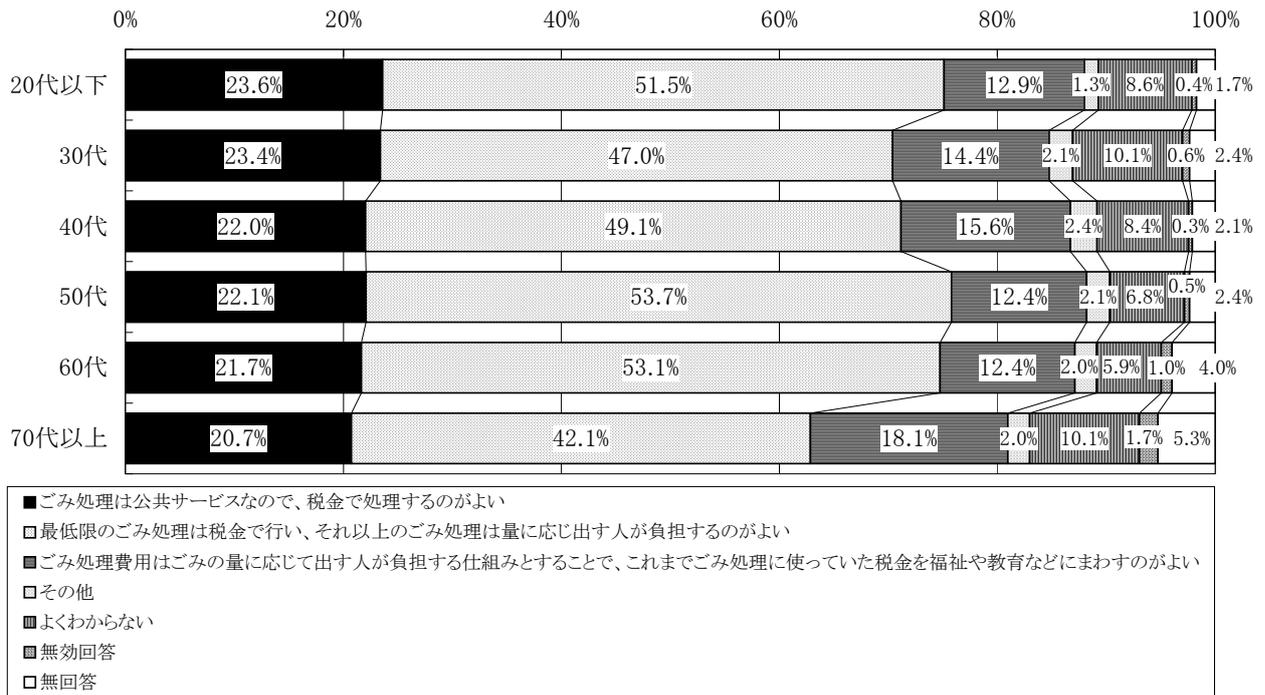
- ・「最低限のごみ処理は税金で行い、それ以上のごみ処理は量に応じ出す人が負担するのがよい」と回答した割合が最も高く、49.5%と約半数を占めている。
- ・次いで、「ごみ処理は公共サービスなので、税金で処理するのがよい」が 22.1%で、これに続いている。

【市町別】



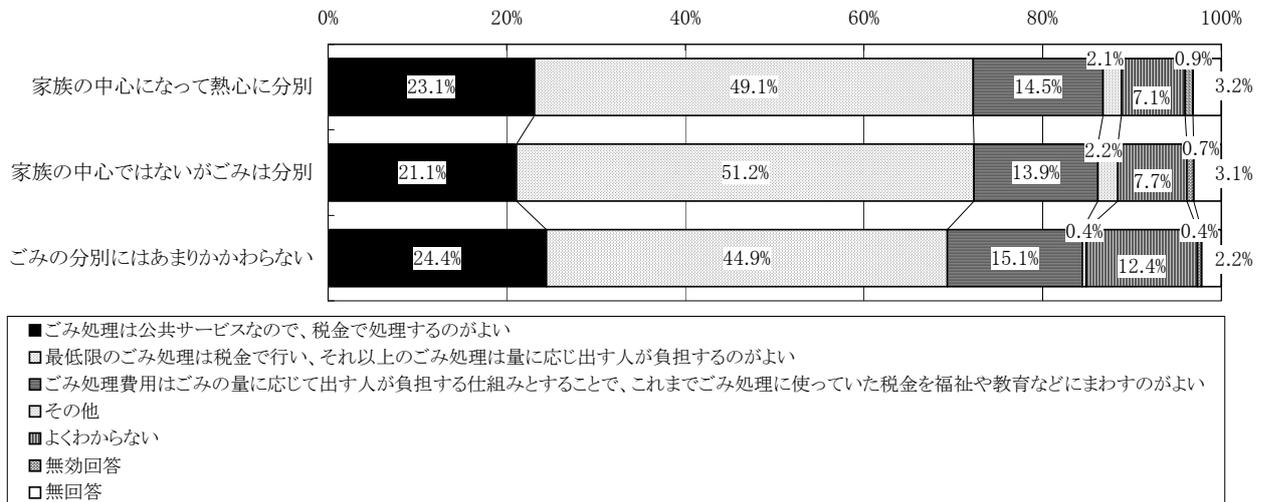
- ・市町別に見ると、「最低限のごみ処理は税金で行い、それ以上のごみ処理は量に応じ出す人が負担するのがよい」と回答した割合は、尾鷲市 52.1%、鈴鹿市 52.0%、紀宝町 52.0%など、ほとんどの市町で約 50%を占めている。
- ・次いで、ほとんどの市町で「ごみ処理は公共サービスなので、税金で処理するのがよい」が続いている。
- ・志摩市では「ごみ処理費用はごみの量に応じて出す人が負担する仕組みとすることで、これまでごみ処理に使っていた税金を福祉や教育などにまわすのがよい」が 21.1%と、他市町に比べてやや高い。

【年齢別】



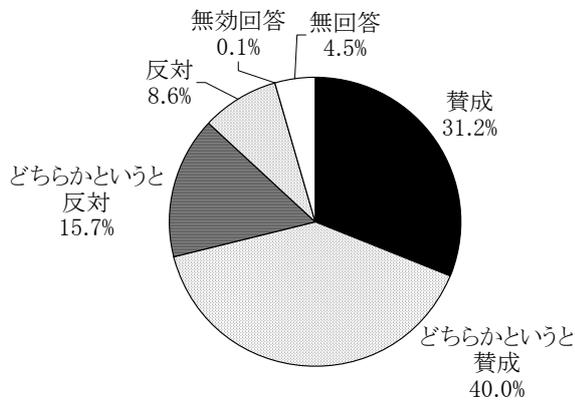
- 年齢別に見ると、どの年齢層でも「最低限のごみ処理は税金で行い、それ以上のごみ処理は量に応じ出す人が負担するのがよい」と回答した割合が最も高く、特に 50 代、60 代で比較的高くなっている。
- 「ごみ処理は公共サービスなので、税金で処理するのがよい」は若い世代ほどやや高く、逆に「ごみ処理費用はごみの量に応じて出す人が負担する仕組みとすることで、これまでごみ処理に使っていた税金を福祉や教育などにまわすのがよい」は、70 代以上が最も高い。

【分別へのかかわり別】



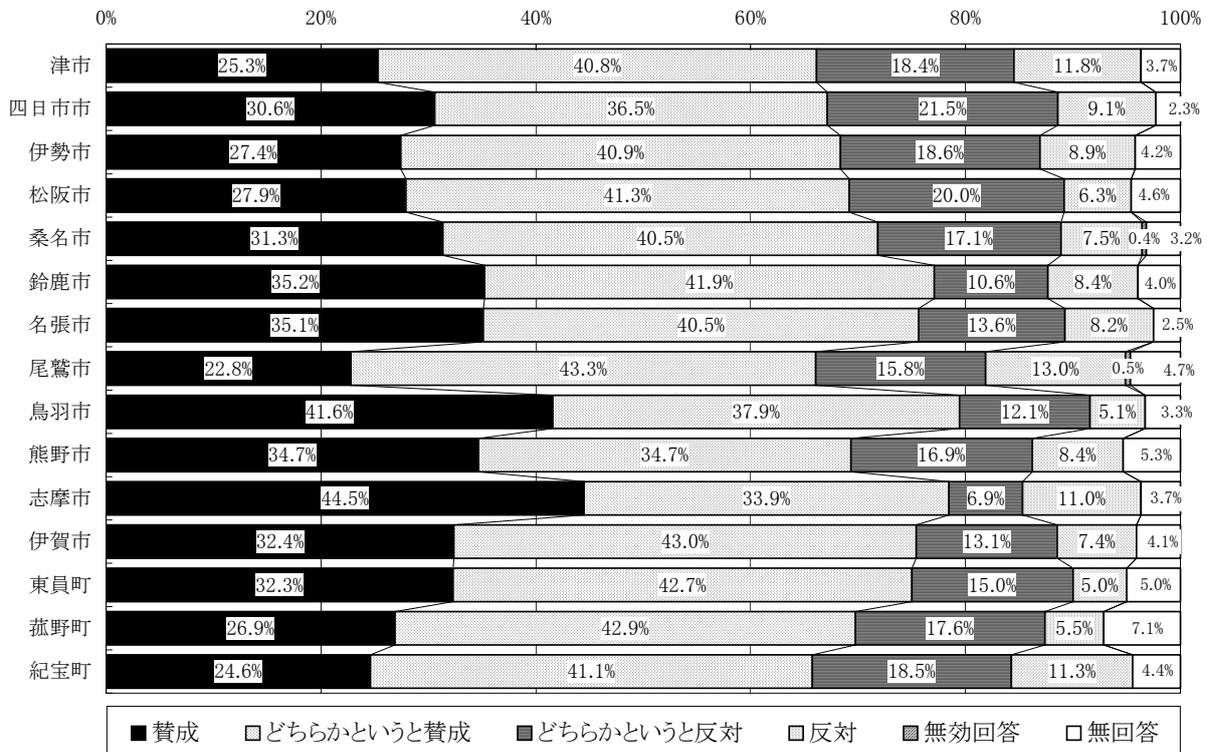
- 税金によるごみ処理について、分別へのかかわり度合いとの相関は見られない。

問 20 出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化についてどう思いますか？(○は1つ)
【回答者数:3,682】



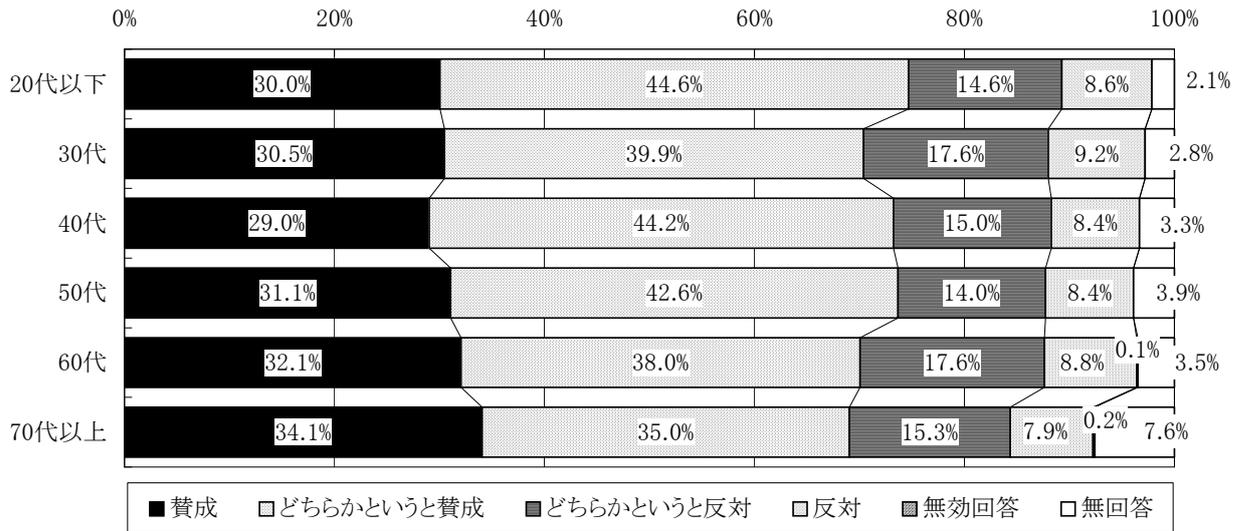
・「ごみの量に応じて負担するごみ有料化についてどう思うか」という問いに対して、「賛成」と回答した割合は 31.2%で、「どちらかという賛成」を合わせると 71.2%を占めている。

【市町別】



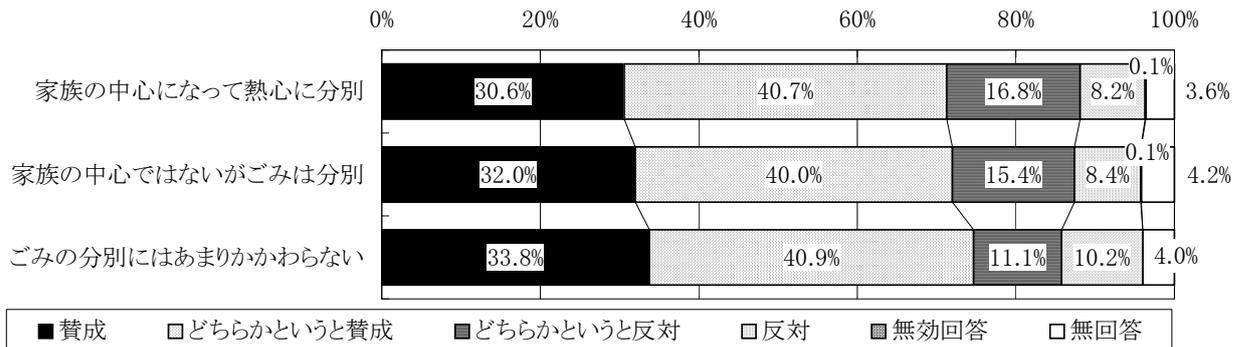
・市町別に見ると、「賛成」と回答した割合は志摩市で 44.5%、鳥羽市で 41.6%と 40%を超えているほかは、多くの市町で 30%前後となっており、最も低い尾鷲市では 22.8%にとどまっている。
・「どちらかという賛成」を合わせると、すべての市町で 60%以上となっている。

【年齢別】



- 年齢別に見ると、どの年齢層でも「賛成」は 30%前後、「どちらかという賛成」を合わせると 70%前後となっている。

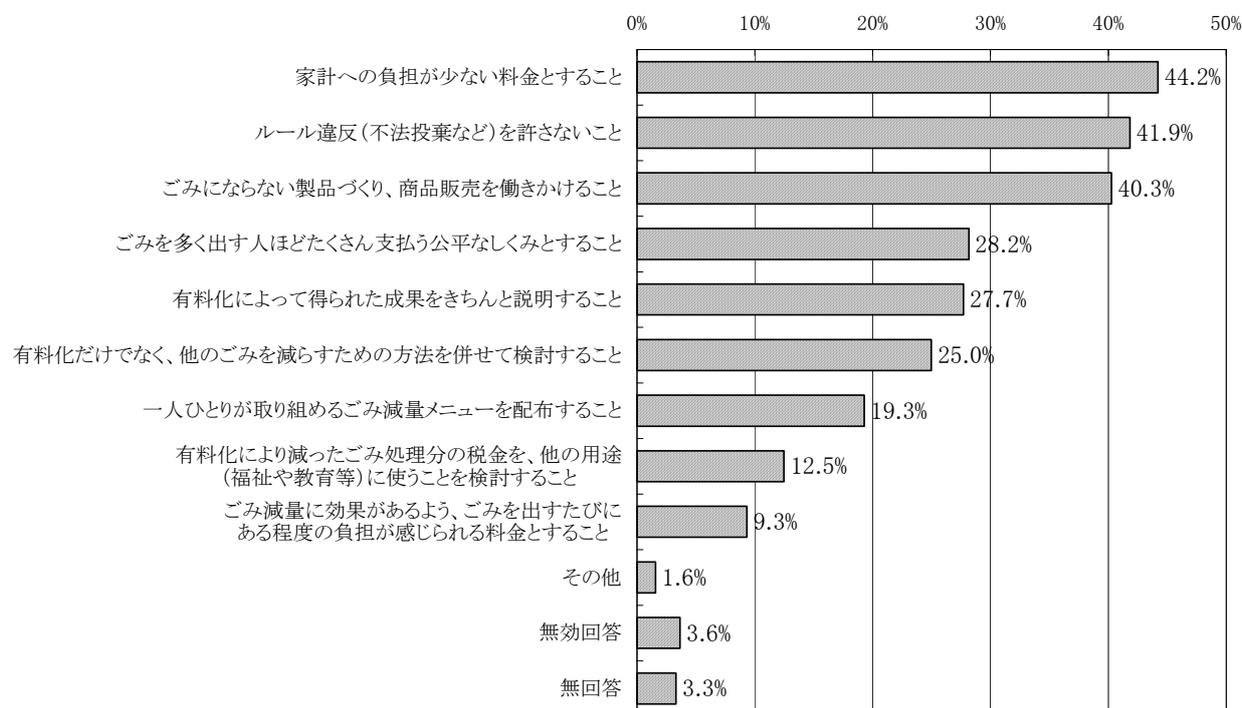
【分別へのかかわり別】



- 分別へのかかわり別に見ると、「賛成」と回答した割合は、家族の中でごみの分別にあまりかかわっていない人の割合が高い傾向にある。

問 21 ごみ有料化を検討する場合、どのようなことを重視すべきだと思いますか？

(○は特に重要と思うこと3つまで)【回答者数:3,682】



- ごみ有料化を検討するうえでの重視事項については、「家計への負担が少ない料金とすること」と回答した割合が44.2%と最も高く、次いで「ルール違反(不法投棄など)を許さないこと」41.9%、「ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること」40.3%が続いている。

【市町別】

(単位:%)

	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	鳥羽市	熊野市	志摩市	伊賀市	東員町	菰野町	紀宝町	無効回答	無回答	総計
家計への負担が少ない料金とすること	45.7	42.5	45.1	43.8	40.1	41.9	48.0	57.7	43.0	42.2	44.5	41.0	41.9	45.4	45.6	66.7	34.7	44.2
ルール違反(不法投棄など)を許さないこと	40.8	50.7	38.8	46.3	43.7	44.9	37.3	45.6	33.2	40.0	36.7	40.6	41.2	48.3	43.5	33.3	35.6	41.9
ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること	37.1	46.1	40.9	43.8	44.4	42.7	42.3	31.6	38.3	38.7	41.7	36.1	38.5	46.6	39.5	66.7	29.7	40.3
ごみを多く出す人ほどたくさん支払う公平なしくみとすること	29.4	29.2	27.4	25.0	28.2	29.5	28.3	27.0	33.2	28.0	31.7	27.5	31.5	25.2	26.6	0.0	19.5	28.2
有料化によって得られた成果をきちんと説明すること	28.2	36.5	27.4	27.5	28.6	26.0	27.6	25.1	30.8	24.9	27.1	32.0	25.4	24.8	22.2	0.0	33.1	27.7
有料化だけでなく、他のごみを減らすための方法を併せて検討すること	24.9	23.3	25.3	26.7	25.4	27.3	23.3	22.8	27.1	25.8	22.5	25.8	28.1	29.4	21.0	33.3	16.9	25.0
一人ひとりが取り組めるごみ減量メニューを配布すること	21.6	16.4	16.9	21.3	17.5	18.9	17.9	20.5	18.7	20.4	15.6	21.7	21.5	15.1	25.4	66.7	16.1	19.3
有料化により減ったごみ処理分の税金を、他の用途(福祉や教育等)に使うことを検討すること	12.7	11.9	16.0	10.8	14.3	10.6	17.2	8.8	15.9	12.9	11.0	12.7	11.2	8.0	11.3	0.0	14.4	12.5
ごみ減量に効果があるよう、ごみを出すたびに適切な負担が感じられる料金とすること	10.6	7.8	10.1	6.3	8.3	13.2	9.7	7.9	9.8	9.8	11.9	8.2	7.3	9.7	6.9	0.0	15.3	9.3
その他	4.1	1.4	2.1	0.8	1.6	0.4	1.4	2.8	1.9	0.4	4.1	0.4	1.5	0.0	1.6	0.0	0.0	1.6
無効回答	3.7	3.2	3.4	2.9	4.0	3.1	4.7	3.3	3.3	3.6	4.1	4.5	3.5	2.1	4.4	0.0	5.1	3.6
無回答	2.4	2.3	3.4	1.3	3.2	2.2	2.5	2.8	3.3	4.4	4.1	2.9	2.7	4.6	3.6	0.0	11.9	3.3
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 市町別に見ると、すべての市町で割合が40%以上となっているのは「家計への負担が少ない料金とすること」で、最も高い尾鷲市では57.7%を占めている。
- 「ルール違反(不法投棄など)を許さないこと」や「ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること」も多くの市町で40%を超えており、ともに四日市市や菰野町で比較的高い割合を示している。

【年齢別】

(単位:%)

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無効回答	無回答	総計
家計への負担が少ない料金とすること	52.8	49.8	50.5	45.9	39.0	38.1	0.0	31.2	44.2
ルール違反(不法投棄など)を許さないこと	44.2	42.9	43.9	41.6	40.5	42.1	0.0	33.0	41.9
ゴミにならない製品づくり、商品販売を働きかけること	42.5	44.8	39.3	41.3	40.1	37.8	0.0	29.4	40.3
ゴミを多く出す人ほどたくさん支払う公平なくみとすること	29.6	29.0	29.5	27.7	28.3	27.1	0.0	22.9	28.2
有料化によって得られた成果をきちんと説明すること	36.9	26.2	35.7	30.7	23.0	19.3	0.0	33.9	27.7
有料化だけでなく、他のゴミを減らすための方法を併せて検討すること	25.8	23.2	24.0	29.6	26.6	20.0	0.0	18.3	25.0
一人ひとりが取り組めるゴミ減量メニューを配布すること	18.9	20.8	16.8	19.5	21.0	18.3	0.0	18.3	19.3
有料化により減ったゴミ処理分の税金を、他の用途(福祉や教育等)に使うことを検討すること	14.6	11.6	9.8	12.8	12.7	13.3	0.0	16.5	12.5
ゴミ減量に効果があるよう、ゴミを出すたびにある程度の負担が感じられる料金とすること	3.0	7.3	8.2	7.2	12.7	11.5	0.0	15.6	9.3
その他	0.4	1.3	2.3	2.1	0.9	2.0	0.0	0.0	1.6
無効回答	1.7	4.3	2.8	3.2	4.1	4.3	100.0	4.6	3.6
無回答	1.3	1.5	1.9	2.0	3.3	6.7	0.0	12.8	3.3
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 年齢別に見ると、「家計への負担が少ない料金とすること」と回答した割合は、若い世代ほど高い傾向にある。
- ・ 「ルール違反(不法投棄など)を許さないこと」や「ゴミにならない製品づくり、商品販売を働きかけること」も各年齢層で40%前後となっている。

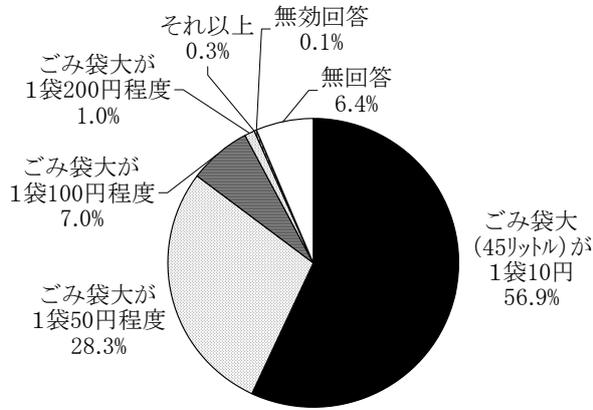
【分別へのかかわり別】

(単位:%)

	家族の中心になって熱心に分別	家族の中心ではないがゴミは分別	ゴミの分別にはあまりかわからない	無回答	総計
家計への負担が少ない料金とすること	45.0	44.3	45.8	33.7	44.2
ルール違反(不法投棄など)を許さないこと	39.5	44.5	43.6	33.7	41.9
ゴミにならない製品づくり、商品販売を働きかけること	41.8	40.6	33.8	31.3	40.3
ゴミを多く出す人ほどたくさん支払う公平なくみとすること	26.3	29.5	37.3	19.0	28.2
有料化によって得られた成果をきちんと説明すること	27.5	28.1	27.1	26.4	27.7
有料化だけでなく、他のゴミを減らすための方法を併せて検討すること	26.5	24.3	24.4	18.4	25.0
一人ひとりが取り組めるゴミ減量メニューを配布すること	21.4	18.4	13.8	16.0	19.3
有料化により減ったゴミ処理分の税金を、他の用途(福祉や教育等)に使うことを検討すること	12.1	12.4	14.7	13.5	12.5
ゴミ減量に効果があるよう、ゴミを出すたびにある程度の負担が感じられる料金とすること	8.0	10.0	10.2	13.5	9.3
その他	1.5	1.8	0.9	0.6	1.6
無効回答	4.3	3.3	1.3	4.9	3.6
無回答	2.7	3.0	2.7	12.9	3.3
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

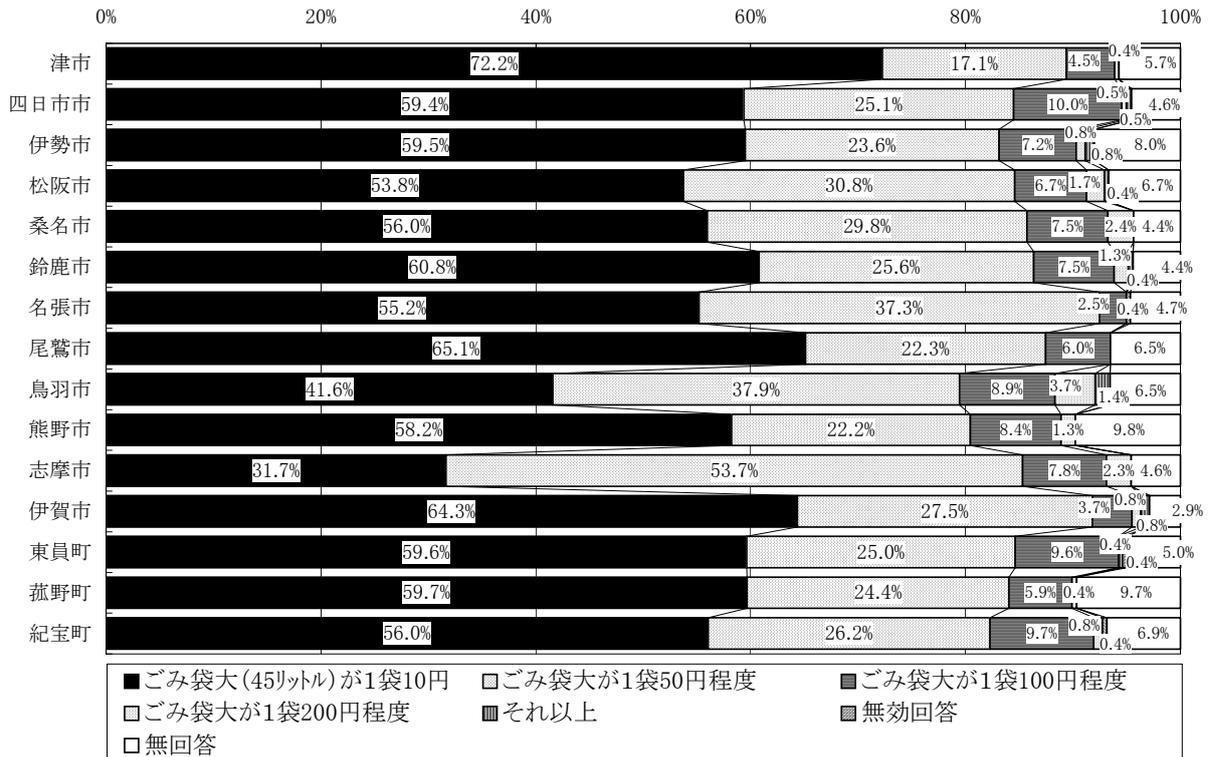
- ・ 分別へのかかわり別に見ると、「家計への負担が少ない料金とすること」と回答した割合は、分別へのかかわり度合いに関係なく約45%を占めている。
- ・ 「ルール違反(不法投棄など)を許さないこと」は各年齢層で40%前後あるが、家族の中心になって熱心に分別している人はやや低い。
- ・ 「ゴミにならない製品づくり、商品販売を働きかけること」は、ゴミの分別にあまりかわっていない人でやや低くなっている。

問 22 ごみ処理を有料化した市町では、料金を「指定のごみ袋」を購入するという形で支払うことが多く、「指定のごみ袋」は普通のごみ袋に比べて値段が高くなっています。有料化する場合、その料金としていくらまでなら受け入れられますか？(○は1つ)【回答者数:3,682】



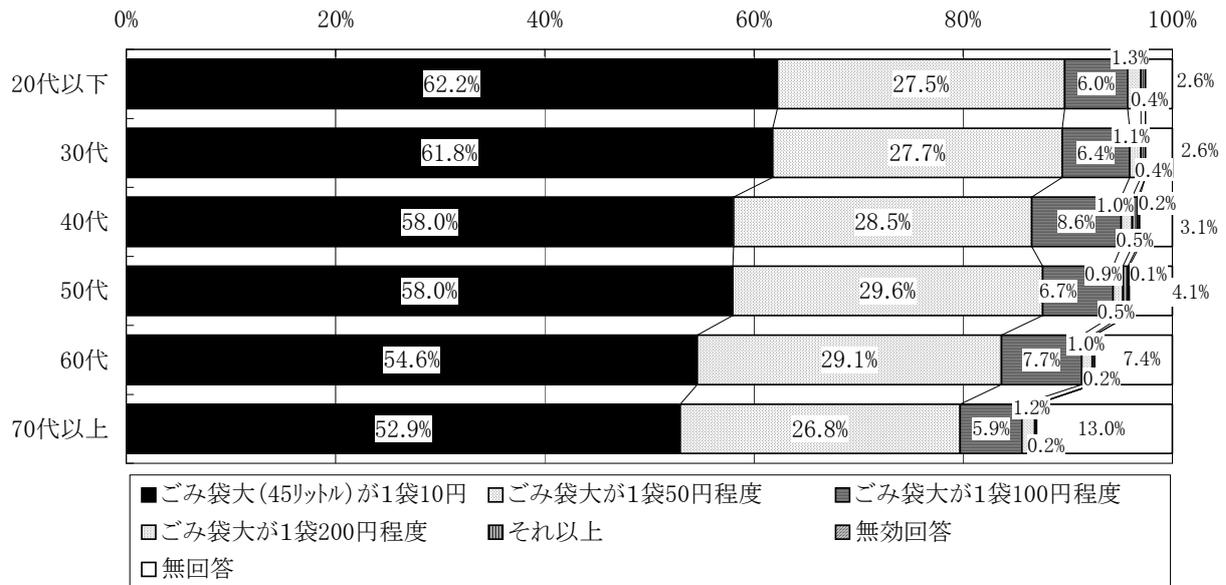
- ・ ごみ有料化での受け入れ可能金額については、「指定のごみ袋 (45リットル) が 1袋 10 円」と回答した割合が 56.9%と過半数を占めている。
- ・ 次に、「指定のごみ袋 (45リットル) が 1袋 50 円程度」28.3%が続いている。

【市町別】



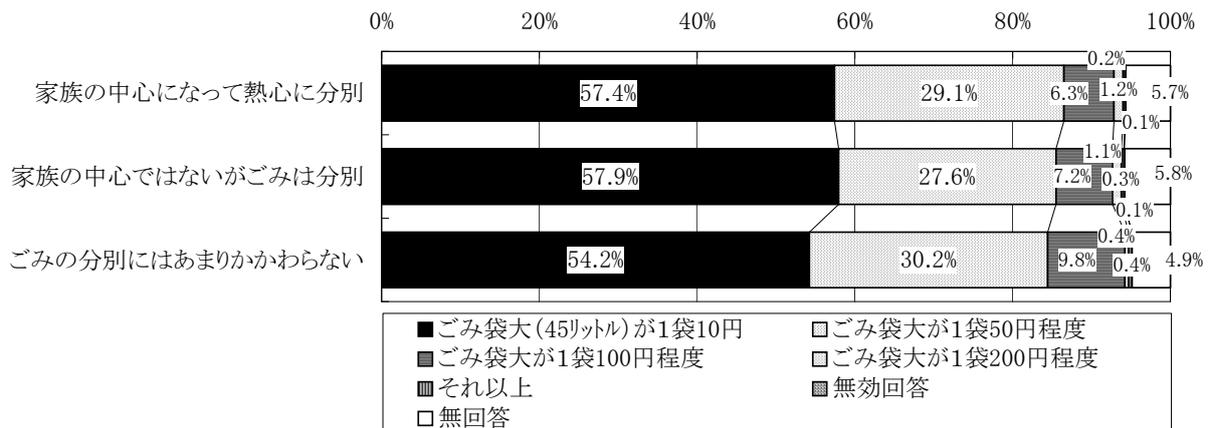
- ・ 市町別に見ると、「指定のごみ袋 (45リットル) が 1袋 10 円」と回答した割合は、最も高い津市で 72.2%となっているほか、ほとんどの市町で 50%以上を占めているが、すでに 1袋 50 円での有料化が実施されている志摩市と、1袋 45 円での有料化が実施されている鳥羽市では、ともに 50%を下回っている。特に志摩市では「1袋 10 円」は 31.7%にとどまっており、「1袋 50 円程度」が 53.7%となっている。

【年齢別】



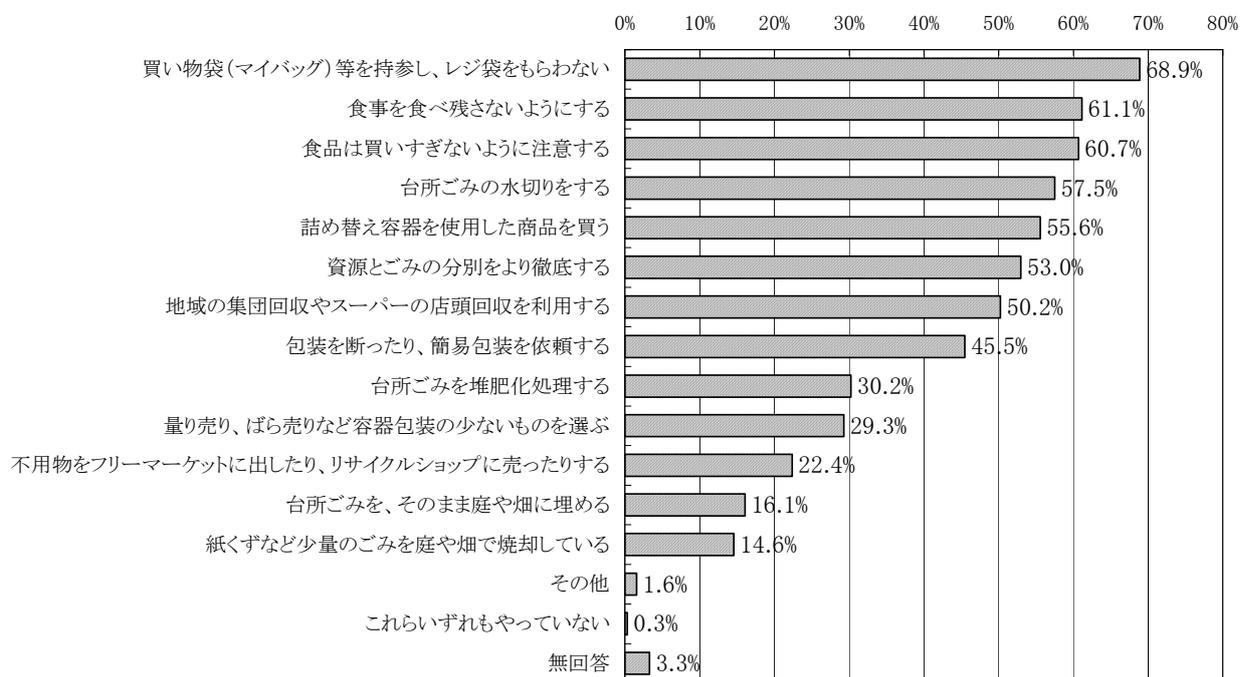
- 年齢別に見ると、「ごみ袋大(45リットル)が1袋10円」と回答した割合は、どの年齢層でも50%を超えている。特に、若い世代ほど高い傾向にある。

【分別へのかかわり別】



- 分別へのかかわり別に見ると、「ごみ袋大(45リットル)が1袋10円」と回答した割合はいずれも50%を超えているが、家族の中でごみの分別にあまりかかわっていない人はやや低くなっている。

問 23 あなたの市町でごみの有料化が実施された場合、どのようにごみを減らしますか？既に実施している市町の方については、どのように減らしていますか？(当てはまるものすべてに○)【回答者数:3,682】



- ・「ごみ有料化に伴いごみをどう減らすか(どう減らしているか)」という問いに対して、最も高いのは「買い物袋(マイバッグ)等を持参し、レジ袋をもらわない」で 68.9%を占めている。
- ・次いで、「食事を食べ残さないようにする」61.1%、「食品は買いすぎないように注意する」60.7%、「台所ごみの水切りをする」57.5%、「詰め替え容器を使用した商品を買う」55.6%、「資源とごみの分別を徹底する」53.0%、「地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用する」50.2%と続いている。

【市町別】

(単位:%)

	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	鳥羽市	熊野市	志摩市	伊賀市	東員町	菟野町	紀宝町	無効回答	無回答	総計
買い物袋(マイバッグ)等を持参し、レジ袋をもらわない	75.9	70.8	80.6	72.1	66.7	73.1	70.6	68.8	68.7	70.7	62.8	55.7	71.9	68.5	60.5	66.7	60.2	68.9
食事を食べ残さないようにする	60.8	67.1	69.2	60.8	62.3	61.7	61.3	63.7	57.5	61.3	53.7	56.1	67.7	63.4	55.2	66.7	50.0	61.1
食品は買いすぎないように注意する	62.0	63.0	65.4	60.8	61.9	62.6	60.9	59.5	61.7	57.3	57.8	55.3	68.1	59.2	57.3	66.7	54.2	60.7
台所ごみの水切りをする	57.1	65.3	62.0	55.4	62.3	58.1	58.8	67.0	59.8	51.1	56.4	57.8	61.2	47.9	48.4	66.7	47.5	57.5
詰め替え容器を使用した商品を買う	59.6	61.6	56.1	54.2	55.6	52.4	61.6	48.8	47.2	56.9	49.5	56.6	61.9	57.6	54.8	66.7	46.6	55.6
資源とごみの分別をより徹底する	52.2	58.0	55.3	56.3	53.6	48.9	59.1	43.7	50.0	54.2	46.3	48.0	57.3	55.0	56.9	33.3	46.6	53.0
地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用する	53.5	64.4	49.8	62.1	59.1	46.7	58.4	42.8	40.2	41.3	39.9	56.6	51.9	56.7	32.7	66.7	37.3	50.2
包装を断ったり、簡易包装を依頼する	47.3	55.3	48.1	50.0	56.0	47.1	45.2	42.8	38.8	44.9	35.8	35.2	47.7	44.1	43.5	33.3	43.2	45.5
台所ごみを堆肥化処理する	26.9	29.7	26.2	30.8	24.6	30.8	28.7	19.1	22.9	35.6	35.3	31.6	34.6	34.5	38.7	33.3	34.7	30.2
量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選ぶ	38.8	38.8	24.1	32.1	30.2	28.2	26.9	25.6	22.4	30.2	23.9	23.4	32.3	33.6	30.2	66.7	23.7	29.3
不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりする	26.9	26.5	19.0	27.5	27.0	19.8	23.7	20.0	15.9	16.9	20.6	20.5	27.7	21.4	22.2	66.7	16.9	22.4
台所ごみを、そのまま庭や畑に埋める	19.2	15.1	12.2	17.1	15.5	18.9	16.8	10.7	6.1	16.4	16.1	17.6	19.6	20.6	16.1	66.7	16.9	16.1
紙くずなど少量のごみを庭や畑で焼却している	12.2	9.1	8.0	17.9	9.9	15.0	8.6	14.0	7.5	21.3	32.1	16.4	13.5	16.8	19.0	33.3	11.9	14.6
その他	0.8	0.9	3.4	0.4	0.8	1.8	1.8	3.3	2.8	1.3	2.3	1.2	1.2	0.0	2.0	0.0	1.7	1.6
これらいずれもやっていない	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.5	1.2	0.0	0.0	0.4	0.0	0.8	0.3
無回答	3.3	1.8	3.8	1.3	2.8	3.1	3.9	1.9	2.8	5.3	2.3	2.9	1.9	4.6	2.8	0.0	12.7	3.3
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 市町別に見ると、「買い物袋(マイバッグ)等を持参し、レジ袋をもらわない」と回答した割合は、すでにレジ袋削減・マイバッグ運動を推進している伊勢市で 80.6%を占めているほか、津市 75.9%、鈴鹿市 73.1%、松阪市 72.1%、東員町 71.9%など、ほとんどの市町で 60%以上となっている。
- ・ 「食事を食べ残さないようにする」、「食品は買いすぎないように注意する」、「台所ごみの水切りをする」、「詰め替え容器を使用した商品を買う」、「資源とごみの分別を徹底する」は、ほとんどの市町で 50%以上を占めている。
- ・ 「地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用する」も、四日市市の 64.4%をはじめ 50%以上の市町が多い。

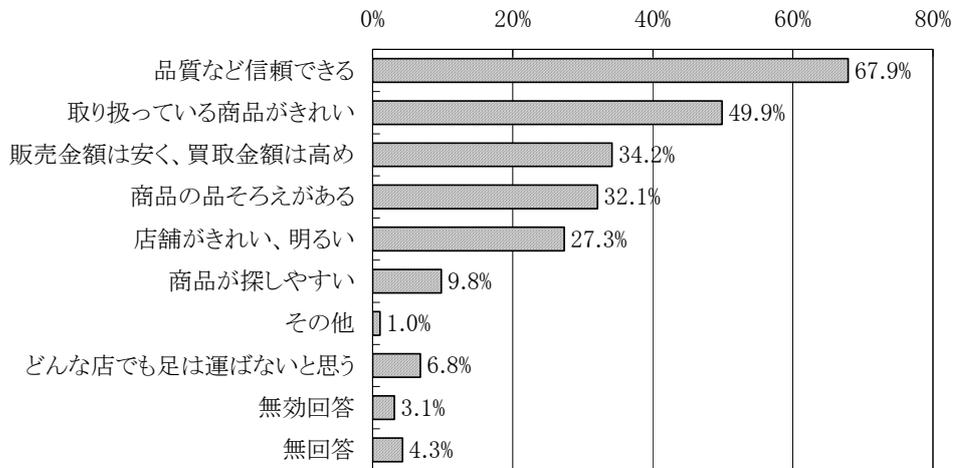
【年齢別】

(単位:%)

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無効回答	無回答	総計
買い物袋(マイバッグ)等を持参し、レジ袋をもらわない	68.2	65.7	69.1	71.2	71.5	66.1	100.0	61.5	68.9
食事を食べ残さないようにする	63.5	62.4	59.3	61.0	62.3	61.5	100.0	50.5	61.1
食品は買いすぎないように注意する	59.7	60.7	58.7	58.4	62.9	63.6	100.0	56.9	60.7
台所ごみの水切りをする	47.6	51.3	54.5	58.1	63.2	61.8	100.0	48.6	57.5
詰め替え容器を使用した商品を買う	68.2	63.7	63.5	59.3	48.9	43.0	100.0	46.8	55.6
資源とごみの分別をより徹底する	45.5	54.9	55.9	52.3	55.6	50.2	100.0	46.8	53.0
地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用する	49.8	58.4	54.5	51.1	48.6	43.0	100.0	41.3	50.2
包装を断ったり、簡易包装を依頼する	45.9	51.9	54.7	48.9	41.0	33.9	100.0	43.1	45.5
台所ごみを堆肥化処理する	16.3	22.7	24.3	32.1	36.9	34.7	100.0	32.1	30.2
量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選ぶ	27.5	31.8	33.2	28.7	28.3	27.1	100.0	25.7	29.3
不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりする	35.2	35.8	25.7	19.7	18.6	14.2	100.0	16.5	22.4
台所ごみを、そのまま庭や畑に埋める	15.0	11.8	13.6	14.8	17.6	21.5	100.0	15.6	16.1
紙くずなど少量のごみを庭や畑で焼却している	10.3	9.2	9.3	12.4	16.8	25.1	100.0	11.0	14.6
その他	0.4	1.7	0.9	1.5	2.2	1.7	0.0	1.8	1.6
これらいずれもやっていない	0.9	0.2	0.5	0.4	0.0	0.2	0.0	0.9	0.3
無回答	2.1	2.6	2.1	2.5	3.0	5.0	0.0	13.8	3.3
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 年齢別に見ると、「買い物袋(マイバッグ)等を持参し、レジ袋をもらわない」と回答した割合はすべての年齢層で60%を超えており、特に50代、60代では70%以上となっている。
- ・ 「食事を食べ残さないようにする」、「食品は買いすぎないように注意する」は、すべての年齢層で50%以上を占めている。
- ・ 「台所ごみの水切りをする」や「資源とごみの分別を徹底する」は、30代以上では50%を超えているのに対し、20代以下の若い世代では50%をやや下回っている。
- ・ 「詰め替え容器を使用した商品を買う」、「包装を断ったり、簡易包装を依頼する」、「地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用する」は、70代以上の高齢者層で低くなっている。

問 24 あなたの家の近くに中古の家電製品や家具を扱うお店(リサイクルショップ)ができたとします。この店がどんな店であったら、あなたは足を運んでみようと思いますか？(○は3つまで)【回答者数:3,682】



- ・ 利用したいリサイクルショップの条件については、「品質など信頼できる」と回答した割合が最も高く 67.9%を占めている。
- ・ 次いで、「取り扱っている商品がきれい」49.9%、「販売金額は安く、買取金額は高め」34.2%、「商品の品そろえがある」32.1%と続いている。

【市町別】

(単位:%)

	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	鳥羽市	熊野市	志摩市	伊賀市	東員町	菟野町	紀宝町	無効回答	無回答	総計
品質など信頼できる	70.2	72.1	64.6	71.3	74.2	64.8	63.1	63.7	65.4	75.1	66.1	64.3	68.1	73.1	69.4	33.3	55.1	67.9
取り扱っている商品がきれい	49.8	50.7	56.1	55.0	50.4	54.2	47.7	49.3	47.2	47.6	42.7	50.8	48.1	52.9	50.4	66.7	39.8	49.9
販売金額は安く、買取金額は高め	42.9	33.8	37.1	37.5	31.0	35.2	29.4	32.6	40.7	31.6	37.6	36.9	29.6	29.0	35.1	33.3	22.9	34.2
商品の品そろえがある	36.7	35.2	29.5	29.6	35.3	27.3	30.5	34.4	36.4	36.0	32.1	29.1	28.5	35.3	29.0	0.0	28.8	32.1
店舗がきれい、明るい	24.9	30.6	24.9	32.1	30.2	30.8	28.7	28.8	23.8	25.8	24.8	27.9	26.9	26.5	24.2	66.7	24.6	27.3
商品が探しやすい	9.0	9.1	8.4	7.1	9.9	6.6	11.1	9.8	12.1	9.3	11.5	12.7	9.6	11.8	6.0	33.3	15.3	9.8
どんな店でも足は運ばないと思う	5.3	5.9	8.0	4.2	5.6	7.5	8.2	6.0	4.7	7.1	9.2	7.4	8.1	5.5	7.7	0.0	10.2	6.8
その他	0.8	0.9	0.4	1.3	2.0	1.3	1.4	0.9	0.5	1.3	1.4	0.4	1.2	0.8	0.8	0.0	0.8	1.0
無効回答	3.7	3.2	3.8	2.9	1.6	3.5	1.8	3.7	5.1	2.2	2.8	1.6	4.6	2.9	4.0	0.0	1.7	3.1
無回答	3.7	2.3	3.8	3.8	4.0	4.8	5.7	4.7	3.7	5.8	3.2	4.1	3.8	3.4	3.6	0.0	11.0	4.3
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 市町別に見ると、どの市町でも第1位になっているのは「品質など信頼できる」で、熊野市 75.1%、桑名市 74.2%、菟野町 73.1%をはじめ、すべての市町で 60%以上を占めている。
- ・ 次いで高いのは「取り扱っている商品がきれい」で、伊勢市 56.1%、松阪市 55.0%など、すべての市町で約 50%となっている。

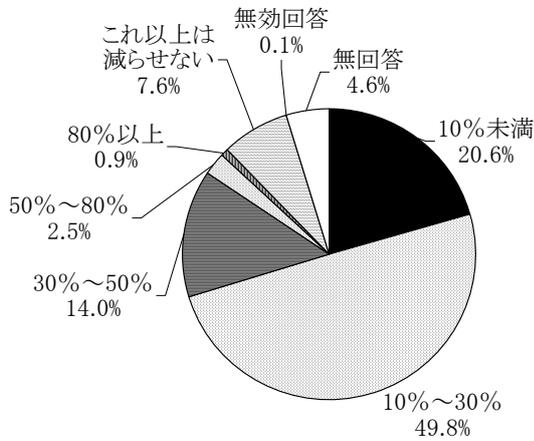
【年齢別】

(単位:%)

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無効回答	無回答	総計
品質など信頼できる	72.1	68.0	72.6	70.7	68.9	59.3	0.0	56.0	67.9
取り扱っている商品がきれい	60.9	58.4	57.0	54.9	48.1	31.0	0.0	39.4	49.9
販売金額は安く、買取金額は高め	44.6	37.6	37.1	32.9	35.1	28.0	0.0	21.1	34.2
商品の品そろえがある	26.2	31.1	31.1	33.4	33.4	33.3	0.0	27.5	32.1
店舗がきれい、明るい	39.1	38.2	29.5	25.6	23.3	21.2	0.0	24.8	27.3
商品が探しやすい	9.0	8.6	7.5	8.1	10.3	13.9	0.0	13.8	9.8
その他	2.1	1.3	0.9	0.6	1.0	1.2	0.0	0.9	1.0
どんな店でも足は運ばないと思う	3.0	3.4	4.0	5.9	7.9	12.2	0.0	11.0	6.8
無効回答	2.1	2.6	3.7	3.1	3.3	3.1	100.0	1.8	3.1
無回答	1.7	2.8	3.0	3.1	3.6	8.7	0.0	11.0	4.3
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

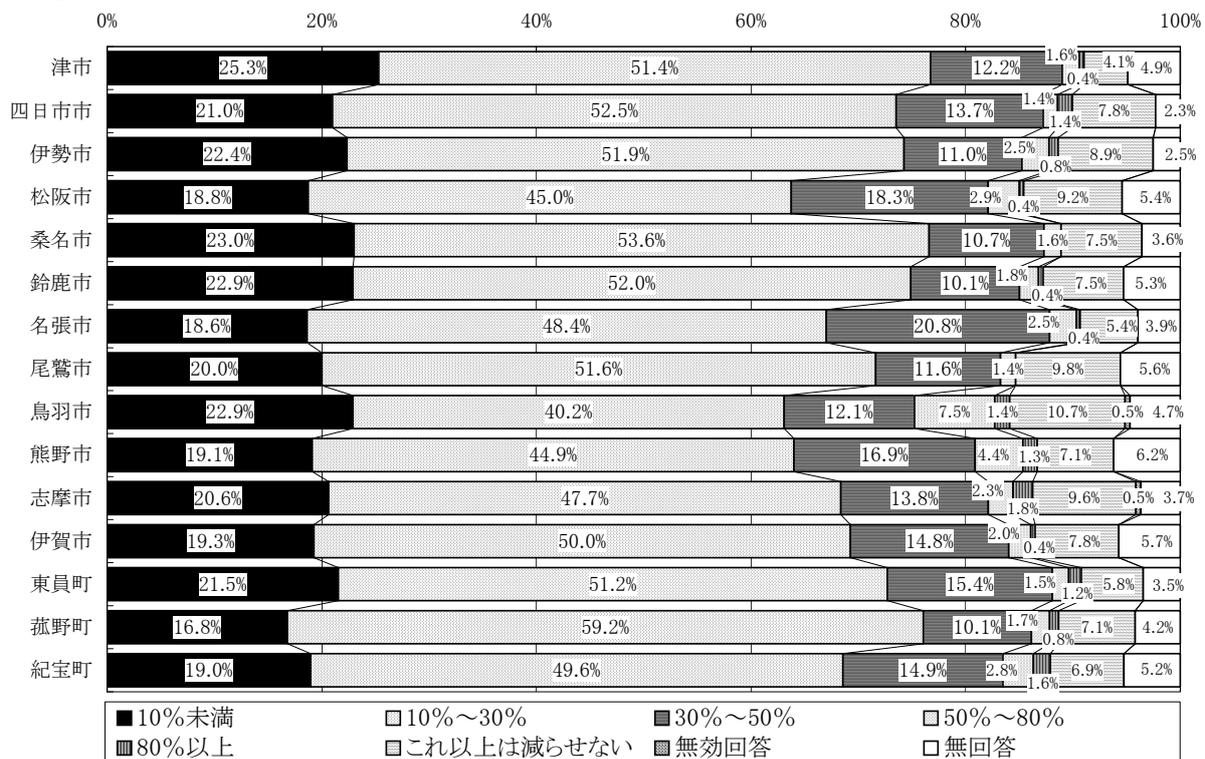
- 年齢別に見ると、「品質など信頼できる」と回答した割合は、60代以下では70%前後あるのに対して70代以上は59.3%とやや低い。
- 「取り扱っている商品がきれい」は、若い世代で60%前後あるのに対し、60代では48.1%、70代以上では31.0%にとどまっている。

問 25 あなたのご家庭から出る可燃ごみに限って言えば、努力によりどれだけ減らせると思いますか？(○は1つ)
【回答者数:3,682】



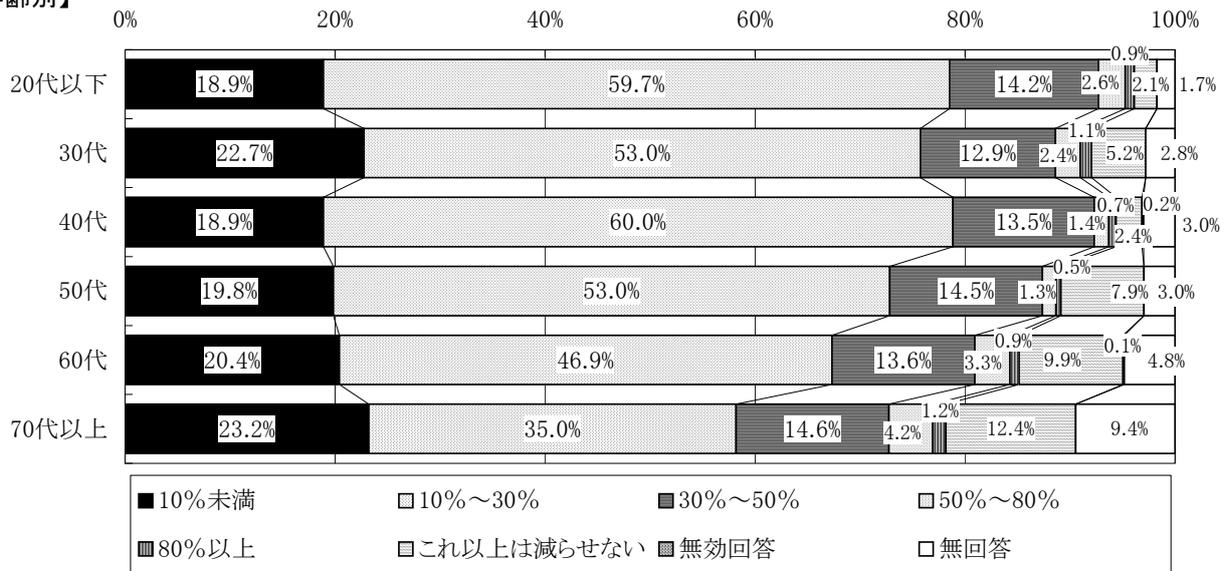
- ・ 「可燃ごみはどれだけ減らせるか」という問いに対し、最も割合が高いのは「10%~30%」で 49.8%を占めている。
- ・ これに「10%未満」の 20.6%と「これ以上は減らせない」の 7.6%を合わせると、78.0%を占めている。

【市町別】



- ・ 市町別に見ると、どの市町も「10%~30%」と回答した割合が最も高く、菰野町 59.2%、桑名市 53.6%、四日市市 52.5%、鈴鹿市 52.0%などは 50%以上となっている。
- ・ 「10%未満」、「10%~30%」、「これ以上は減らせない」を合わせると、すべての市町で 70%以上を占めている。

【年齢別】

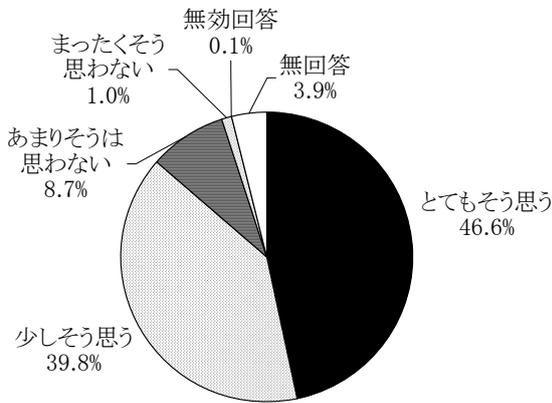


- 年齢別に見ると、「10%未満」、「10%~30%」、「これ以上は減らせない」を合わせた割合は、50代以下では約80%あるのに対して、70代以上では70.6%と10ポイントほど低い。
- 「これ以上は減らせない」は、50代以上で割合が高くなっている。

◎ 「ごみ処理基本計画」作りへの住民参画についてお聞きします。

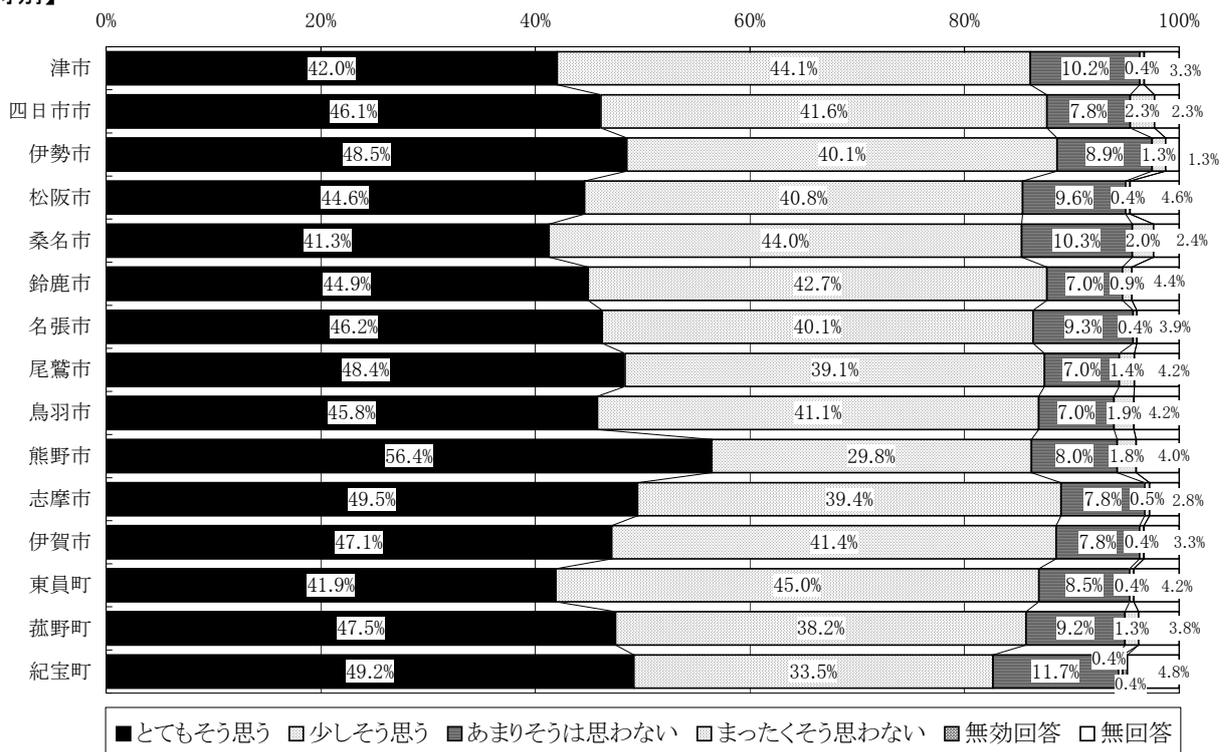
問 26 ごみ処理のあり方や具体的なごみ減量化施策について定めた市町の「ごみ処理基本計画」作りへの住民参画についてあなたの意見をお聞きします。(〇は1つずつ)【回答者数:3,682】

(1)計画作りには、できるだけ多くの住民が参加することが必要だと思いますか？(〇は1つ)



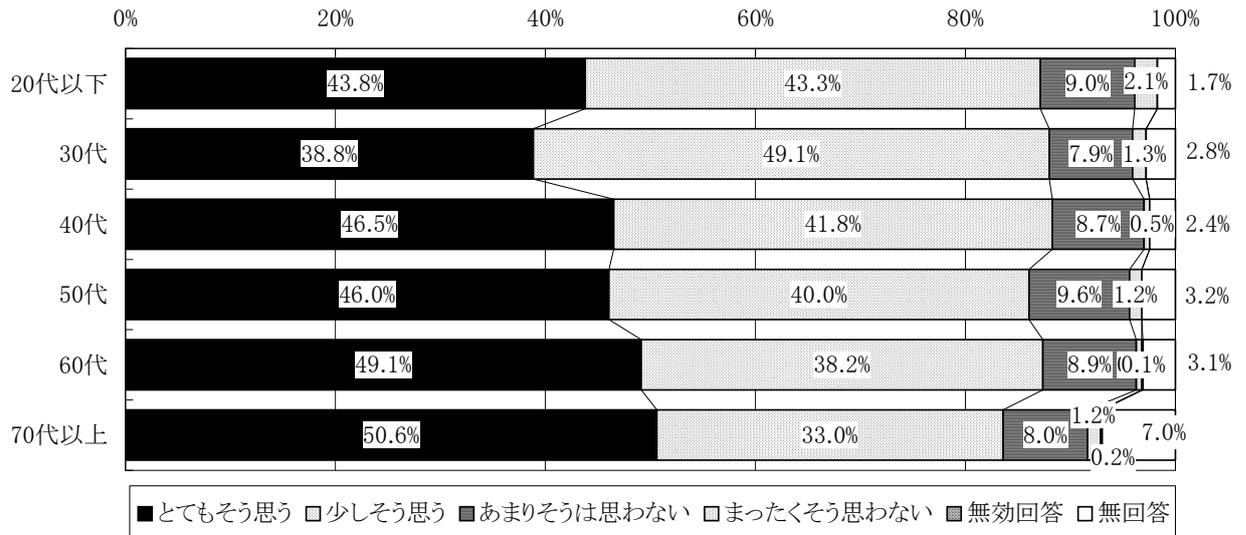
・「計画づくりへの住民参加は必要だと思うか」という問いに対して「とてもそう思う」と回答した割合は46.6%と約半数を占めており、「少しそう思う」を合わせると86.4%となっている。

【市町別】



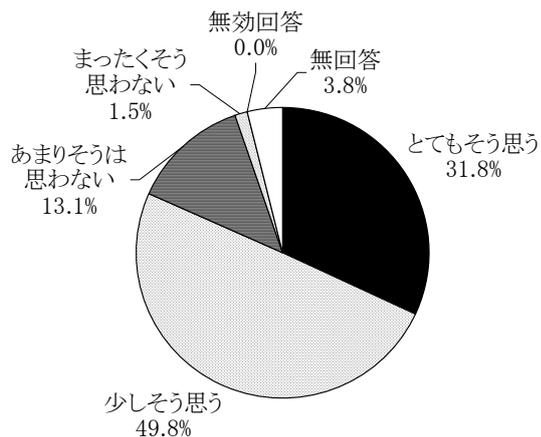
- ・市町別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は、最も高い熊野市で56.4%と50%を超えているほかは、すべて40%台となっている。
- ・「少しそう思う」を合わせると、すべての市町で80%以上を占めている。

【年齢別】



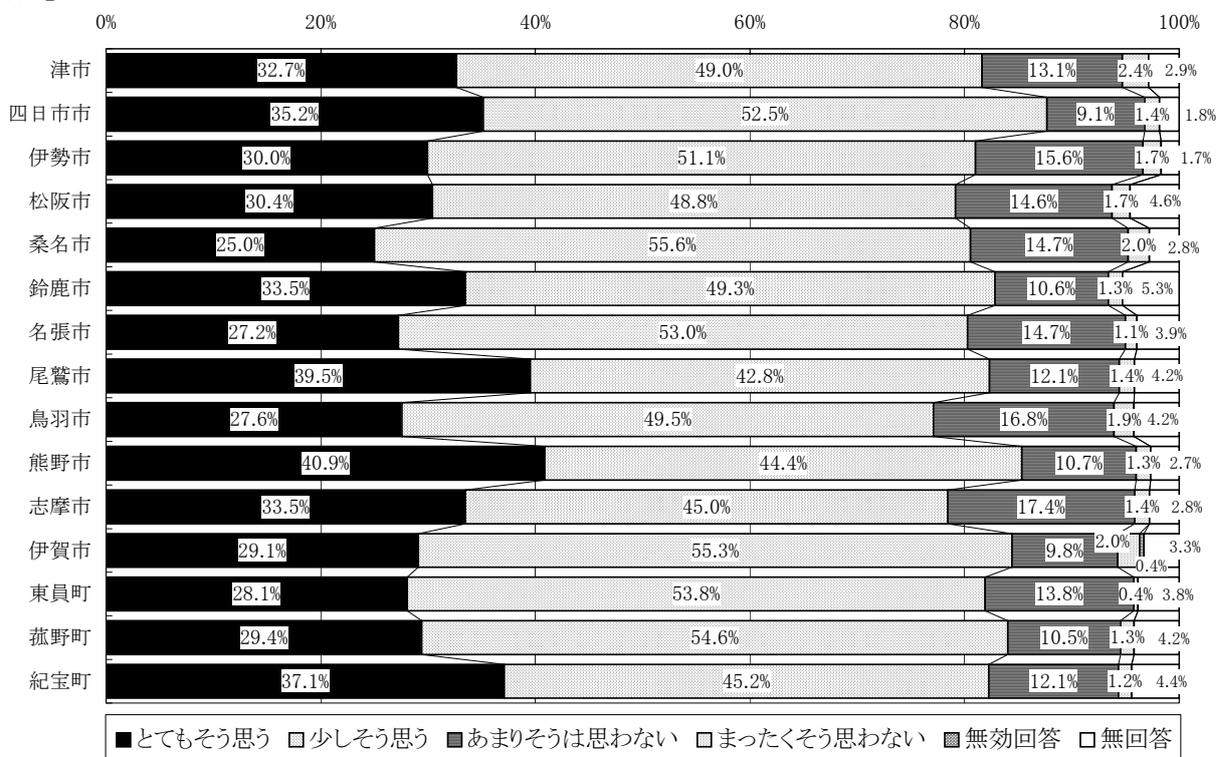
- 年齢別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は、高齢者層でやや高い。
- 「少しそう思う」を合わせると、すべての年齢層で80%を超えている。

(2)計画作りに住民が参加すれば、住民の要望や意見を反映できると思いますか？(○は1つ)



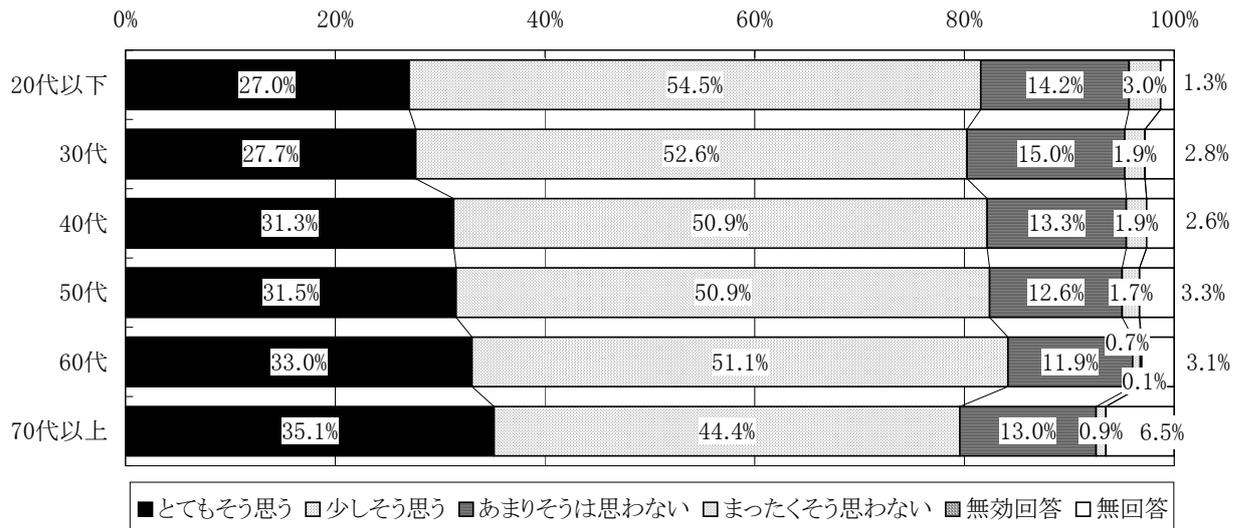
・「計画づくりに住民が参加すれば、住民の要望や意見が反映できるか」という問いに対して「とてもそう思う」と回答した割合は 31.8%、「少しそう思う」を合わせると 81.6%を占めている。

【市町別】



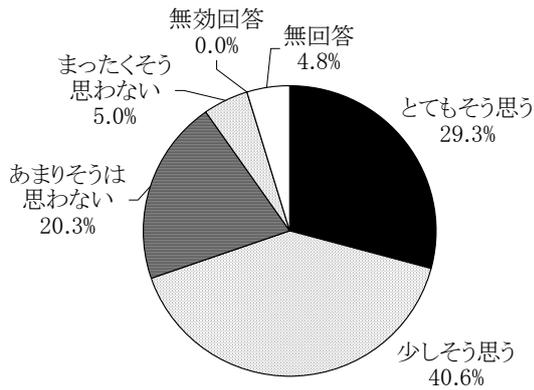
- ・市町別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は熊野市 40.9%、尾鷲市 39.5%、紀宝町 37.1%で 40%前後となっているほかは、どの市町も 30%前後となっている。
- ・「少しそう思う」を合わせると、四日市市の 87.7%をはじめ、ほとんどの市町で 80%を超えている。

【年齢別】



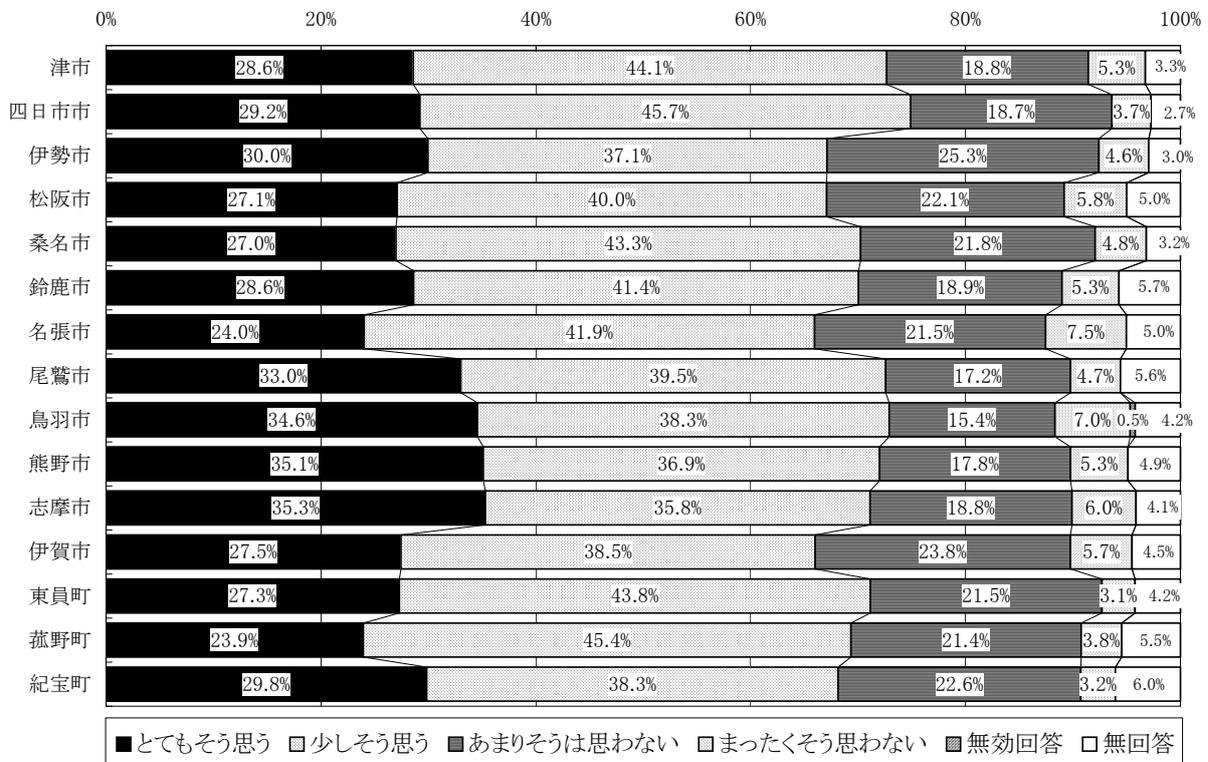
- 年齢別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は、若い世代に比べて高齢者層でやや高い。
- 「少しそう思う」を合わせると、すべての年齢層で80%前後となっている。

(3)計画は市町が主体的につくる方がよいと思いますか？(○は1つ)



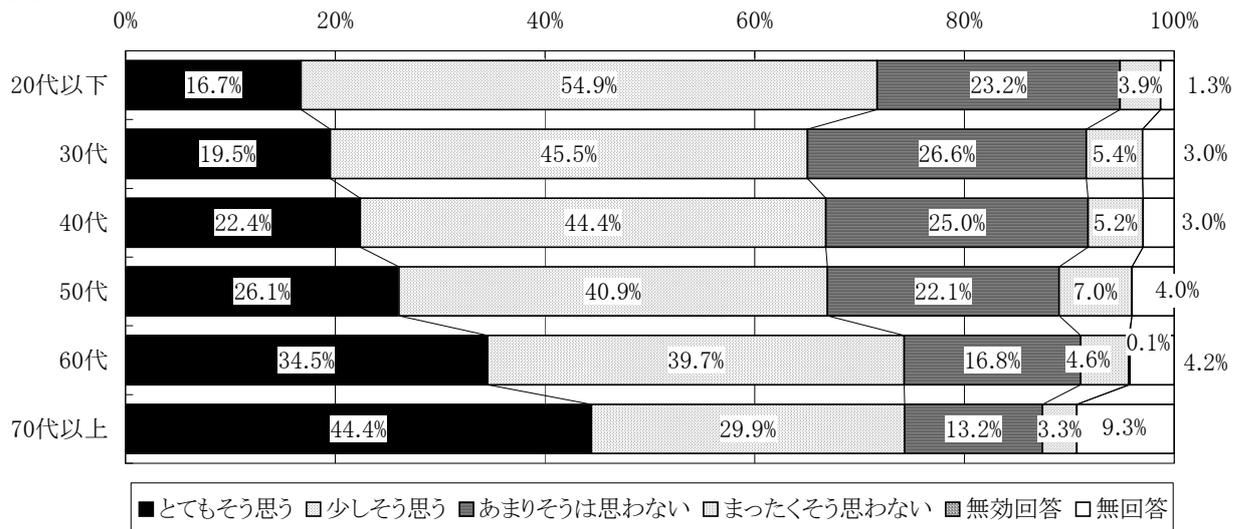
- ・「計画は市町が主体的につくる方がよいか」という問いに対して「とてもそう思う」と回答した割合は29.3%、「少しそう思う」を合わせると69.9%を占めている。
- ・「あまりそうは思わない」は20.3%である。

【市町別】



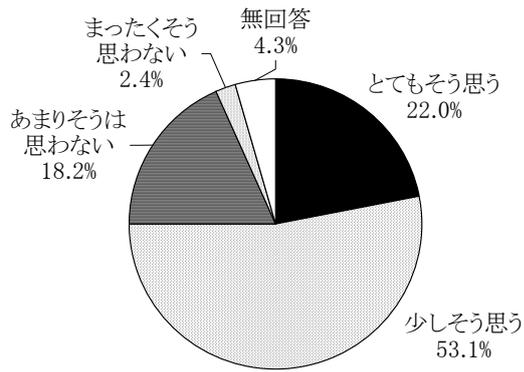
- ・市町別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は多くの市町で30%前後となっており、志摩市35.3%、熊野市35.1%、鳥羽市34.6%、尾鷲市33.0%などでやや高い。
- ・「少しそう思う」を合わせると、多くの市町で70%以上となっているのに対し、名張市65.9%、伊賀市66.0%はやや低い。

【年齢別】



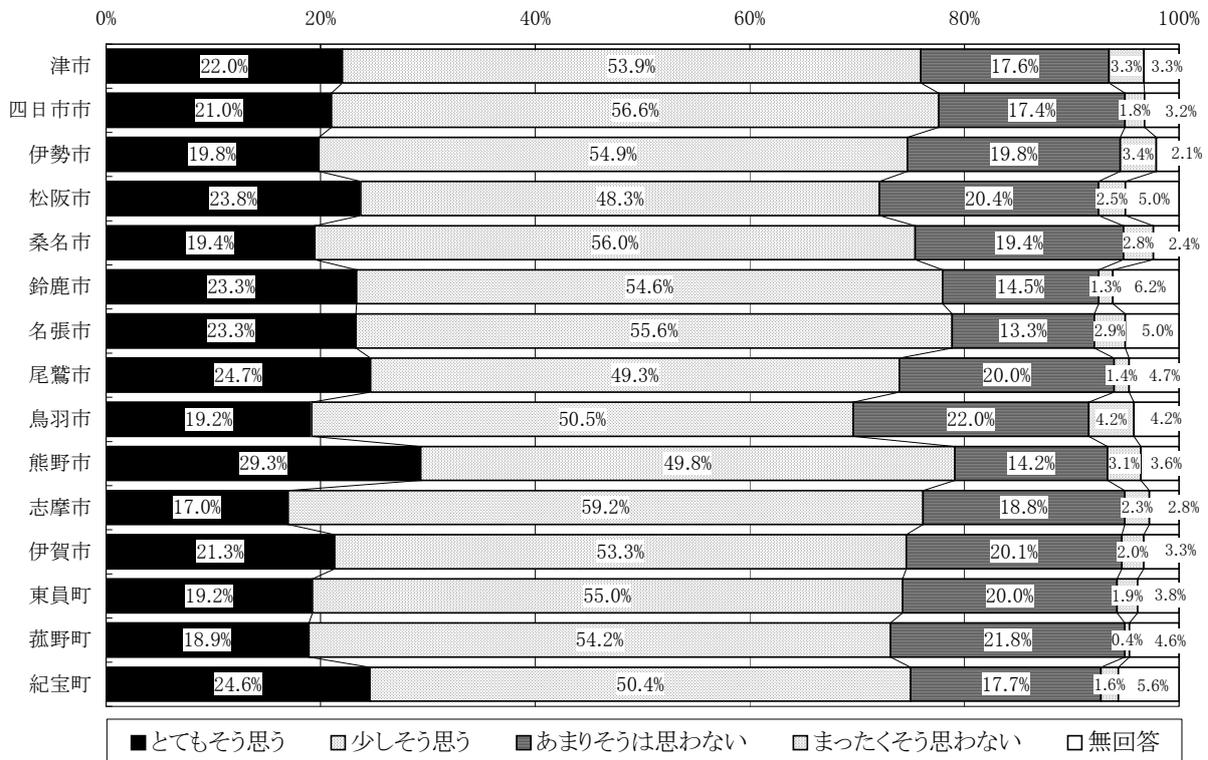
- 年齢別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は高齢者層ほど高い傾向にある。
- 「少しそう思う」を合わせると、60代以上の高齢者層で約75%あるのに対し、30代、40代、50代では約65%とやや低い。

(4)あなたが計画作りに参加することで、様々な情報を入手できると思いますか？(○は1つ)



・「計画づくりに参加することで様々な情報を入手できると思うか」という問いに対して「とてもそう思う」と回答した割合は 22.0%、「少しそう思う」を合わせると 75.1%を占めている。

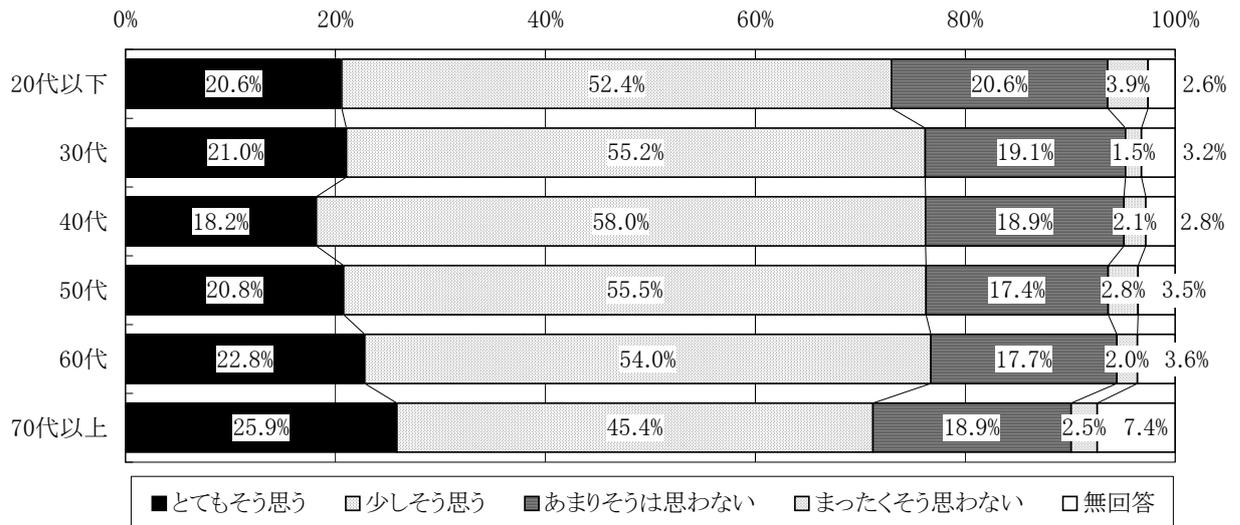
【市町別】



・市町別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は、最も高い熊野市で 29.3%、その他の市町は 20%前後となっている。

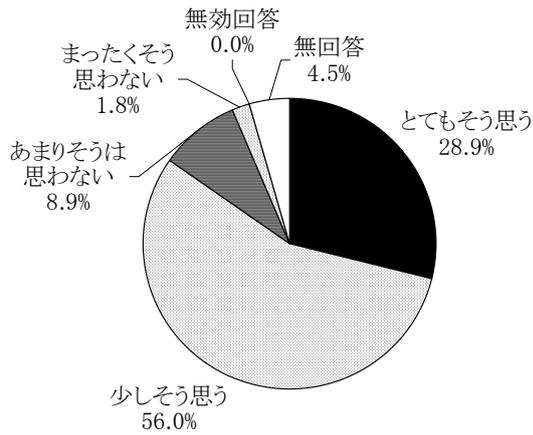
・「少しそう思う」を合わせると、ほとんどの市町で 70%を超えている。

【年齢別】



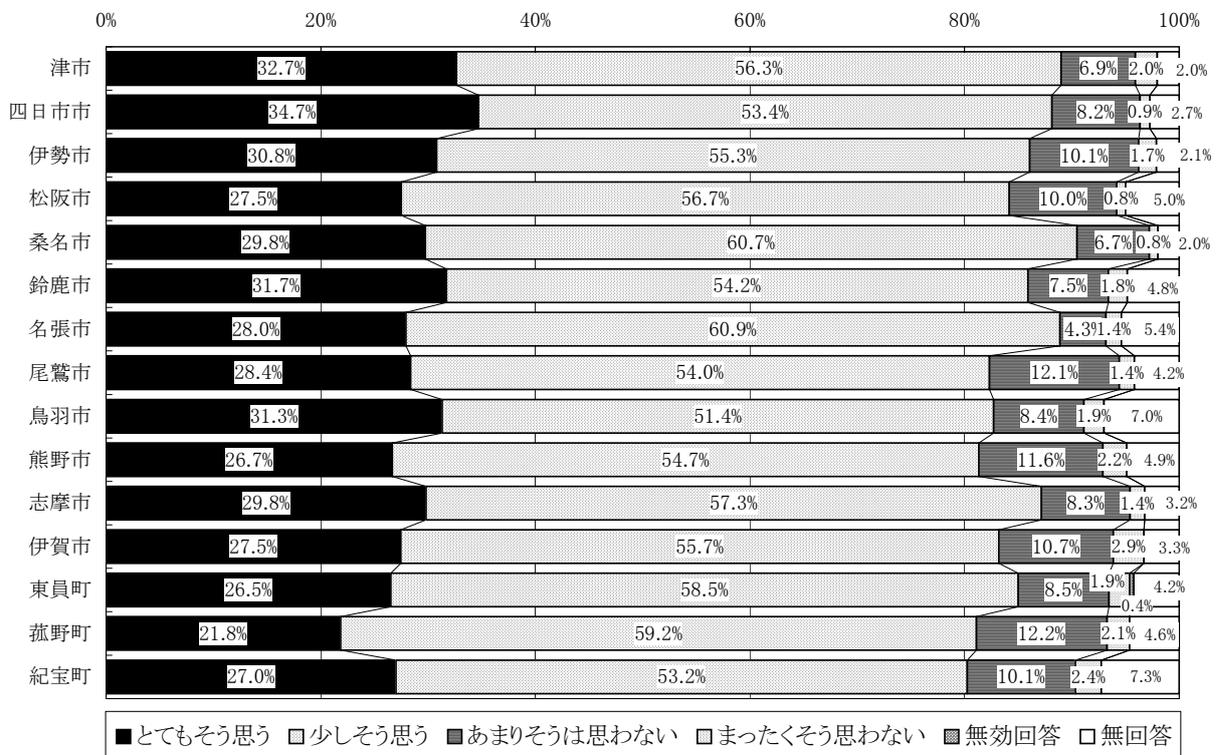
- 年齢別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は 70 代以上で 25.9%、その他の年齢層は 20%前後となっている。
- 「少しそう思う」を合わせると、すべての年齢層で 70%以上を占めている。

(5)あなたが計画作りに参加すると、時間や手間がかかり大変だと思いますか？(○は1つ)



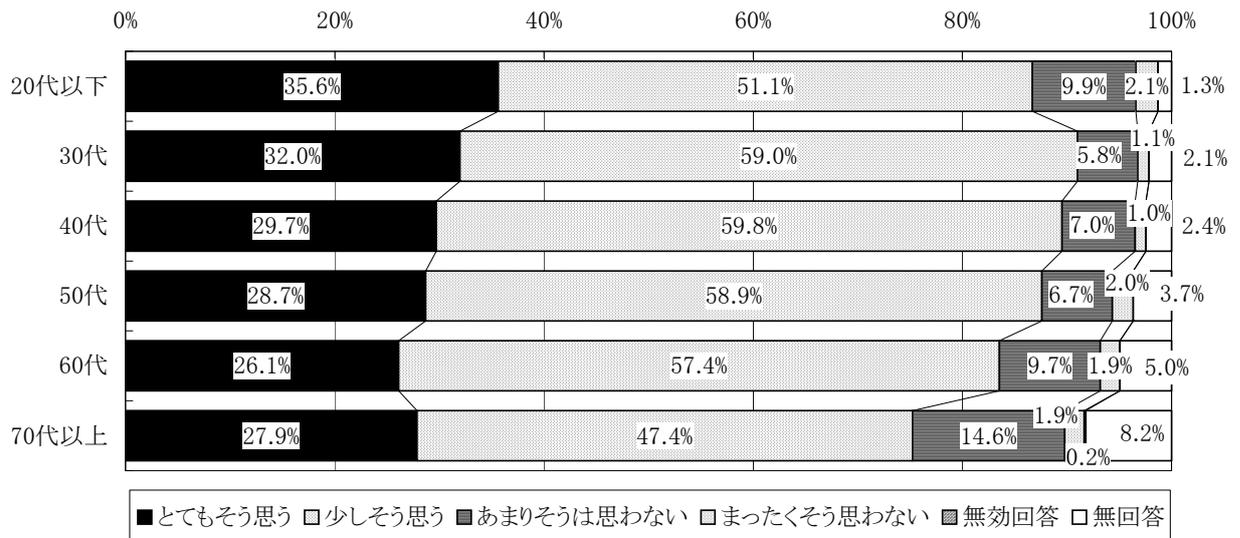
・「計画づくりへの参加は時間や手間がかかり大変だと思いますか」という問いに対して「とてもそう思う」と回答した割合は 28.9%、「少しそう思う」を合わせると 84.9%を占めている。

【市町別】



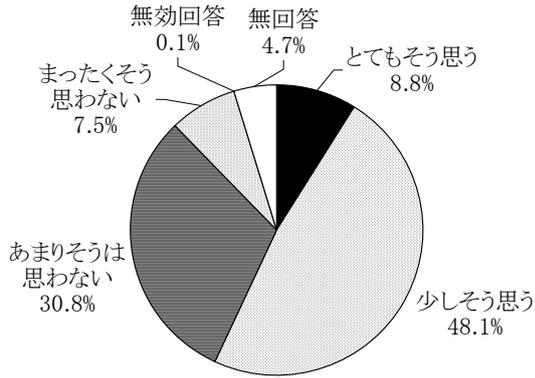
・市町別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は、四日市市の 34.7%をはじめ、多くの市町で 30%前後となっている中で、菰野町は 21.8%とやや低い。
 ・「少しそう思う」を合わせると、すべての市町で 80%を超えており、桑名市 90.5%、津市 89.0%、名張市 88.9%、四日市市 88.1%などは約 90%を占めている。

【年齢別】



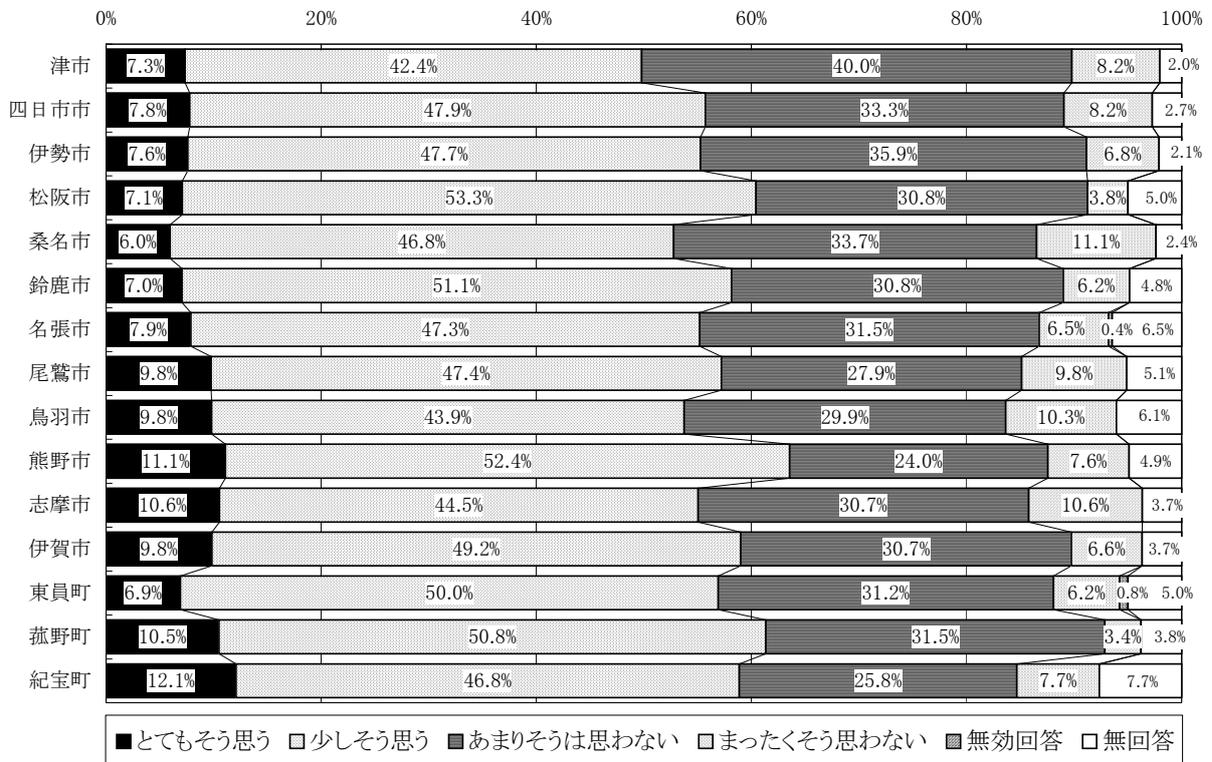
- 年齢別に見ると、「最もそう思う」と回答した割合は若い世代ほど高い傾向にある。
- 「少しそう思う」を合わせると、30代で91.0%を占めているのに対して、70代以上では75.3%にとどまっている。

(6)今後、このような計画作りに住民参加の機会があった場合、あなたは参加したいですか？(○は1つ)



・「計画づくりに参加したいか」という問いに対して「とてもそう思う」と回答した割合は8.8%であるが、「少しそう思う」を合わせると56.9%と過半数を占めている。

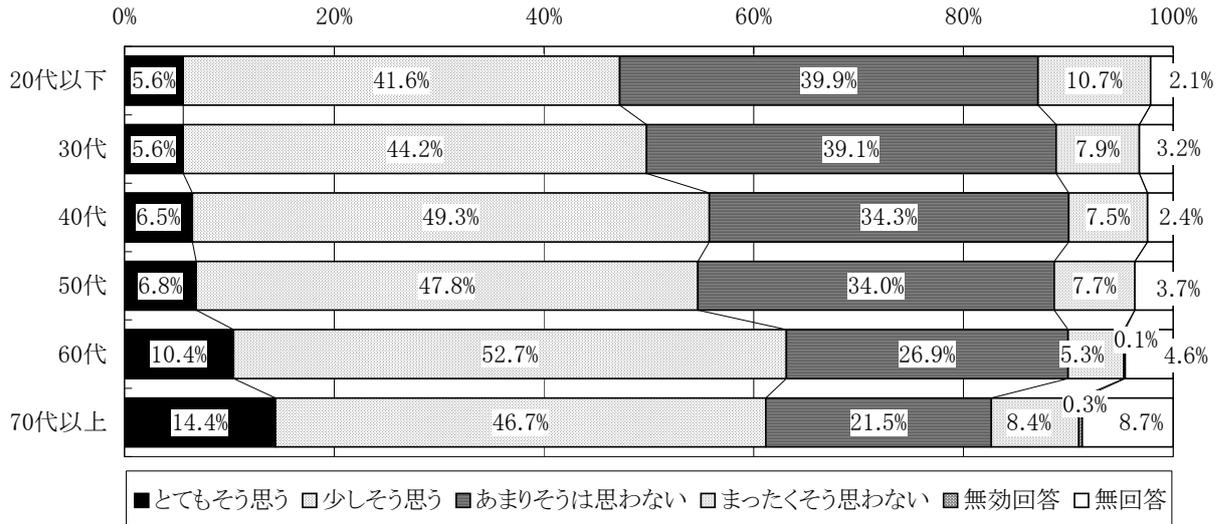
【市町別】



■とてもそう思う □少しそう思う ■あまりそうは思わない □まったくそう思わない ■無効回答 □無回答

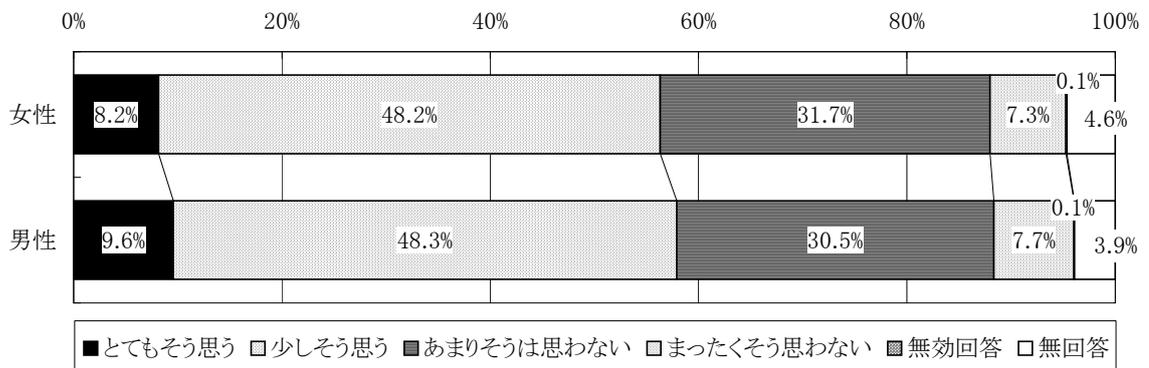
- ・市町別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は、どの市町でも10%前後、またはそれ以下にとどまっている。
- ・「少しそう思う」を合わせると、ほとんどの市町で50%を上回っており、熊野市63.5%、菰野町61.3%、松阪市60.4%では60%を超えている。
- ・しかし、津市では、「とてもそう思う」、「少しそう思う」を合わせた割合と、「あまりそうは思わない」、「まったくそう思わない」を合わせた割合がほぼ同じになっている。

【年齢別】



- 年齢別に見ると、「とてもそう思う」と回答した割合は高齢者層ほど高い傾向にあるが、最も高い 70 代以上でも 14.4%にとどまっている。
- 「少しそう思う」を合わせると、60 代以上の高齢者層では 60%以上を占めているのに対して、30 代以下の若い世代では 50%をやや下回っており、特に 20 代以下では「あまりそうは思わない」、「まったくそう思わない」を合わせた割合のほうが高くなっている。

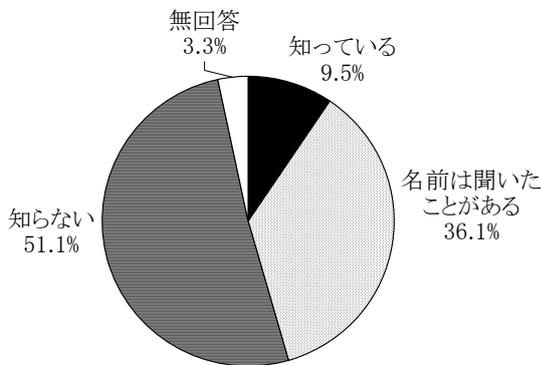
【性別】



- 男女別に見ると、「とてもそう思う」、「少しそう思う」を合わせた割合は男性のほうがやや高いものの、男女間での大きな差は見られない。

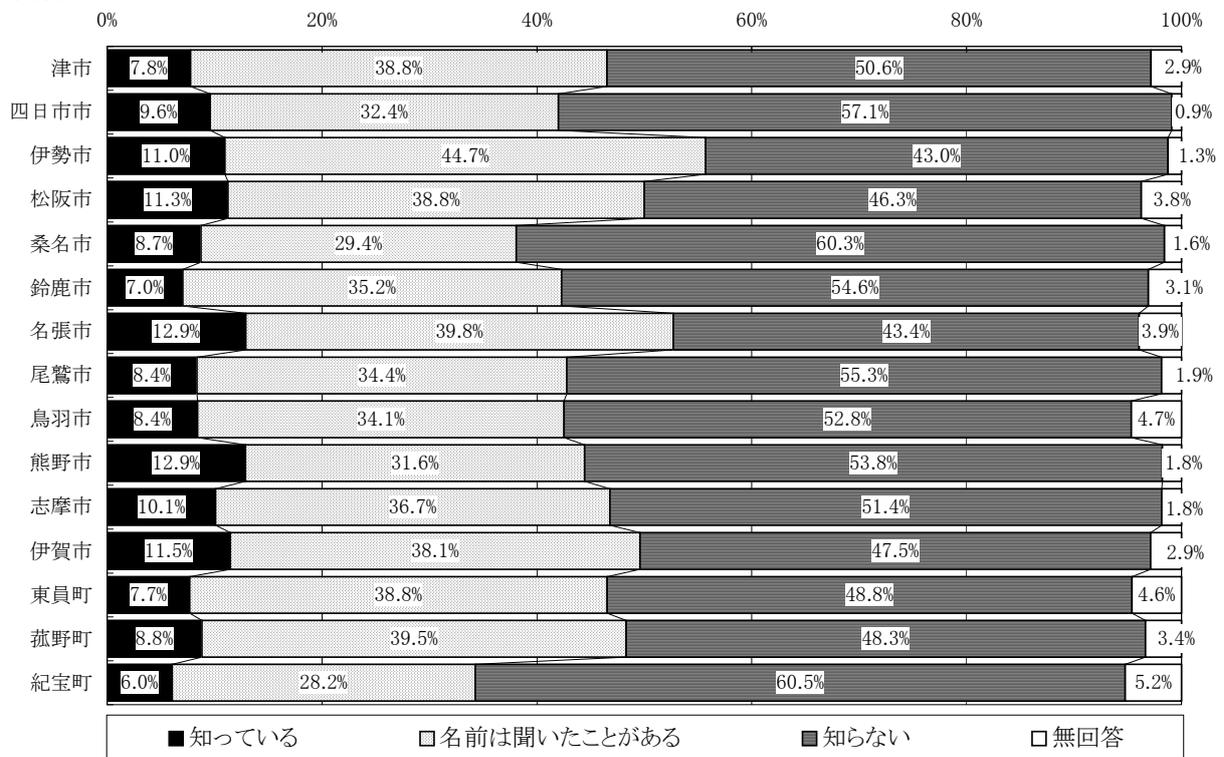
◎ 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」についてお聞きします。

問 27 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」をご存じですか？(○は1つ)【回答者数:3,682】



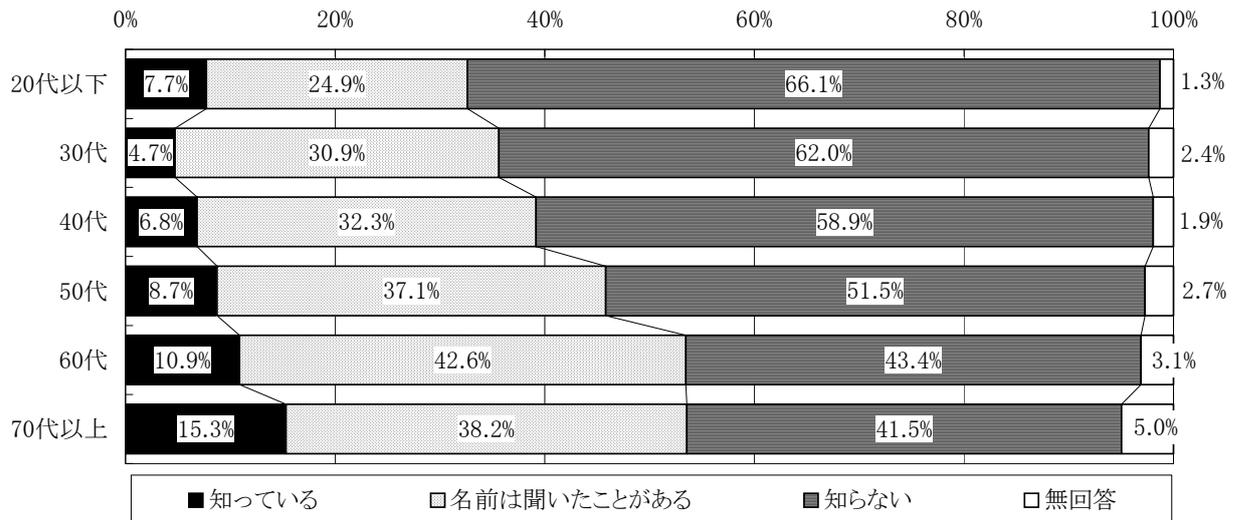
- ・「三重県の『ごみゼロ社会実現プラン』を知っているか」という問いに対して、最も高いのは「知らない」で51.1%と約半数を占めている。
- ・「知っている」は9.5%、「名前を聞いたことがある」は36.1%となっている。

【市町別】



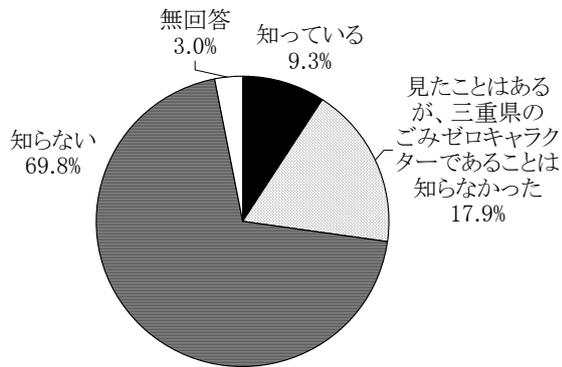
- ・市町別に見ると、「ごみゼロ社会実現プラン」を「知っている」と回答した割合は、どの市町も10%前後、またはそれ以下にとどまっている。
- ・「名前を聞いたことがある」を合わせても、伊勢市55.7%、名張市52.7%、松阪市50.1%のほかはいずれも50%を下回っており、特に紀宝町34.2%、桑名市38.1%で低くなっている。

【年齢別】



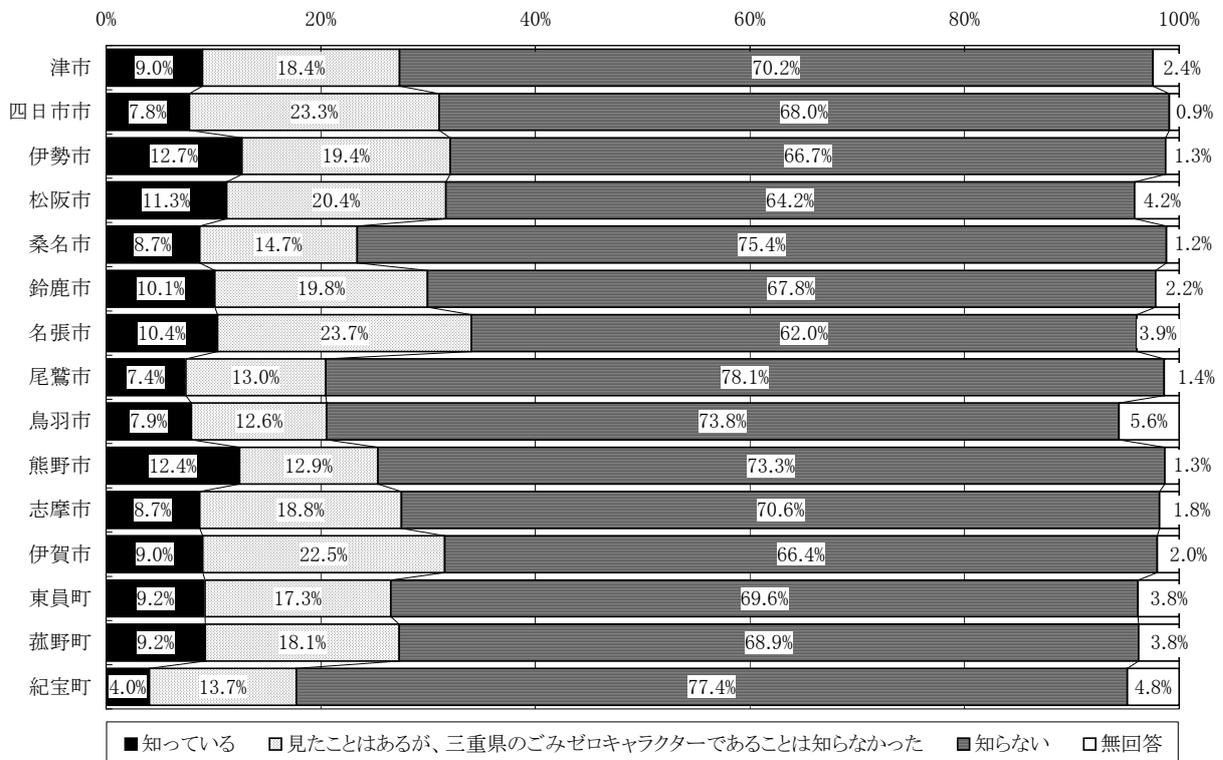
- 年齢別に見ると、「ごみゼロ社会実現プラン」を「知っている」と回答した割合は高齢者層ほど高い傾向にあるが、最も高い70代以上でも15.3%にとどまっている。
- 「名前は聞いたことがある」を合わせると、60代以上の高齢者層で50%以上となっているのに対し、若い世代ほど低く、20代以下では32.6%にとどまっている。

問 28 この三重県のごみゼロキャラクターをご存じですか？(○は1つ)【回答者数:3,682】



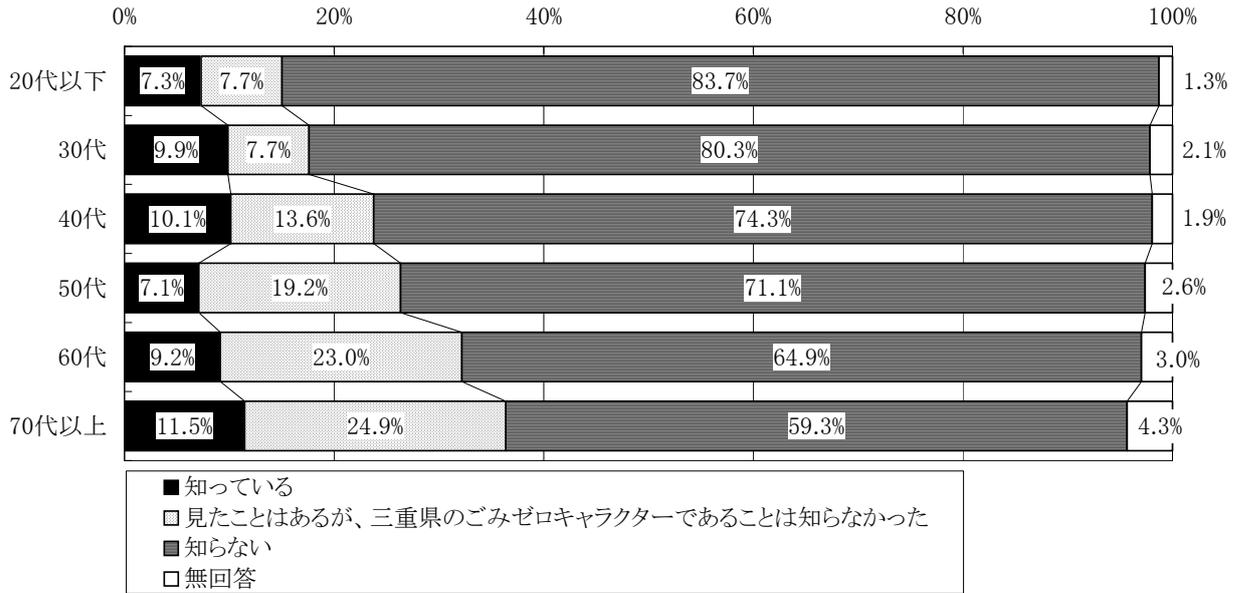
・ 三重県のごみゼロキャラクターについては、「知らない」と回答した割合が69.8%を占めており、「知っている」は9.3%にとどまっている。

【市町別】



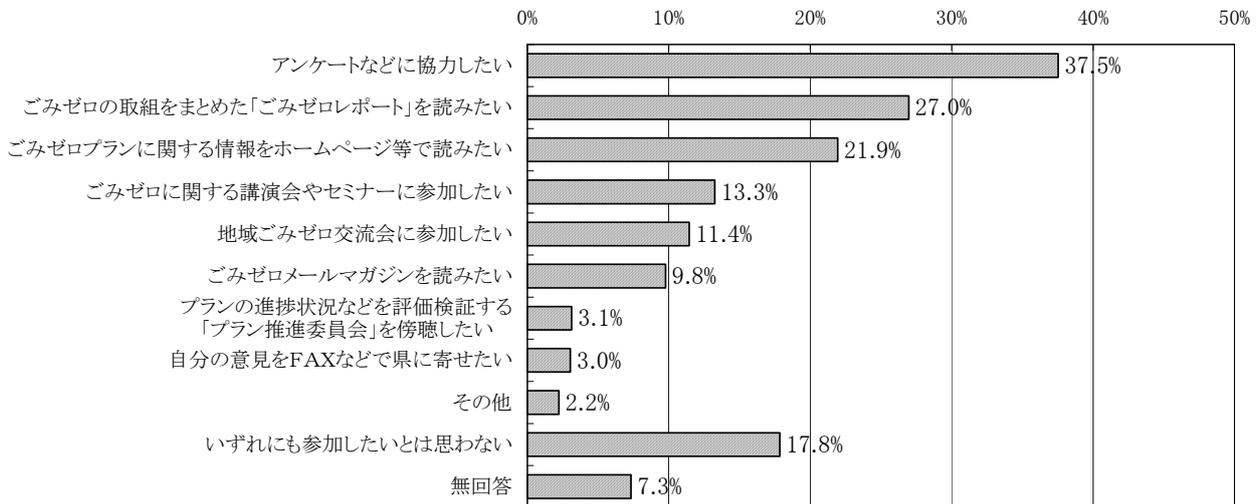
・ 市町別に見ると、三重県のごみゼロキャラクターについて「知らない」と回答した割合がすべての市町で 60%以上を占めており、尾鷲市 78.1%、紀宝町 77.4%、桑名市 75.4%、鳥羽市 73.8%、熊野市 73.3%などでは 70%を超えている。

【年齢別】



- 年齢別に見ると、三重県のごみゼロキャラクターについて「知らない」と回答した割合は若い世代ほど高く、20代以下と30代では80%を超えている。

問 29 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」に関する県民参画の取り組みに参加したいと思いますか？
(○は当てはまるものすべて)【回答者数:3,682】



- 「三重県の『ごみゼロ社会実現プラン』に関する取り組みに参加したいか」という問いに対して、最も高い割合を示しているのは「アンケートなどに協力したい」で37.5%を占めている。
- 次いで、「ごみゼロの取組をまとめた『ごみゼロレポート』を読みたい」27.0%、「ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい」21.9%と続いている。
- 「いずれにも参加したいとは思わない」は17.8%である。

【市町別】

(単位:%)

	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	鳥羽市	熊野市	志摩市	伊賀市	東員町	菟野町	紀宝町	無効回答	無回答	総計
アンケートなどに協力したい	41.2	36.5	35.0	40.4	38.1	38.3	35.1	37.7	38.3	34.7	42.2	36.5	41.2	33.6	35.5	33.3	35.6	37.5
ごみゼロの取組をまとめた「ごみゼロレポート」を読みたい	28.6	30.6	29.1	32.9	29.8	29.5	28.0	27.0	17.8	24.9	28.4	24.2	27.7	24.4	25.8	66.7	16.1	27.0
ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい	29.0	27.4	22.4	27.5	20.6	23.3	21.5	16.7	16.8	18.2	17.4	21.7	24.2	29.4	14.1	66.7	16.1	21.9
ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい	12.2	14.2	13.5	14.6	11.9	10.6	15.1	13.0	11.2	14.2	16.1	15.2	8.8	12.6	15.7	33.3	12.7	13.3
地域ごみゼロ交流会に参加したい	8.6	13.2	12.2	11.7	7.9	10.1	13.3	11.2	9.8	14.2	13.3	12.3	7.7	12.2	12.5	33.3	14.4	11.4
ごみゼロメールマガジンを読みたい	14.3	6.8	8.4	12.5	12.3	9.7	8.2	7.4	7.0	12.9	10.6	7.0	11.2	8.4	10.1	0.0	8.5	9.8
プランの進捗状況などを評価検証する「プラン推進委員会」を傍聴したい	3.7	1.4	2.1	2.9	2.4	3.5	3.9	2.8	2.3	3.6	2.8	6.1	3.1	3.8	1.6	0.0	4.2	3.1
自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	4.1	3.7	2.5	3.8	3.6	3.5	3.6	0.9	4.7	1.8	3.2	1.6	2.3	4.2	1.6	33.3	3.4	3.0
その他	2.0	1.8	2.5	0.4	2.0	0.4	2.2	2.3	4.2	2.7	2.8	1.2	3.5	1.3	3.2	0.0	4.2	2.2
いずれにも参加したいとは思わない	15.1	17.8	21.1	10.4	22.6	23.8	17.2	19.5	21.0	19.1	15.6	19.3	16.2	16.4	15.7	0.0	13.6	17.8
無回答	5.7	5.0	3.4	7.5	6.3	5.7	8.2	7.4	10.3	8.4	6.4	6.6	5.8	8.4	10.5	0.0	16.1	7.3
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 市町別に見ると、どの市町も最も高いのは「アンケートなどに協力したい」で、志摩市42.2%、津市41.2%、東員町41.2%、松阪市40.4%など、多くの市町で40%前後を占めている。
- ・ 次に高いのは、「ごみゼロの取組をまとめた『ごみゼロレポート』を読みたい」、「ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい」となっている。
- ・ 鈴鹿市、桑名市、伊勢市、鳥羽市などでは「いずれにも参加したいとは思わない」が20%以上を占めている。

【年齢別】

(単位:%)

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無効回答	無回答	総計
アンケートなどに協力したい	44.6	40.6	36.7	37.9	38.6	32.4	0.0	33.9	37.5
ごみゼロの取組をまとめた「ごみゼロレポート」を読みたい	24.9	24.2	28.3	26.8	31.3	24.9	0.0	17.4	27.0
ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい	30.5	33.7	30.9	21.8	13.1	14.2	0.0	18.3	21.9
ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい	6.4	9.0	11.2	11.9	17.9	16.6	0.0	12.8	13.3
地域ごみゼロ交流会に参加したい	6.9	5.8	7.2	9.1	16.5	17.0	0.0	15.6	11.4
ごみゼロメールマガジンを読みたい	11.2	12.9	14.3	11.7	5.6	5.7	0.0	10.1	9.8
プランの進捗状況などを評価検証する「プラン推進委員会」を傍聴したい	1.7	4.9	2.6	2.6	3.0	3.4	0.0	4.6	3.1
自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	4.3	5.8	3.5	2.6	1.9	2.3	0.0	2.8	3.0
その他	0.9	1.7	2.1	1.9	2.5	3.1	0.0	3.7	2.2
いずれにも参加したいとは思わない	17.6	17.2	15.9	19.4	17.1	19.3	100.0	15.6	17.8
無回答	3.4	3.4	4.9	5.7	7.5	13.9	0.0	17.4	7.3
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 年齢別に見ると、「アンケートなどに協力したい」、「ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい」は、若い世代ほど高い傾向にある。
- ・ 「地域ごみゼロ交流会に参加したい」や「ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい」は、高齢者層のほうがやや高い。

【性別】

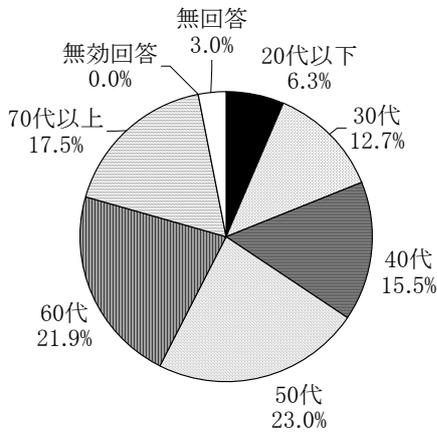
(単位:%)

	女性	男性	無効回答	無回答	総計
アンケートなどに協力したい	36.1	39.8	0.0	36.1	37.5
ごみゼロの取組をまとめた「ごみゼロレポート」を読みたい	27.4	27.2	0.0	17.2	27.0
ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい	22.2	22.0	50.0	15.6	21.9
ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい	12.0	15.0	0.0	13.9	13.3
地域ごみゼロ交流会に参加したい	10.4	12.5	0.0	17.2	11.4
ごみゼロメールマガジンを読みたい	9.9	9.7	0.0	9.0	9.8
プランの進捗状況などを評価検証する「プラン推進委員会」を傍聴したい	2.1	4.4	0.0	4.9	3.1
自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	2.2	4.1	0.0	4.9	3.0
その他	2.5	1.8	0.0	3.3	2.2
いずれにも参加したいとは思わない	17.7	18.3	50.0	13.1	17.8
無回答	7.5	6.1	0.0	19.7	7.3
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 男女別に見ると、「アンケートなどに協力したい」は男性のほうがやや高い。

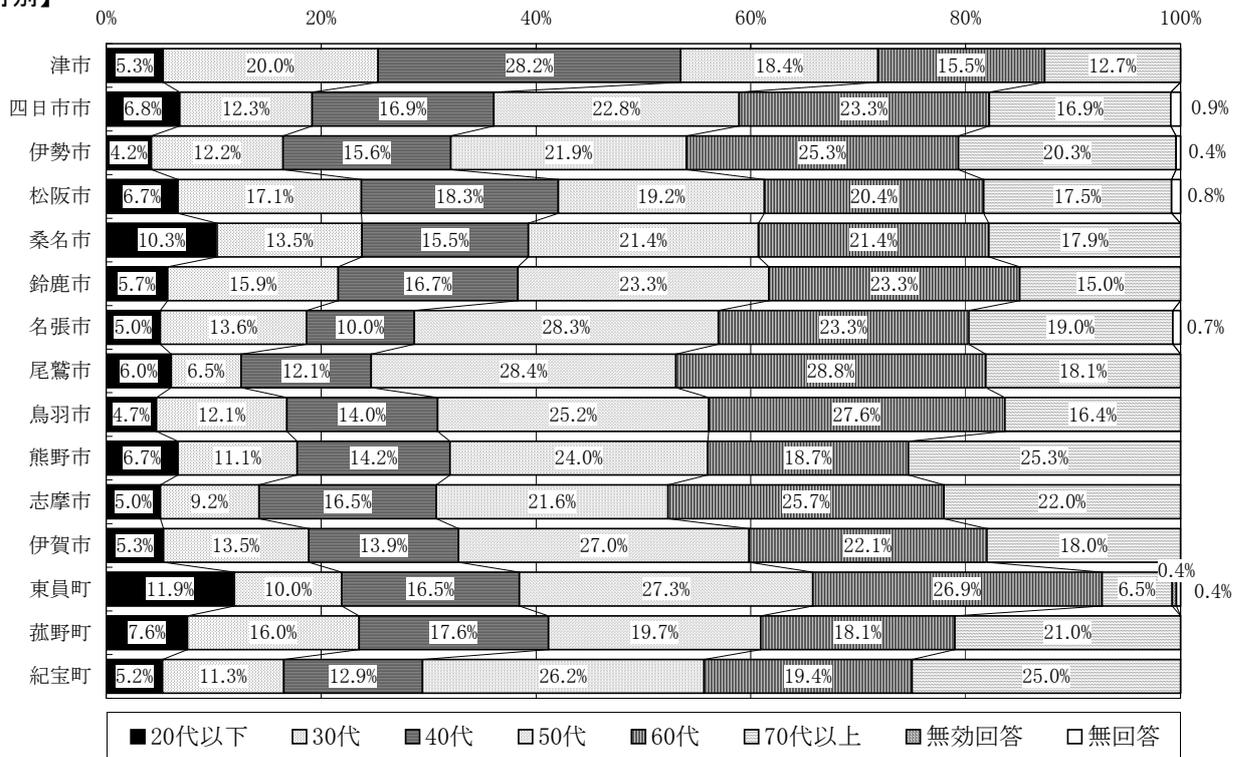
◎ あなた自身や世帯についてお聞きします。

問 30 あなたの年齢は？(○は1つ)【回答者数:3,682】



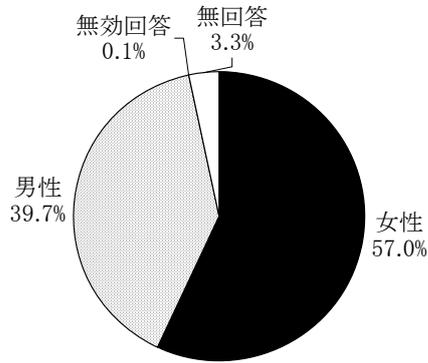
・「50代」が23.0%と最も高く、以下、「60代」21.9%、「70代以上」17.5%、「40代」15.5%、「30代」12.7%、「20代以下」6.3%の順となっている。

【市町別】



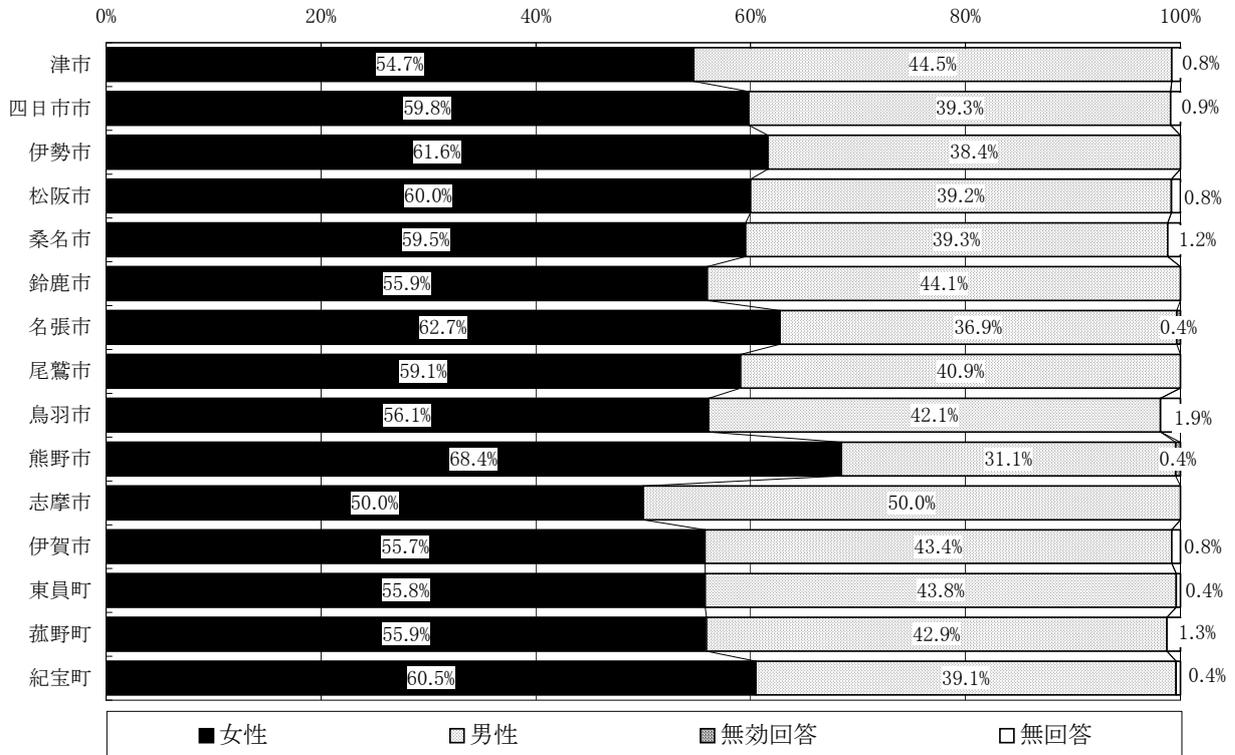
- ・市町別に見ると、「20代以下」が比較的高いのは東員町と桑名市で、それぞれ11.9%、10.3%となっている。
- ・「20代以下」、「30代」、「40代」を合わせた割合が高いのは、津市53.5%、松阪市42.1%、菰野町41.2%などである。
- ・「50代」、「60代」、「70代以上」を合わせた割合が高いのは、尾鷲市75.3%、名張市70.6%、紀宝町70.6%、志摩市69.3%、鳥羽市69.2%、熊野市68.0%となっている。

問 31 あなたの性別は？(○は1つ)【回答者数:3,682】



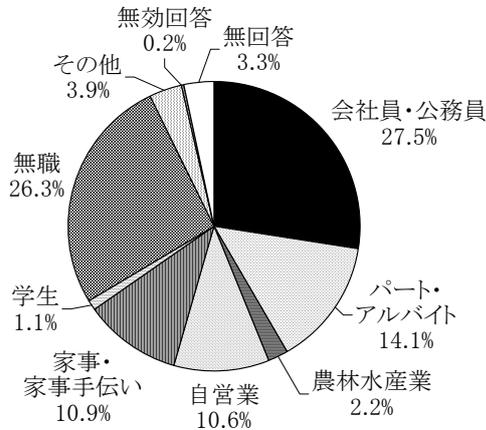
・ 「女性」が 57.0%、「男性」が 39.7%となっている。

【市町別】



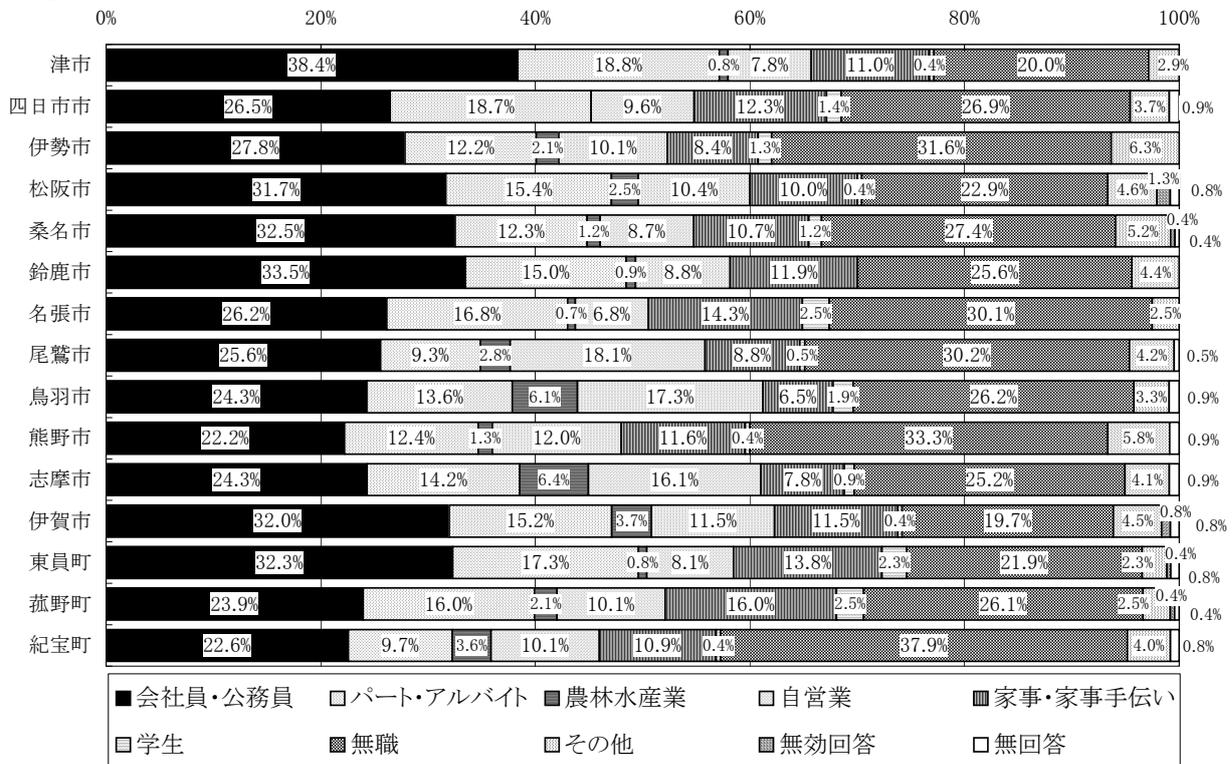
- ・ 市町別に見ると、どの市町も「女性」による回答のほうが高く、特に熊野市68.4%、名張市62.7%、伊勢市61.6%、紀宝町60.5%、松阪市60.0%では60%を超えている。
- ・ 一方、「男性」による回答が比較的高いのは志摩市で、「女性」と「男性」の構成比が50%ずつとなっている。

問 32 あなたのお仕事は？(○は1つ)【回答者数:3,682】



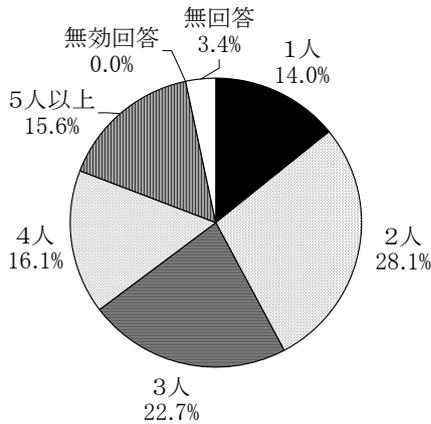
・ 「会社員・公務員」が 27.5%と最も高く、以下、「無職」26.3%、「パート・アルバイト」14.1%、「家事・家事手伝い」10.9%、「自営業」10.6%の順になっている。

【市町別】



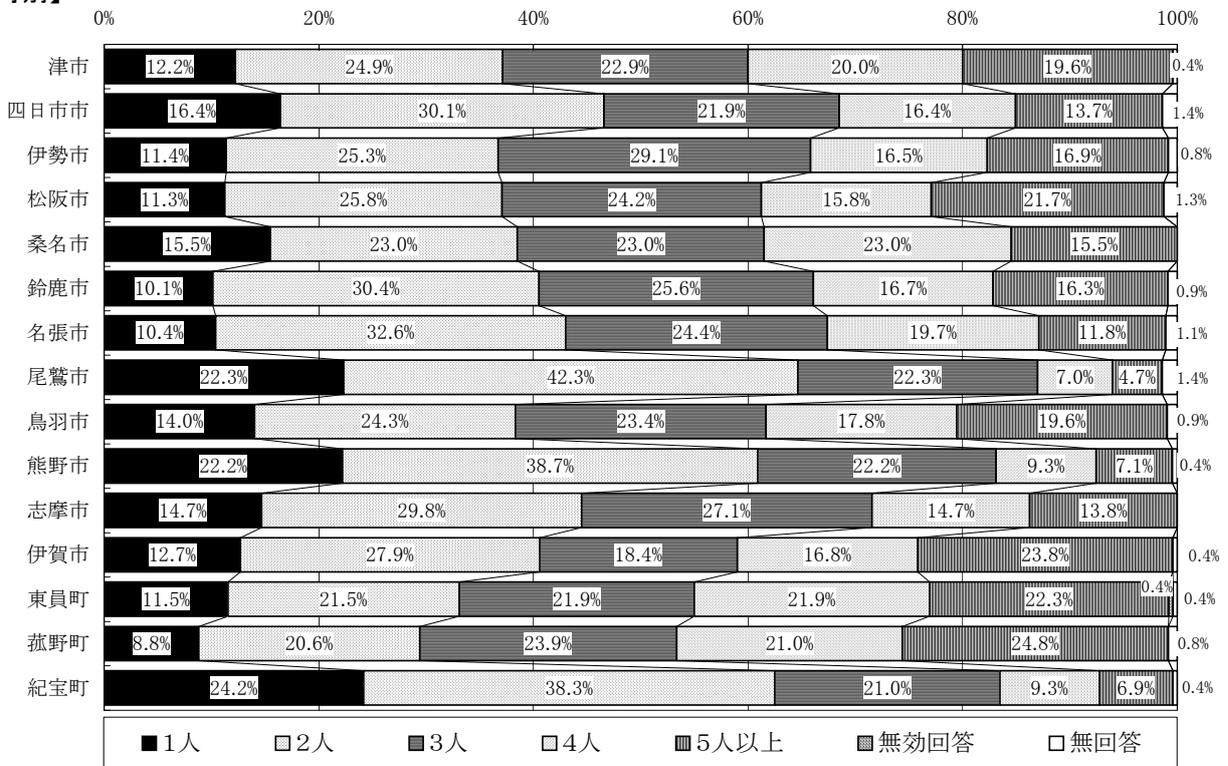
・ 市町別に見ると、「会社員・公務員」の割合は津市 38.4%、鈴鹿市 33.5%、桑名市 32.5%、東員町 32.3%、伊賀市 32.0%などで比較的高く、「無職」の割合は紀宝町 37.9%、熊野市 33.3%などで高い。

問 33 いっしょに住んでいる家族の人数は？(○は1つ)【回答者数:3,682】



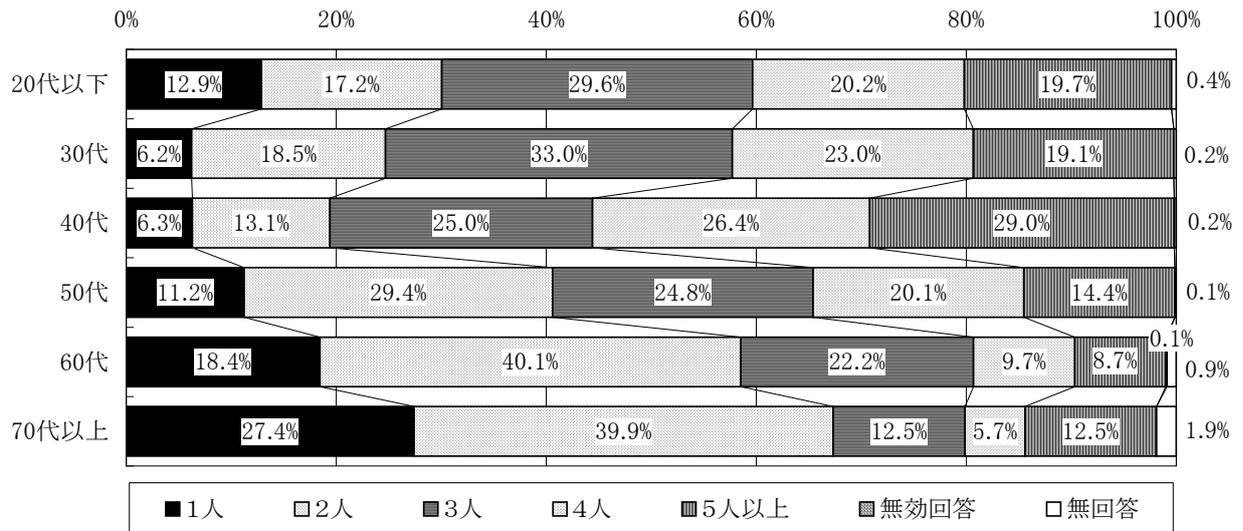
・ 世帯人数は「2人」が最も高く 28.1%を占めており、以下、「3人」22.7%、「4人」16.1%、「5人以上」15.6%、「1人」14.0%の順になっている。

【市町別】



・ 市町別に見ると、「1人」と「2人」を合わせた割合は、尾鷲市 64.6%、紀宝町 62.5%、熊野市 60.9%で高く、逆に「3人」、「4人」、「5人以上」を合わせた割合は、菰野町 69.7%、東員町 66.1%、津市 62.5%、伊勢市 62.5%などで高い。

【年齢別】



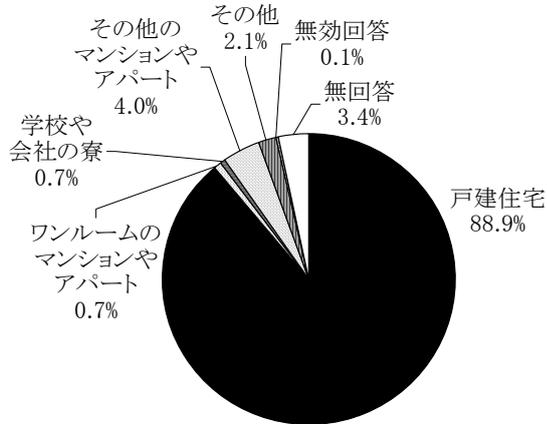
- 年齢別に見ると、40代以下では「3人」、「4人」、「5人以上」を合わせた割合が高く、特に40代では80.4%を占めている。
- 「1人」、「2人」を合わせた割合は高齢者層ほど高い。

問 34 お住まいの市町は？(○は、市町名の数字に1つ、市町村合併があった市町の方は旧市町村名のアルファベットにも1つ)【回答者数:3,682】

	回答数	比率
津市	245	6.7%
旧津市	92	2.5%
旧久居市	34	0.9%
旧河芸町	17	0.5%
旧芸濃町	11	0.3%
旧美里村	3	0.1%
旧安濃町	13	0.4%
旧香良洲町	9	0.2%
旧一志町	13	0.4%
旧白山町	12	0.3%
旧美杉村	8	0.2%
旧市町不明	33	0.9%
四日市市	219	5.9%
旧四日市市	129	3.5%
旧桶町	6	0.2%
旧市町不明	84	2.3%
伊勢市	237	6.4%
旧伊勢市	130	3.5%
旧二見町	15	0.4%
旧小俣町	27	0.7%
旧御園村	18	0.5%
旧市町不明	47	1.3%
松阪市	240	6.5%
旧松阪市	121	3.3%
旧嬉野町	33	0.9%
旧三雲町	18	0.5%
旧飯南町	5	0.1%
旧飯高町	7	0.2%
旧市町不明	56	1.5%
桑名市	252	6.8%
旧桑名市	142	3.9%
旧多度町	19	0.5%
旧長島町	35	1.0%
旧市町不明	56	1.5%
鈴鹿市	227	6.2%
名張市	279	7.6%
尾鷲市	215	5.8%
鳥羽市	214	5.8%
熊野市	225	6.1%
旧熊野市	143	3.9%
旧紀和町	23	0.6%
旧市町不明	59	1.6%
志摩市	218	5.9%
旧浜島町	21	0.6%
旧大王町	27	0.7%
旧志摩町	55	1.5%
旧阿児町	71	1.9%
旧磯部町	32	0.9%
旧市町不明	12	0.3%
伊賀市	244	6.6%
旧上野市	135	3.7%
旧伊賀町	24	0.7%
旧島ヶ原村	9	0.2%
旧阿山町	23	0.6%
旧大山田村	13	0.4%
旧青山町	29	0.8%
旧市町不明	11	0.3%
東員町	260	7.1%
菰野町	238	6.5%
紀宝町	248	6.7%
旧紀宝町	144	3.9%
旧鶴殿村	85	2.3%
旧市町不明	19	0.5%
無効回答	3	0.1%
無回答	118	3.2%
総計	3682	100.0%

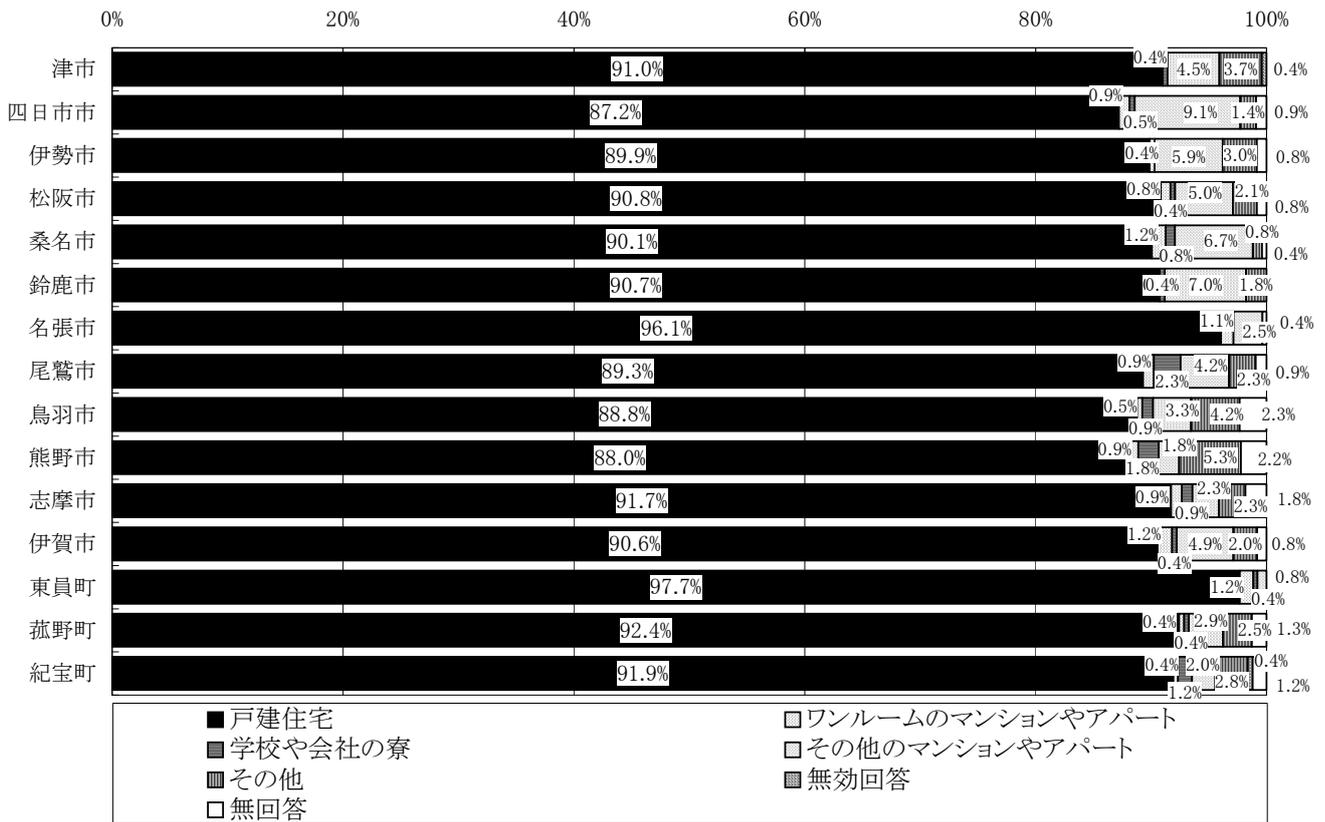
・ 各市町とも 5%~7% 台となっている。

問 35 お住まいの形態は？(○は1つ)【回答者数:3,682】



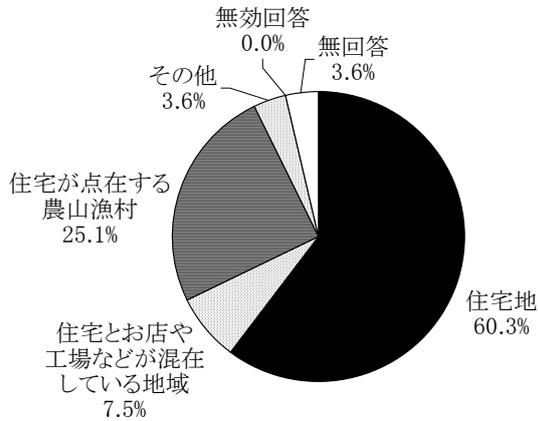
・「戸建住宅」の割合が最も高く、88.9%を占めている。

【市町別】



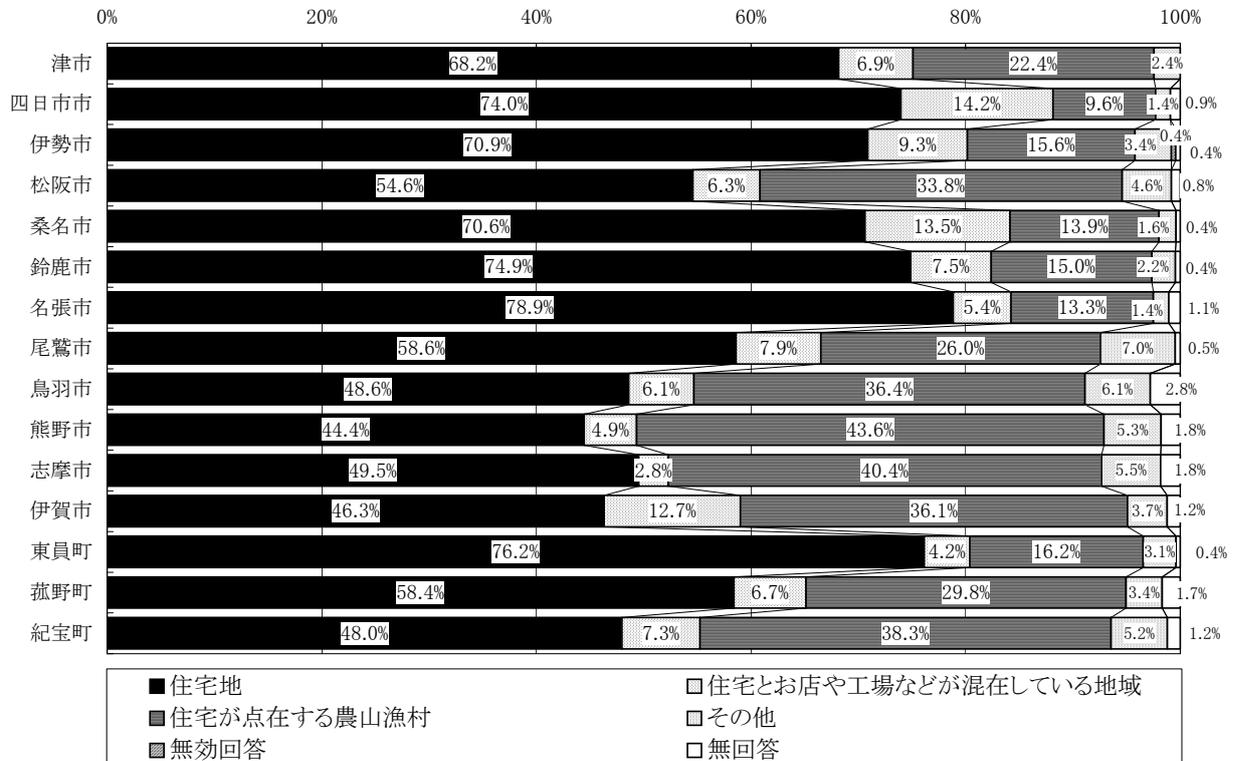
・市町別に見ると、どの市町も「戸建住宅」の割合が大半を占めており、特に東員町97.7%、名張市96.1%で高い。
 ・四日市市では、他の市町に比べて「その他のマンションやアパート」の割合がやや高い。

問 36 お住まいの周辺の様子は？(○は1つ)【回答者数:3,682】



・「住宅地」の割合が最も高く 60.3%を占めており、「住宅が点在する農山漁村」の 25.1%がこれに続いている。

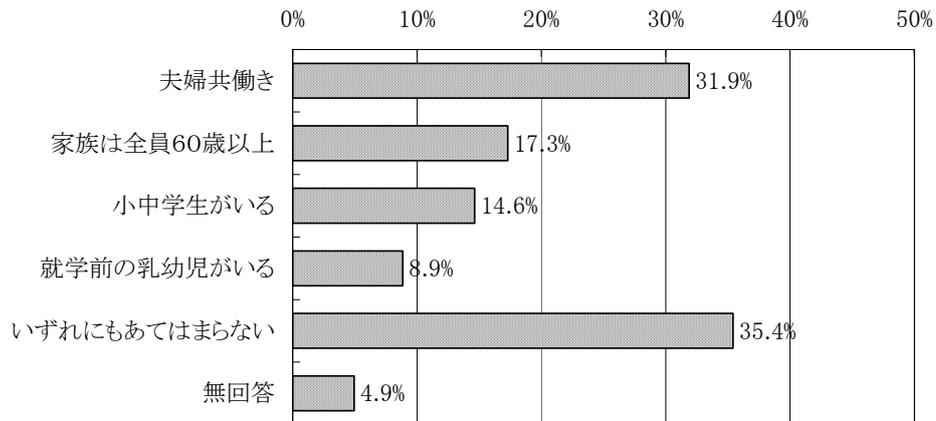
【市町別】



・ 市町別に見ると、「住宅地」と回答した割合が高いのは、名張市 78.9%、東員町 76.2%、鈴鹿市 74.9%、四日市市 74.0%などで、いずれも 70%を超えている。これに対して、「住宅地」の割合が低いのは、熊野市 44.4%、伊賀市 46.3%、紀宝町 48.0%、鳥羽市 48.6%、志摩市 49.5%で、いずれも 50%を下回っている。これらの市町では、「住宅が点在する農山漁村」の割合が比較的高くなっている。

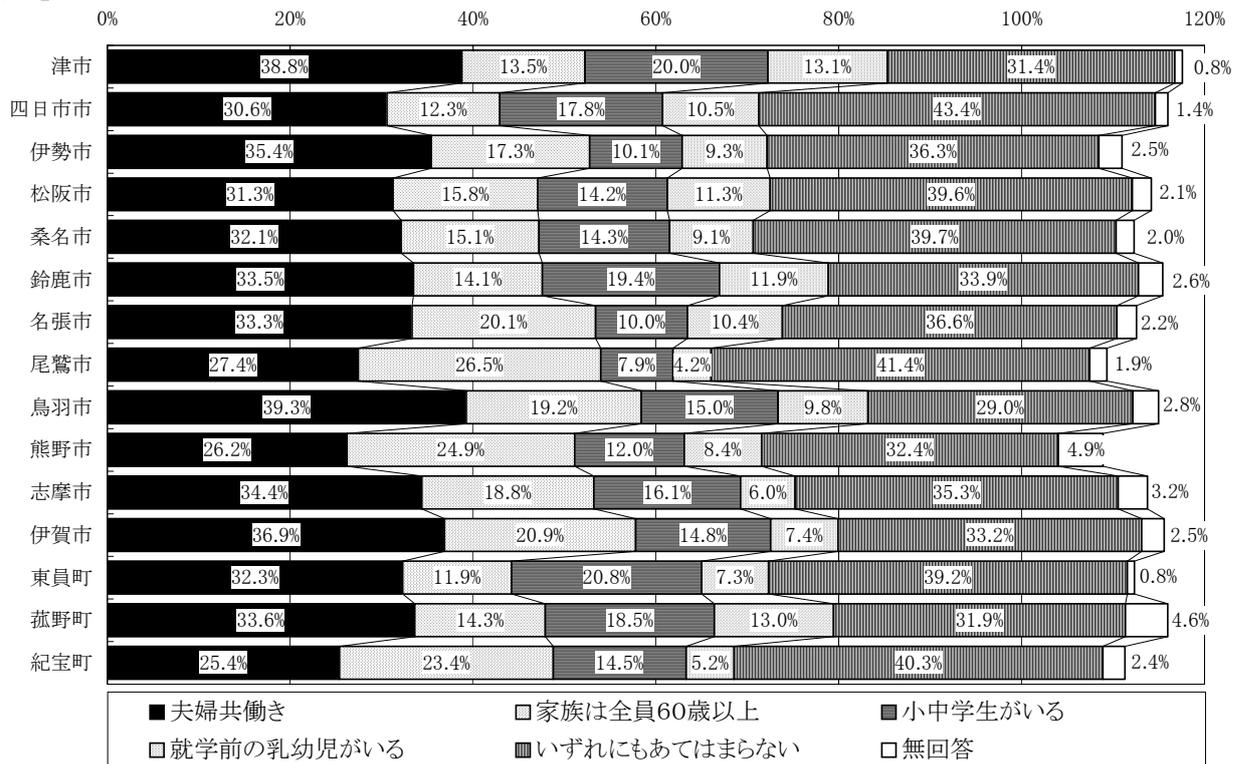
・ 四日市市、桑名市、伊賀市では、「住宅とお店や工場などが混在している地域」の割合が他市町に比べてやや高い。

問 37 次のうち、あなたの家庭にあてはまることはありますか？(○は当てはまるものすべて)【回答者数:3,682】



・「夫婦共働き」31.9%、「家族は全員 60 歳以上」17.3%、「小中学生がいる」14.6%、「就学前の乳幼児がいる」8.9%の順となっている。

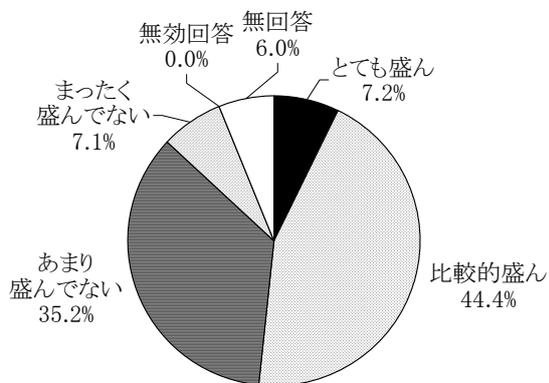
【市町別】



・市町別に見ると、「夫婦共働き」の割合が高いのは鳥羽市 39.3%、津市 38.8%、伊賀市 36.9%、伊勢市 35.4%などで、「家族は全員 60 歳以上」の割合が比較的高いのは、尾鷲市 26.5%、熊野市 24.9%、紀宝町 23.4%などである。

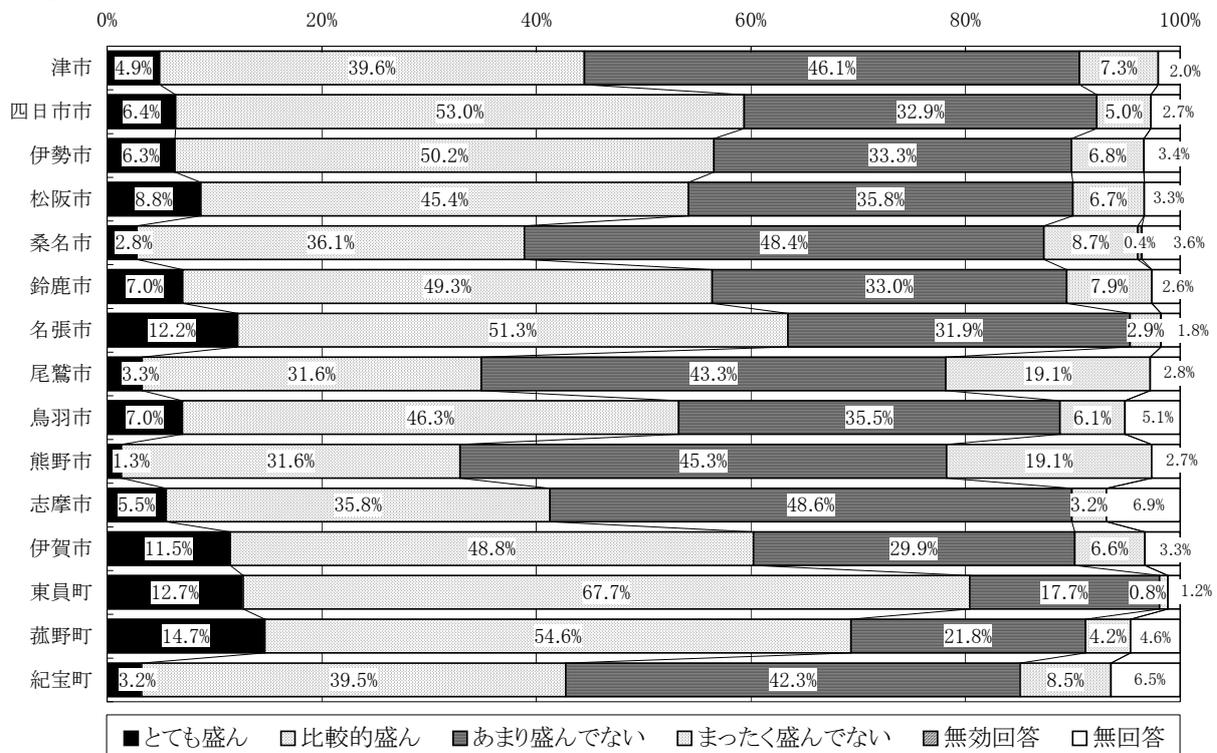
問 38 あなたの住んでいる地域では、自治会や子供会などの地域活動は盛んですか？(○は1つ)

【回答者数:3,682】



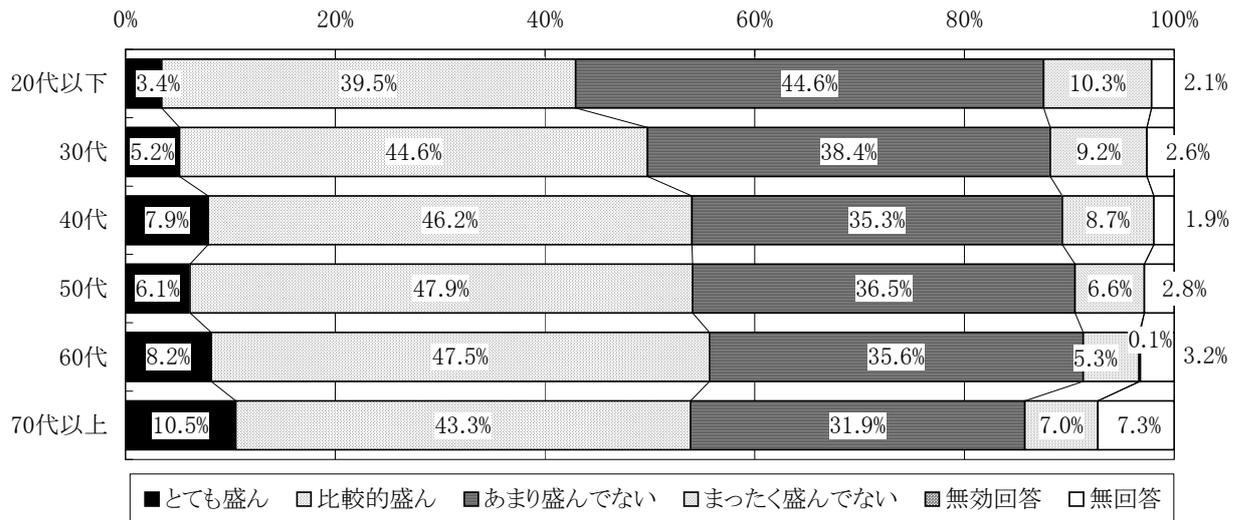
・ 地域活動について、「とても盛ん」は 7.2%にとどまっているが、「比較的盛ん」を合わせると51.6%と約半数を占めており、「あまり盛んでない」、「まったく盛んでない」を合わせた42.3%を上回っている。

【市町別】



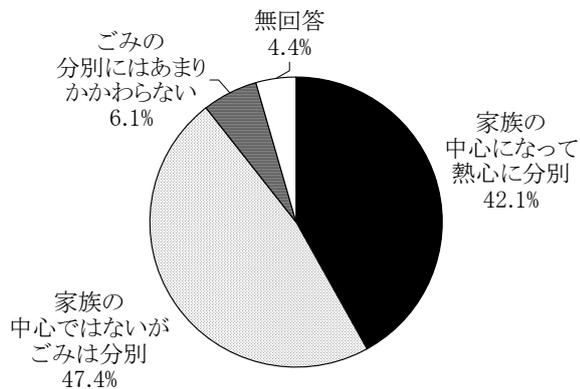
・ 市町別に見ると、「とても盛ん」、「比較的盛ん」を合わせた割合が高いのは、東員町 80.4%、菰野町 69.3%、名張市 63.5%、伊賀市 60.3%などで、逆に「あまり盛んでない」、「まったく盛んでない」を合わせた割合が高いのは、熊野市 64.4%、尾鷲市 62.4%、桑名市 57.1%などである。

【年齢別】



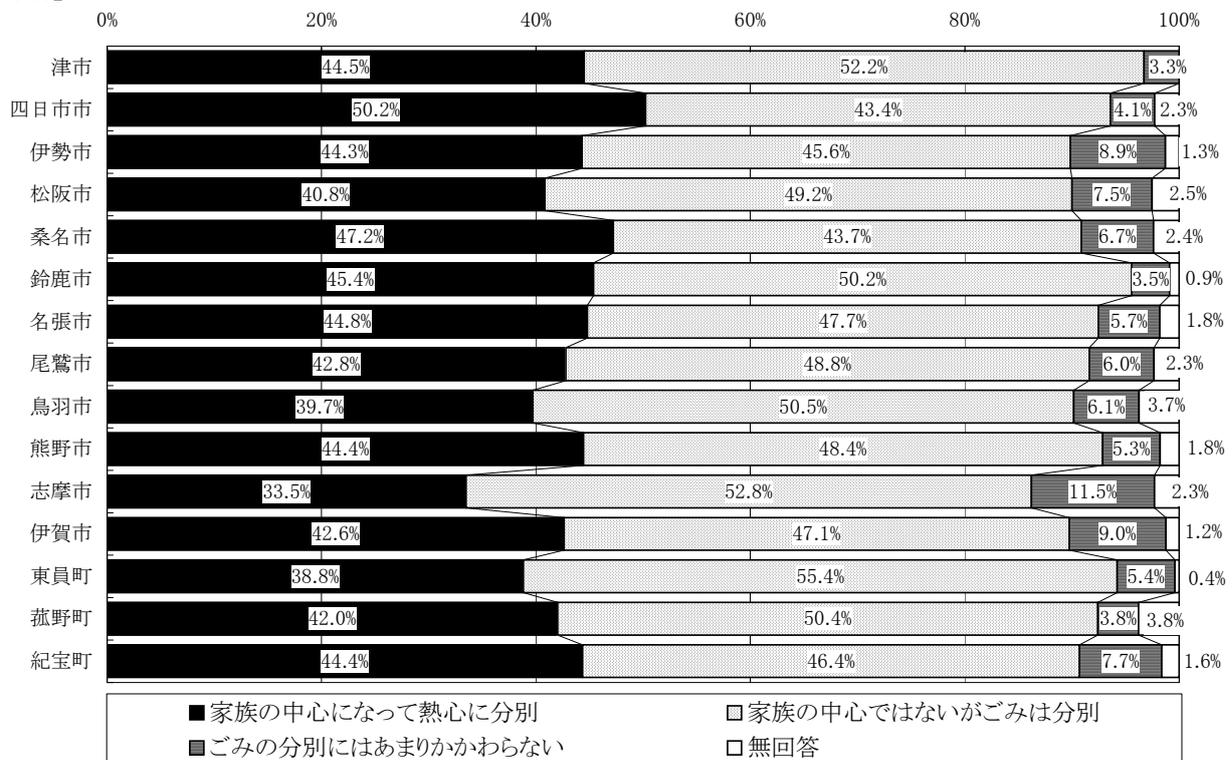
- 年齢別に見ると、「とても盛ん」、「比較的盛ん」を合わせた割合は、30代以下の若い世代でやや低い。

問 39 あなた自身は家庭でごみの分別にどうかかかわっていますか？(○は1つ)【回答者数:3,682】



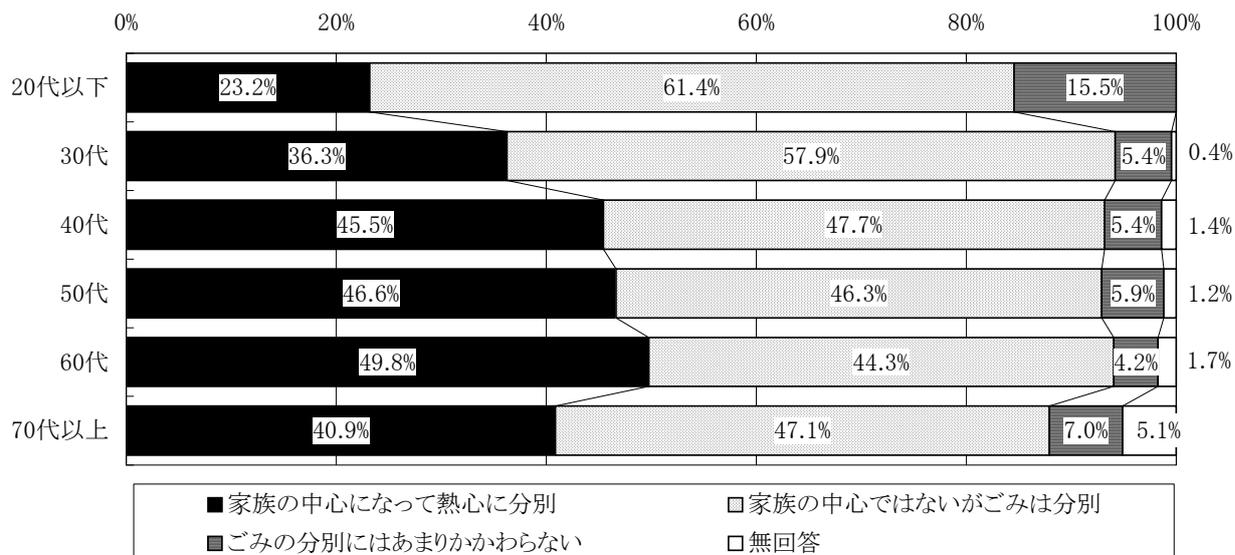
- ・ 「家族の中心ではないがごみは分別」が 47.4%と最も高く、次いで「家族の中心になって熱心に分別」が 42.1%で続いている。
- ・ 「ごみの分別にはあまりかかわらない」は 6.1%にとどまっている。

【市町別】



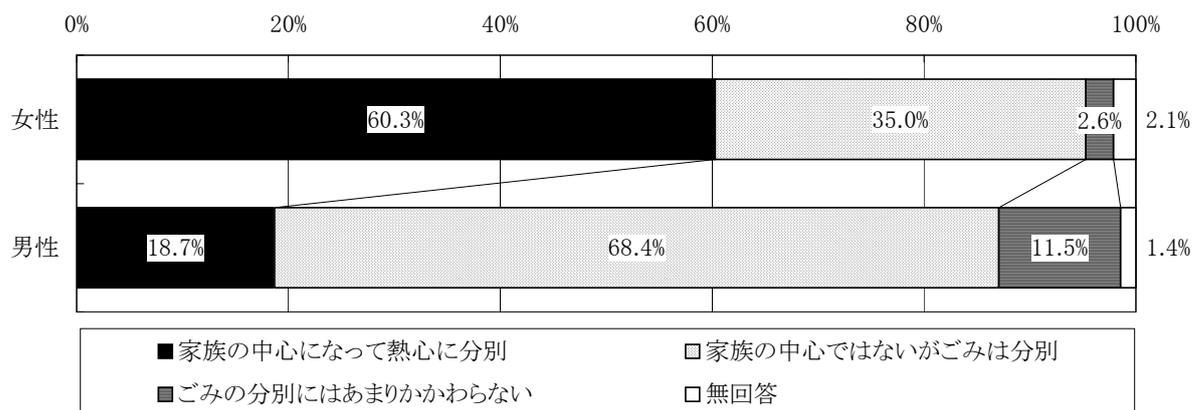
- ・ 市町別に見ると、「家族の中心になって熱心に分別」の割合が比較的高いのは、四日市市 50.2%、桑名市 47.2%であり、逆に低いのは志摩市 33.5%などである。

【年齢別】



- 年齢別に見ると、「家族の中心になって熱心に分別」の割合は 40 代、50 代、60 代で比較的高く、20 代以下で低い。
- 20 代以下では、「ごみの分別にはあまりかかわらない」の割合が他の年齢層に比べてやや高くなっている。

【性別】



- 男女別に見ると、「家族の中心になって熱心に分別」の割合は、女性で 60.3%と過半数を占めているのに対して、男性では 18.7%にとどまっている。
- 男性では、「家族の中心ではないがごみは分別」の割合が 68.4%と大半を占めている。